

# 10. ウォシュレット

## 使用部材

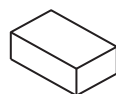


詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

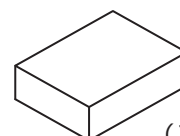


キャップ  
(1個)



その他包装

ウォシュレット



(1箱)

## MEMO

## 1 ウォシュレットの設置

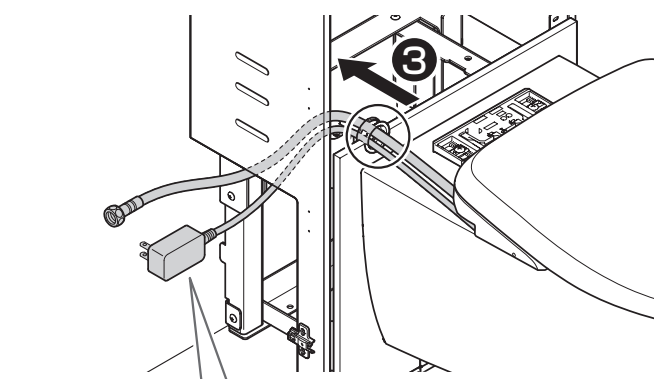
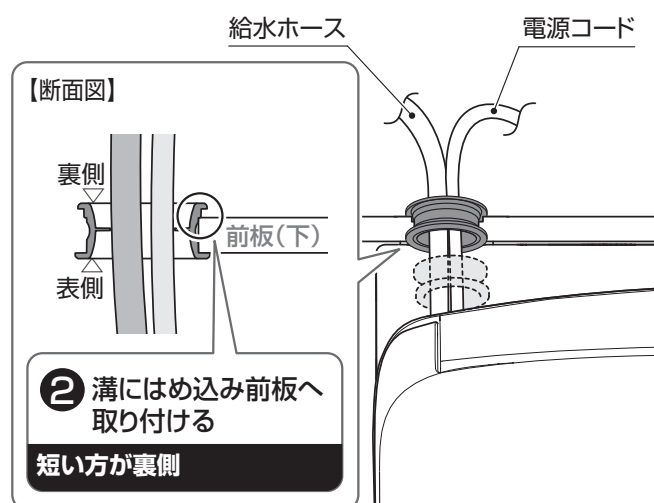
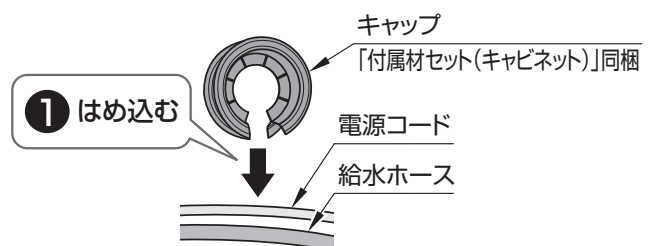
- 作業がしやすいように、ウォシュレットを手前に引き出し傷つかないように養生する

参照 ウォシュレットの施工説明書

既存給水流用(水抜方式)右側立ち上げの場合

給水ホースをウォシュレット用給水ホース(別売品)と交換する

## 2 給水ホース・電源コードの取り回し



- 引き出したウォシュレットを取り付ける

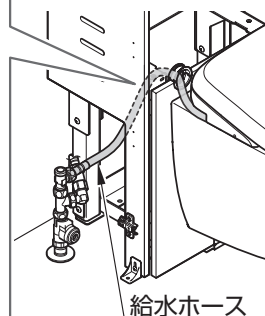
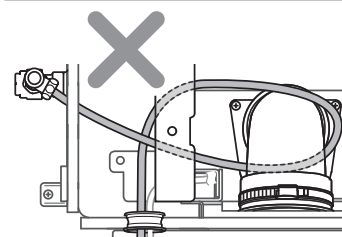
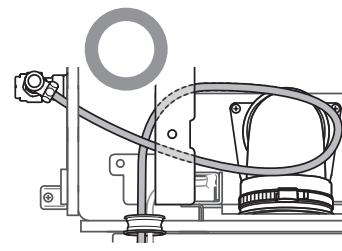
## 3 給水ホースの接続

### ⚠ 注意



給水ホースを折り曲げたりしない  
水漏れの原因となります。

- 給水ホースが接続管組品の上下をまたがないように取り回す



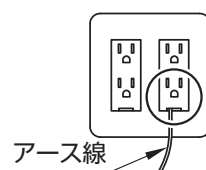
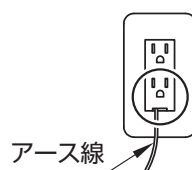
※図は床給水の場合

## 4 アース線の接続

- アース線のみアースターミナルに取り付ける

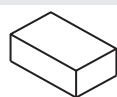
2口コンセントの場合

4口コンセントの場合

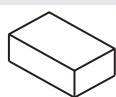


# 11. タンク接続管

## 使用部材

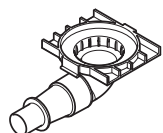


詰め合わせ箱



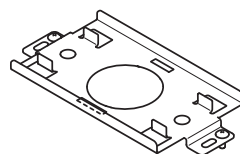
大便器スタンド

### タンク接続管セット



接続管組品  
(1個)

### 取付材組品(接続管)



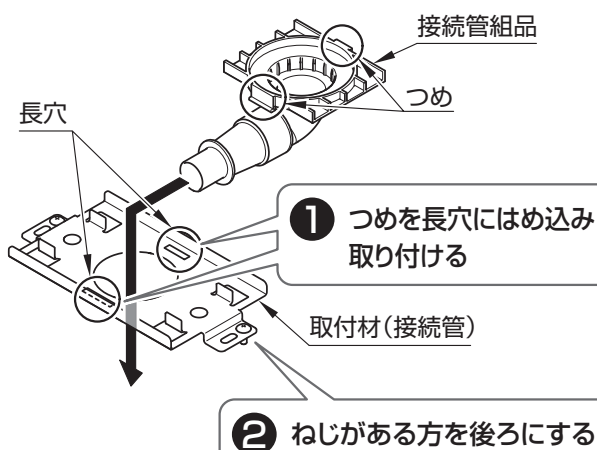
取付材(接続管)  
(1枚)



トラス小ねじ  
M6×16(2本)

# MEMO

## 1 接続管組品の組み立て

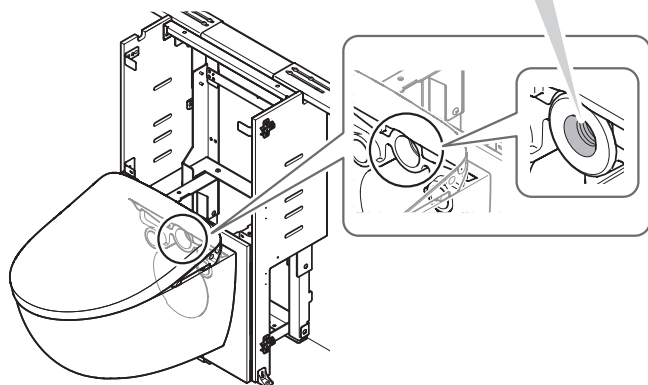
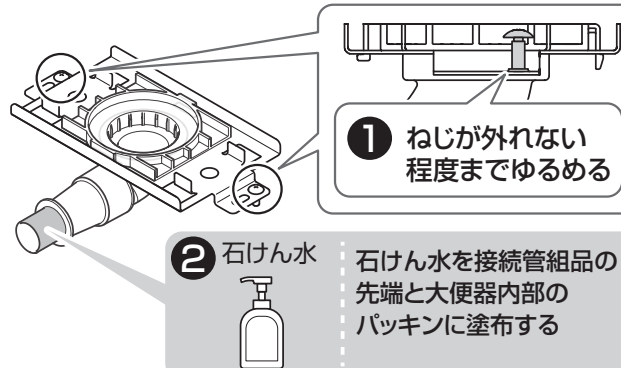


## 2 接続管組品の取り付け

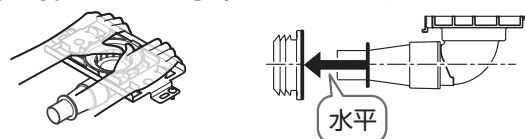
### ⚠ 注意



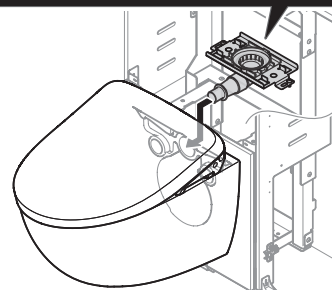
グリスは使用しない  
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



### ③ 接続管組品が取付材(接続管)から外れないように手で押さえながら水平にパッキンに差し込む



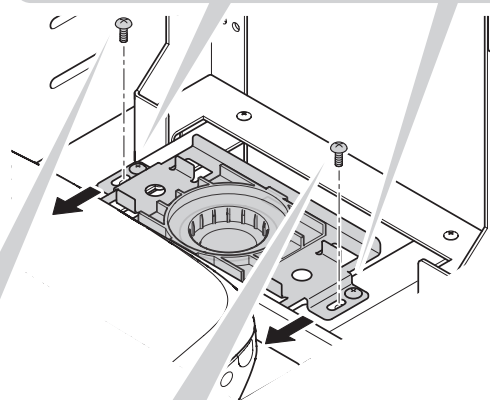
接続管組品のつば部がパッキン表面に当たるまで押し込む



### ④ 水平確認 → 手締めで



前後左右の水平を確認しながらねじを締める  
接続管組品が水平でない場合、あとでセットタンクを設置した際、セットタンクが傾きコアキャビネット組品や照明部材と干渉します。



### ⑤ 手締めで



トラス小ねじ  
M6×16(2本)

取付材(接続管)ごと接続管組品を前方(大便器側)に寄せてねじを締め付ける

### ⑥ 作動確認

□ねじにゆるみ、ガタつきがないこと

# 12. セットタンク

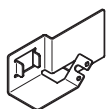
## 使用部材



### 詰め合わせ箱

#### 付属材セット (キャビネット)

取付材セット ※図はスリム収納タイプの場合



取付材 (洗浄レバー)  
(1個)



トラス小ねじ  
5×8 (1本)



洗浄レバー  
(1個)

#### ホースクランプセット ※水抜方式の場合



ホースクランプ  
(1個)

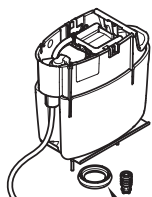


トラスタッピンねじ  
4×40 (1本)



### コアキャビネット

#### セットタンク



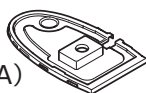
(1個)

パッキン  
固定ナット

ピン (1個)

※ピンはジョイント端  
に付いています。

カバー (A)  
(1個)

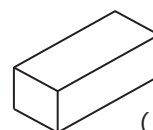


カバー (B)  
(1個)



### その他包装

#### 便器洗浄ユニット



(1箱)

## MEMO

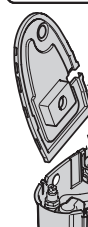
## 1 セットタンクの取り付け

### ⚠ 注意



必ず守る

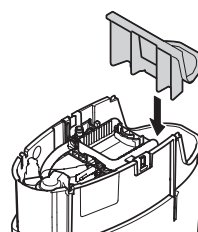
カバー (B) がしっかり閉まっていることを確認する  
カバー (B) が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて  
家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



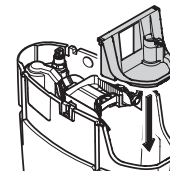
カバー (A)

① カバー (A)・カバー (B)  
を取り出す

カバー (B)



② カバー (B) の取り付け

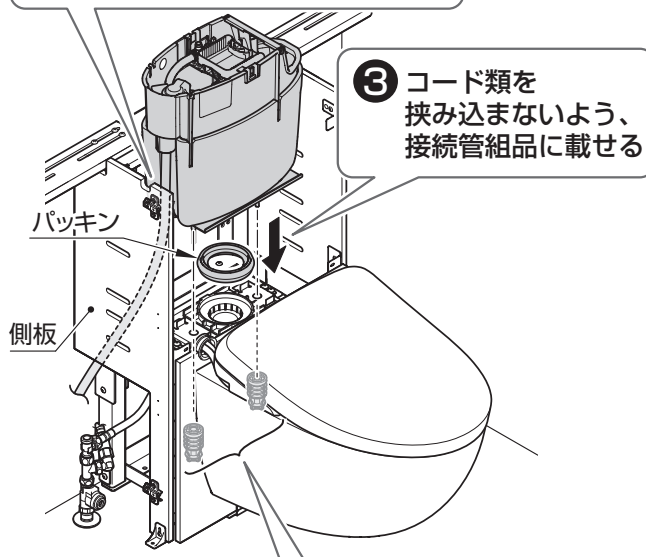


## ⚠ 注意



セットタンクにパッキンがセットされていることを確認する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

### ④ スタンドと側板のすき間を通す



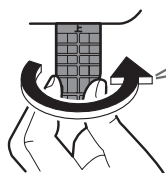
### ③ コード類を挟み込まないよう、接続管組品に載せる

## ⚠ 注意



左右の固定ナットを確実に締める  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットは交互に締め付ける  
セットタンクが傾いて取り付け、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

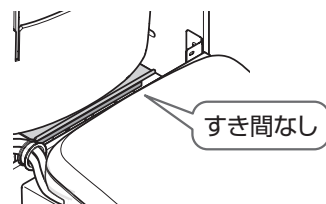


### ⑤ 手締めでかたく締め付ける 破損防止

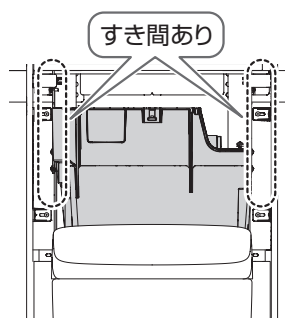
### ⑥ すき間を確認する

※セットタンクがコアキャビネット組品に干渉している場合は、セットタンクを外して、接続管組品が傾いていないか、確認してください。

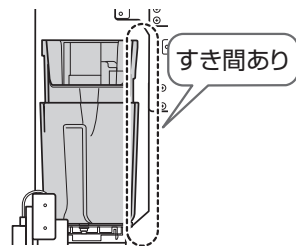
□ 接続管組品とセットタンク下部の板金(黒)との間



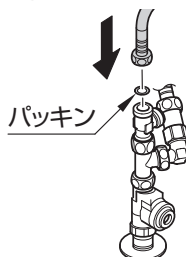
□ セットタンクと側板の間



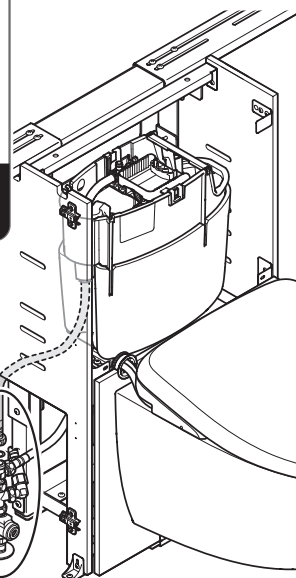
□ セットタンクと後壁の間



### ⑦ 取り付け



水抜方式の止水栓が右側にある場合はP.70参照



## 水抜方式

止水栓が右側にある場合

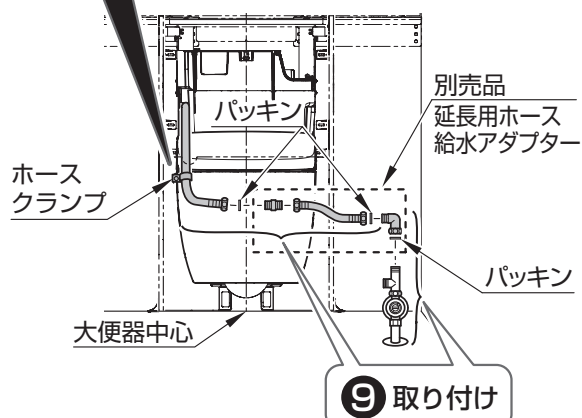
ホースがたるまないよう  
後壁に固定する

**7** 【壁裏補強ありの場合】  
けがき → 下穴



**8** トラストッピンねじ  
4×40 (1本)

逆勾配防止



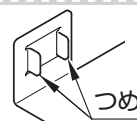
## 2 洗浄レバーの組み立て

※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。

**2** しっかり  
締め付ける

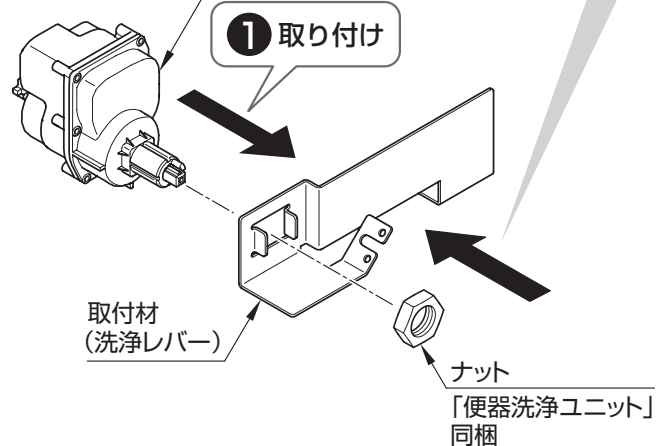


ナットが取付材  
(洗浄レバー)の  
つめに当たる  
まで締める

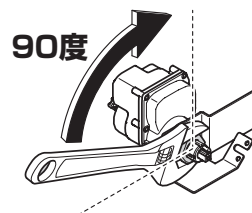


本体  
「便器洗浄ユニット」  
同梱

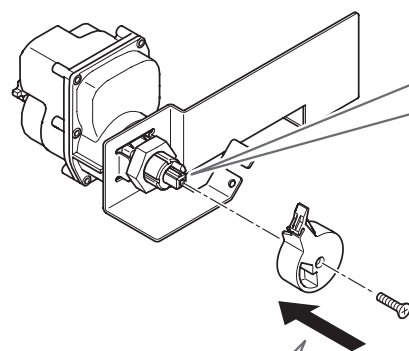
**1** 取り付け



**3** モンキーレンチでナットを90度増し締めする



**4** 軸の凸と  
洗浄レバーの  
凹をあわせる



**5** しっかり  
締め付ける

手締めで



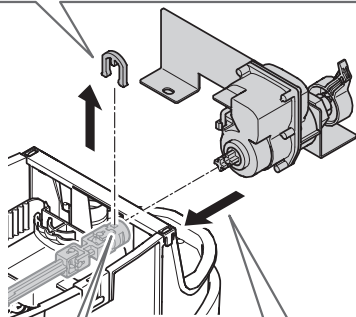
「便器洗浄ユニット」同梱

皿ねじ  
3×10 (1本)

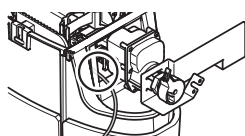
ガタツキ防止

### 3 洗浄レバーの固定

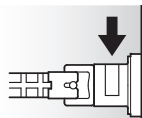
#### ① ジョイントからピンを取り外す



#### ② 本体コードを手前に出し、ジョイントを差し込む

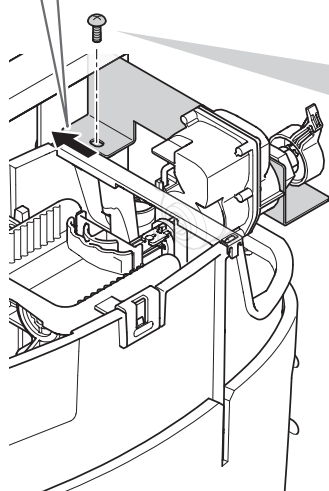


#### ③ カチッと音がするまでピンを差し込む ピン固定位置



#### ④ ジョイントが抜けないことを確認する

#### ⑤ 本体コードを挟み込まないよう、スタンドの柱に押し当てる



#### ⑥ 手締めで



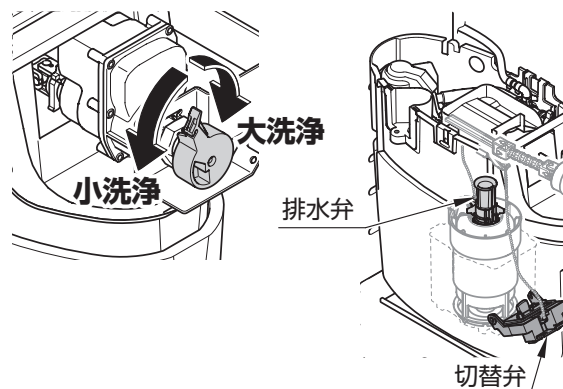
トラス小ねじ  
5×8(1本)

「付属材セット  
(キャビネット)」  
同梱

### 4 洗浄レバーの作動確認

#### ① 作動確認

- ☐ 洗浄レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- ☐ 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- ☐ 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- ☐ 洗浄後、洗浄レバーが正規の位置に戻ることを確認すること



### ⚠ 注意

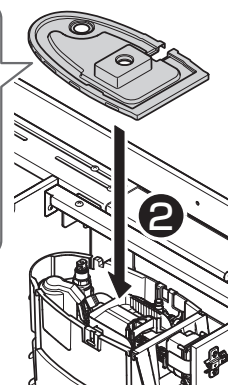
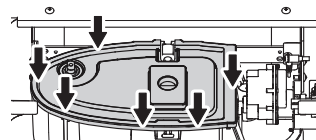


必ず守る

カバー(A)がしっかり閉まっていることを確認する

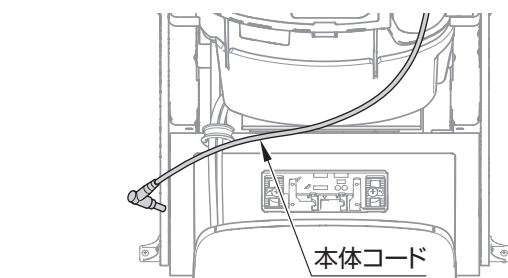
カバー(A)が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

#### ③ 浮き上がっていないことを確認する



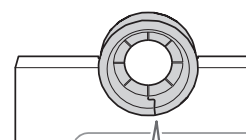
## 5 便器洗浄ユニットの取り付け

### ① 作業がしやすいようにウォシュレットを手前に引き出す



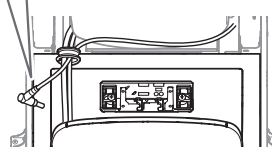
給水ホース 電源コード 本体コード

### ② キャップに挿入する



### ③ 開口部を下に向ける

### ④ 取り出す

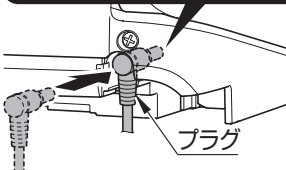


プラグ接続口



キャップ

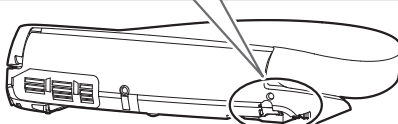
### ⑥ 根元まで確実に差し込む



プラグ



キャップ

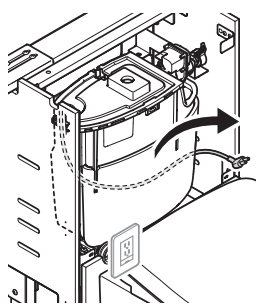


### ⑧ 引き出したウォシュレットを取り付ける

水抜方式

#### 電源コードの取り回し

タンク用ヒーターの電源コードをコンセント側に取り回しておく



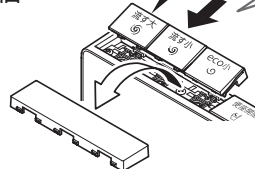
## 6 リモコンの設定・作動確認

### ① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認すること

流すボタン

「便器洗浄ユニット」同梱



### ② 流すボタンの取り付け

参照 流すボタン取付説明書

リモコンには流すボタンが取り付けられていません。必ず取り付けてください。

### ③ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。

※ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。

ビデ/ワイド 水勢

### ④ と を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

### ⑤ → → の順に押す



ビデ/ワイド 水勢

### ⑥ と を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

### ⑦ → → の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが2回点滅することを確認する

電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。

手順③に戻り設定しなおしてください。



本体表示部

<便座> 2回点滅

### ⑧ 作動確認

※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

# 13. 前板（上）

## 使用部材



### 大便器スタンド

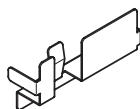
【やわらかフロアライトありの場合】

#### 付属材セット(照明)



センサー  
(1個)

#### 取付材セット(センサー)



取付材(センサー)  
(1個)

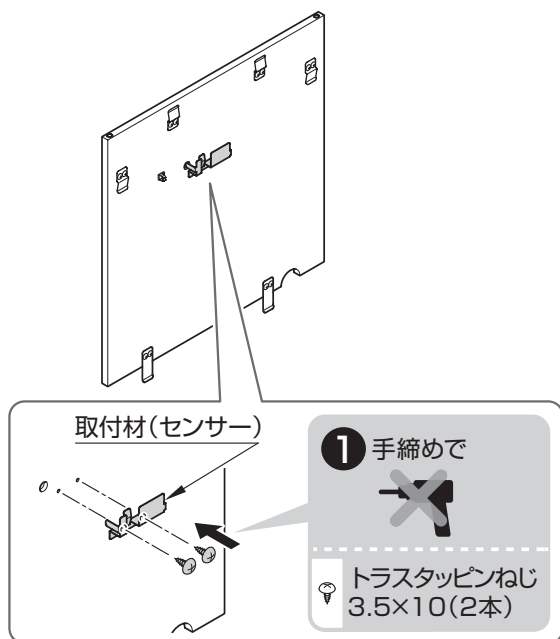


トラスタッピンねじ  
3.5×10(2本)

# MEMO

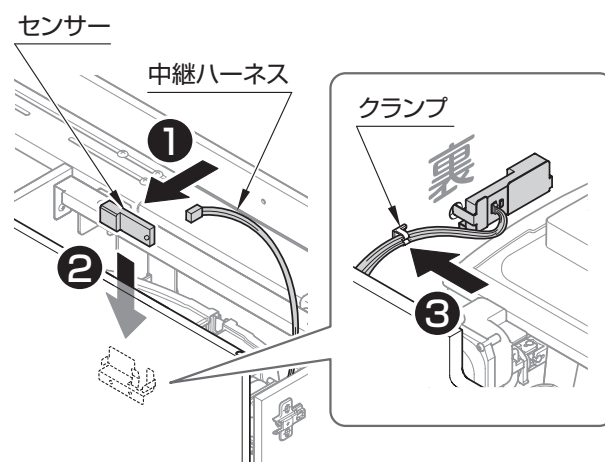
## 1 前板組品の組み立て

やわらかフロアライトなし  
の場合は 2 へ



## 3 センサーの取り付け

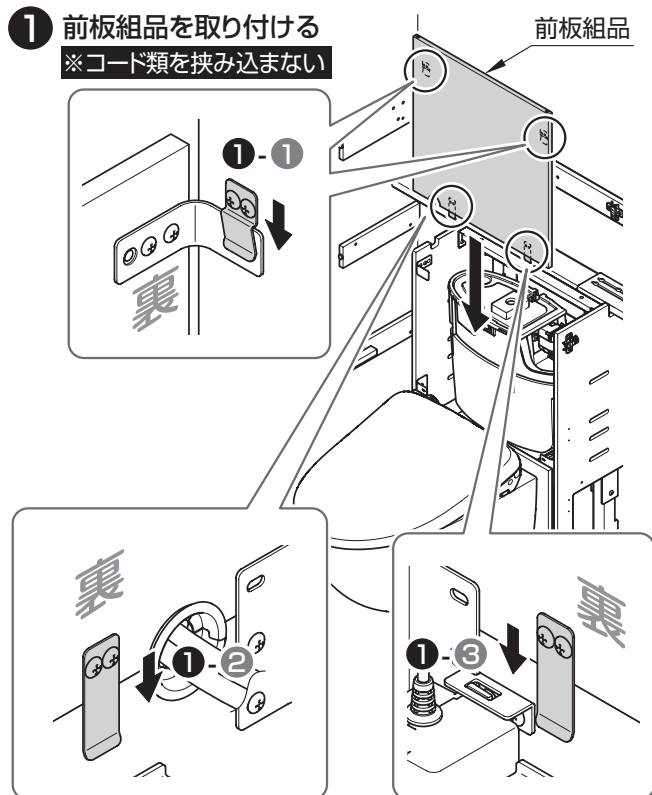
やわらかフロアライトなし  
の場合は14.棚板 へ



## 2 前板組品の取り付け

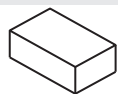
### 1 前板組品を取り付ける

※コード類を挟み込まない



# 14. 棚板

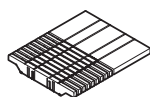
## 使用部材



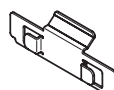
### コアキャビネット

#### コアキャビネット

##### 棚板セット



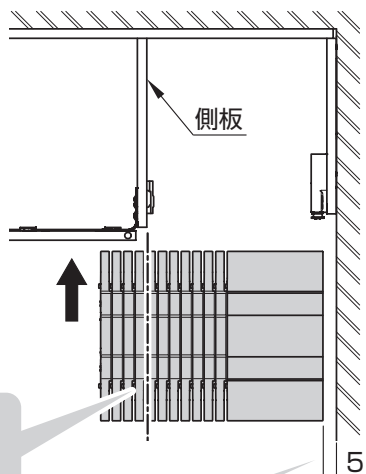
棚板  
(2枚)



支持材  
(2個)

## 1 棚板のカット

【上面図】

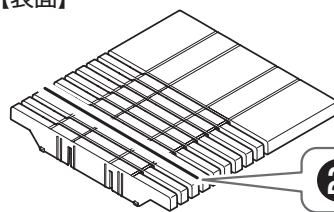


### 1 けがき



壁から5mm程度すき間を空けて側板端から一番近い溝をけがく

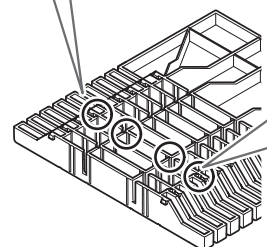
【表面】



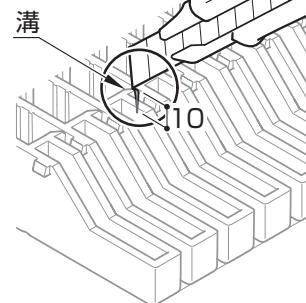
2 カッターで2回程なぞる

【裏面】

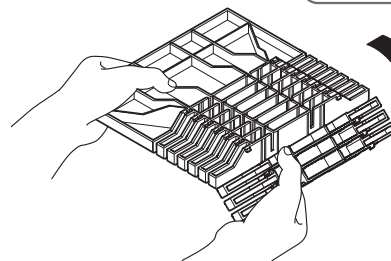
3 けがいた位置を確認(4カ所)



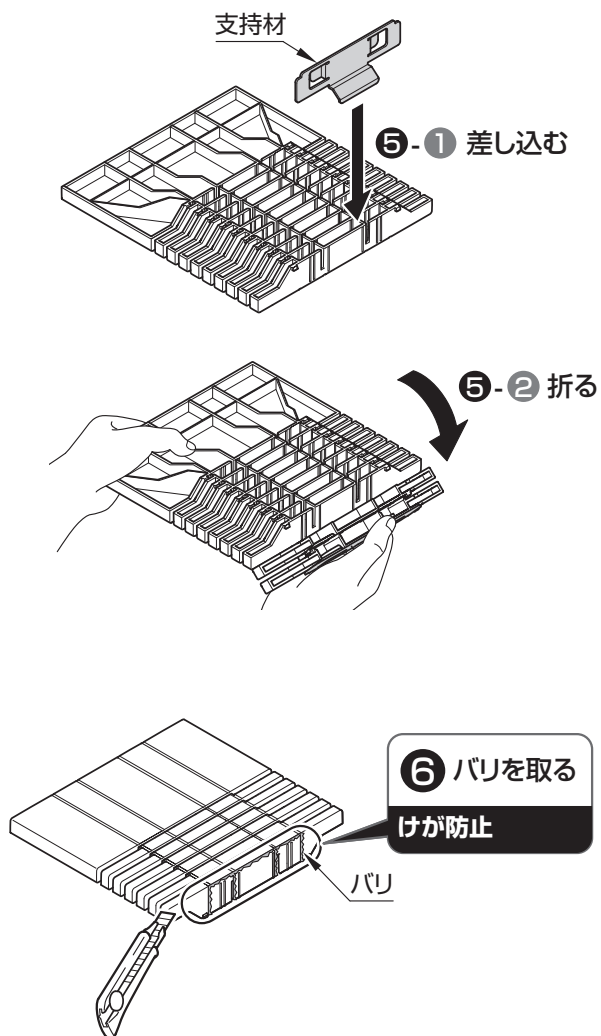
4 リブの溝にあわせて切り込みを入れる(4カ所)



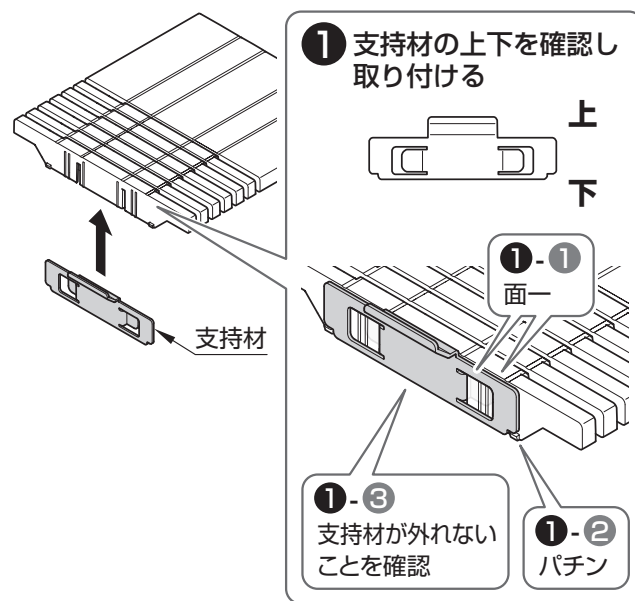
5 折る



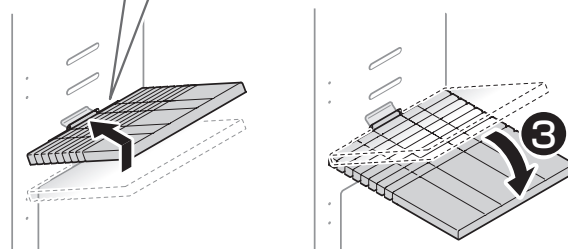
【棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合】



## 2 棚板の取り付け

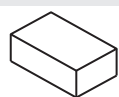


### ② 棚板の取り付け



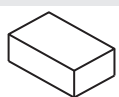
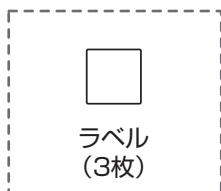
# 15. 扉

## 使用部材



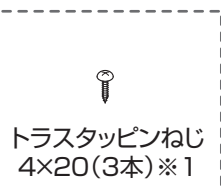
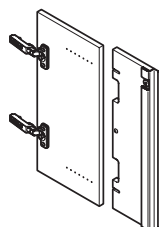
詰め合わせ箱

施工説明書



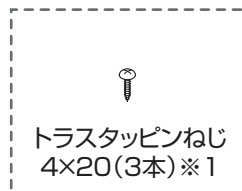
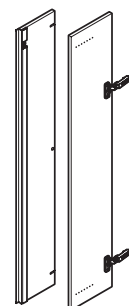
コアキャビネット

扉セット (手洗器設置側)



扉組品  
(1セット)

扉セット (手洗器と反対側)



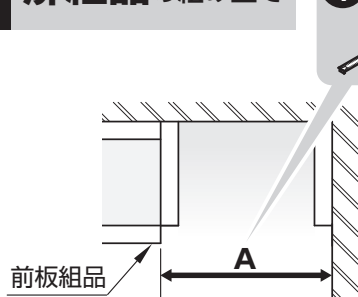
扉組品  
(1セット)

※対応間口によって裏扉の仕様  
(切り欠きの有無)は異なります。

※1 残り1本は22.仕上げで使用

## 1 扉組品の組み立て

① 測定



② 手締めで

トラスタッピンねじ  
4x20 (2本)

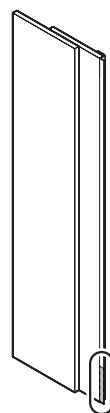
本固定用  
(ここでは使用しない)  
▶「22.仕上げ」

※図は扉セット (手洗器と反対側) の場合

幅木がある場合

③ カット

扉は開閉のため、床仕上げ面  
から浮いているので切りすぎ  
ないように注意すること



③-①

扉装着を想定して  
幅木にあわせてカット

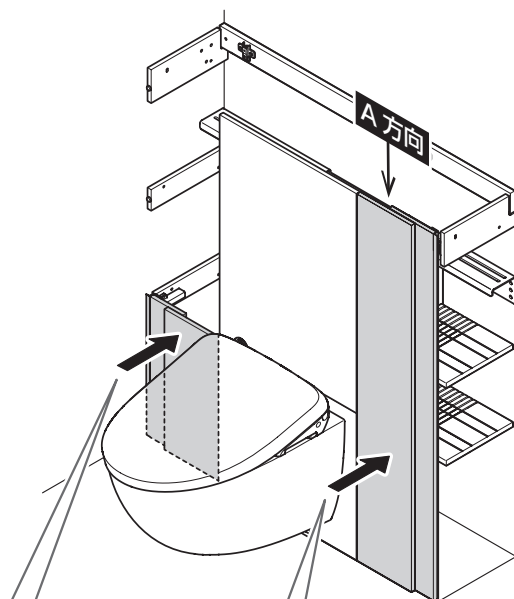
カット部

床仕上げ面

③-②  
扉下端と床仕上げ面の  
すき間(目安)

15  
扉

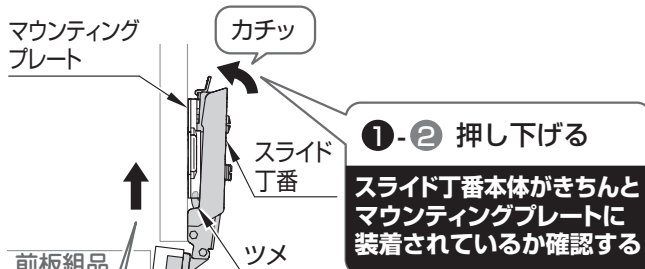
## 2 扉組品の取り付け



### ① コアキャビネットのスライド丁番に取り付け

#### 取り付けかた

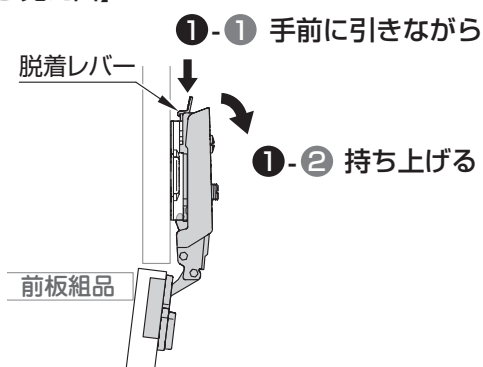
##### 【A方向から見た図】



### ①-① マウンティングプレート先端にツメを引っ掛ける

#### 取り外しかた

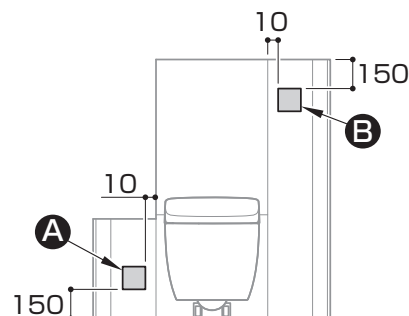
##### 【A方向から見た図】



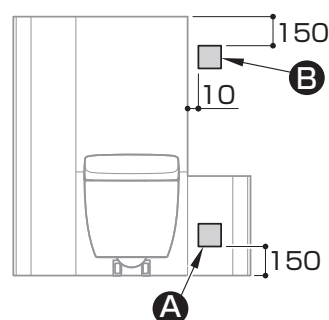
## ② ラベルをはり付ける

|   |         |
|---|---------|
| A | 止水栓ラベル  |
| B | 便器洗浄ラベル |
| C | 4VOCラベル |

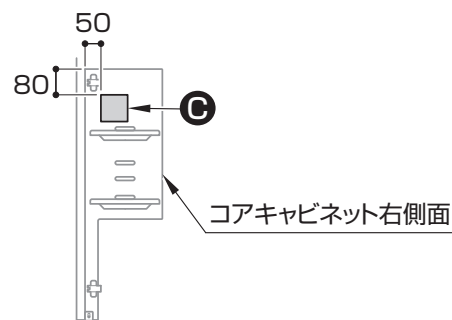
### 【止水栓が左にある場合】



### 【止水栓が右にある場合】



### 【右側面】



### はり付け位置(参考)

# 16. 固定扉

## 使用部材

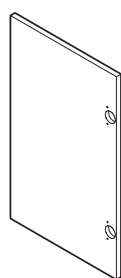


### コアキャビネット

#### 扉セット (手洗器設置側)

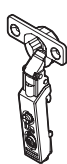
##### 扉組品

##### 【スリム収納タイプ】



扉  
(1枚)

##### スライド丁番セット



スライド丁番  
(2個)

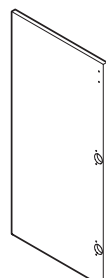


丁番用スペーサー  
(2個)



皿タッピンねじ  
3.5×14(4本)

##### 【まるごと収納タイプ】



扉  
(1枚)

##### スライド丁番セット



スライド丁番  
(2個)



丁番用スペーサー  
(2個)



皿タッピンねじ  
3.5×14(4本)

##### 平板金・ねじセット



平板金  
(1個)



トラスタッピンねじ  
4×10(4本)

##### キャップセット



キャップ  
(1個)



トラスタッピンねじ  
4×8(2本)

##### キャップセット



キャップ  
(1個)



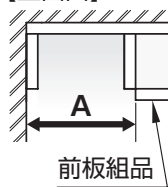
トラスタッピンねじ  
4×8(2本)

## 1 扉のカット

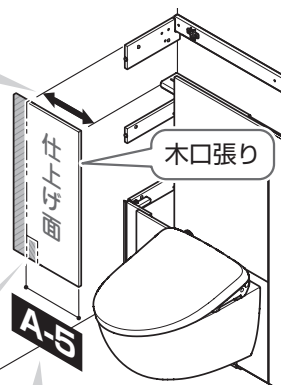
##### 左勝手の場合

##### 1 測定

##### 【上面図】



前板組品

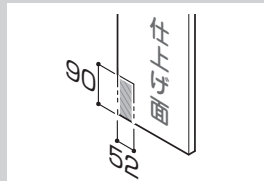


仕上げ面

木口張り

A-5

##### 3 けがき → カット



##### 2 けがき → カット



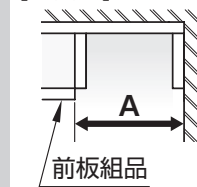
仕上げ面を上にしてカット  
すること

施工不良防止

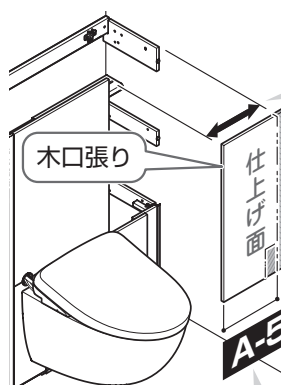
##### 右勝手の場合

##### 1 測定

##### 【上面図】



前板組品

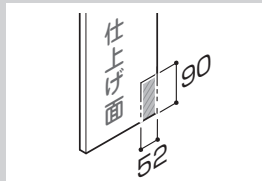


仕上げ面

木口張り

A-5

##### 3 けがき → カット



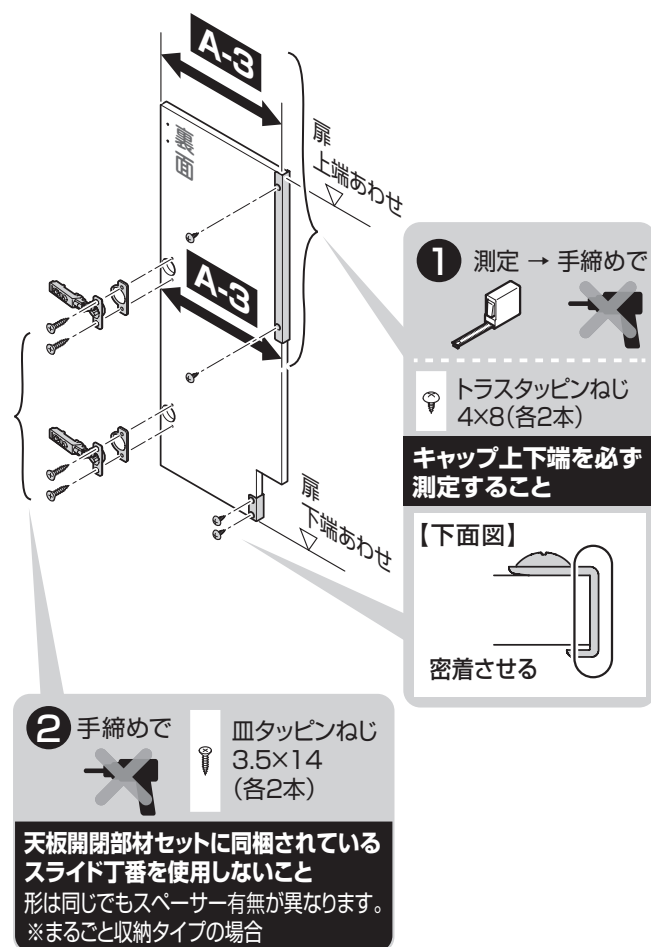
##### 2 けがき → カット



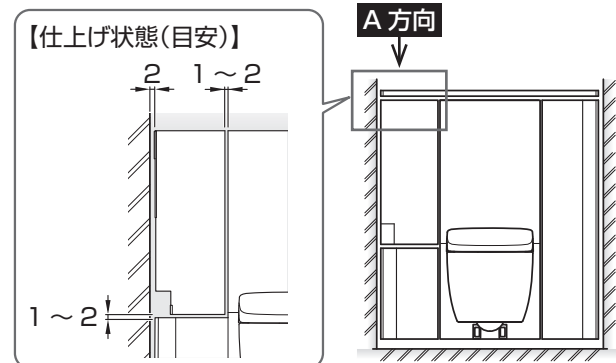
仕上げ面を上にしてカット  
すること

施工不良防止

## 2 扉の組み立て

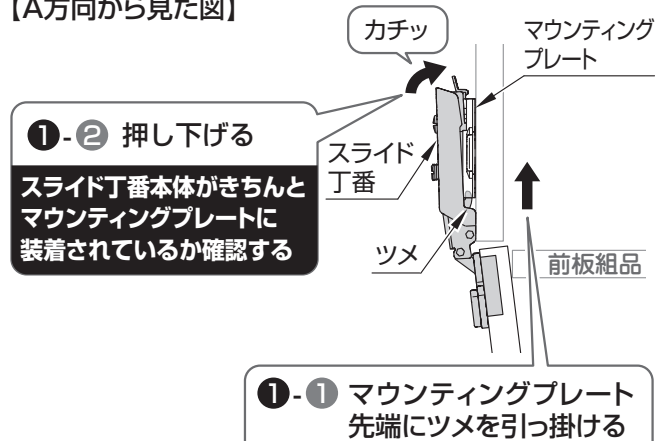


## 3 扉の取り付け



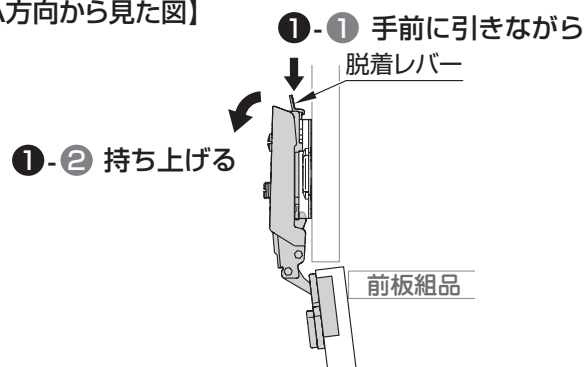
### 取り付けかた

#### 【A方向から見た図】



### 取り外しかた

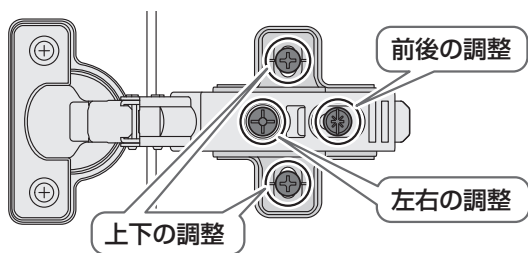
#### 【A方向から見た図】



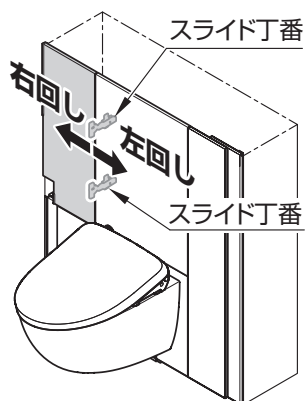
## MEMO

## 扉の調整

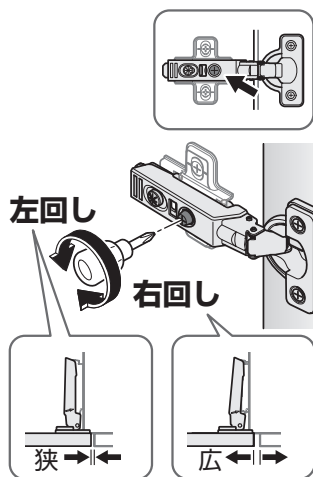
各ねじを調整することで扉を調整できます



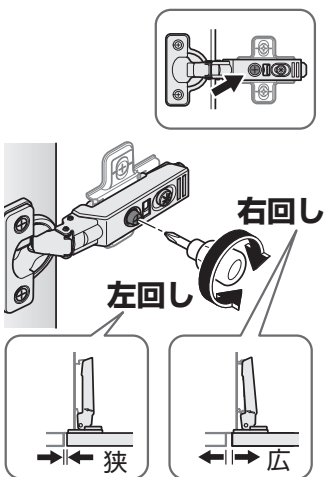
左右方向



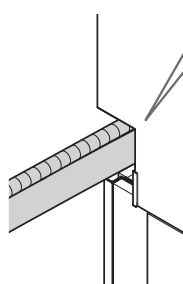
【左扉】



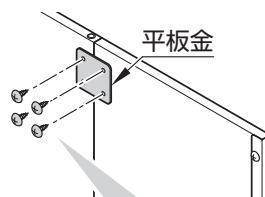
【右扉】



② 手洗器用排水ホース、排水組品を通す



## まるごと収納タイプ



③ 手締めで



トラス  
タッピンねじ  
4×10(4本)

## MEMO

# 17. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板

## 使用部材



### 詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

#### 付属材セット (手洗器)

##### 【ベッセルタイプ(丸形/角形)】



トラスタッピンねじ  
4×12(4本)

トラスタッピンねじ  
4×50(4本)

##### 【ハイバックタイプ】



トラスタッピンねじ  
4×12(2本)

トラスタッピンねじ4×50(8本)  
※残り4本は  
18.手洗器・水栓金具で使用

#### 紙巻器

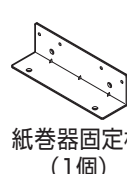
#### 紙巻器固定材※メタル製紙巻器の場合

【樹脂製】※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。



ねじセット①  
なべタッピンねじ 4.5×40(4本)  
平座金 (4個)

ねじセット④  
トラスタッピンねじ  
4×14(4本)



皿タッピンねじ  
4×40(2本)

皿タッピンねじ  
4×16(2本)

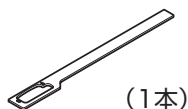


### その他包装

## カウンター

#### 上段カウンター

【ベッセルタイプ(丸形)/角形】  
【ハイバックタイプ】



※図はベッセルタイプ(角形)

#### ブラケットセット

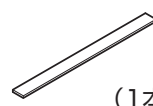


※1個は余り、設置寸法  
により使用する個数  
が異なります。

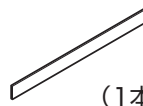
なべワッシャー  
タッピンねじ  
4×16(9本)

トラス  
タッピンねじ  
4×30(6本)

#### 下段カウンター

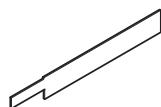


#### 幕板

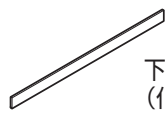


#### 横さん

【ベッセルタイプ】  
【ハイバックタイプ】



※図はベッセルタイプ



皿タッピンねじ  
4×40(4本)

#### ねじセット

皿タッピンねじ  
4×40(1本)

低頭タッピンねじ  
4.5×50キャップ付  
(8本)

#### ブラケットセット



なべワッシャー  
タッピンねじ  
4×16(6本)

トラス  
タッピンねじ  
4×20(6本)

#### 付属材セット

取付材  
(4個)

アングル  
(7個)

トラス  
タッピンねじ  
4×10(22本)

#### キャップセット

##### 【上段カウンター】



トラスタッピンねじ  
4×10(1本)

##### 【下段カウンター】



トラスタッピンねじ  
4×10(1本)

##### 【上段横さん】

キャップ  
(上段横さん)  
(1個)

なべワッシャー  
タッピンねじ  
3×6(2本)

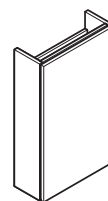
##### 【幕板】



スペーサー  
t=0.5(4個)

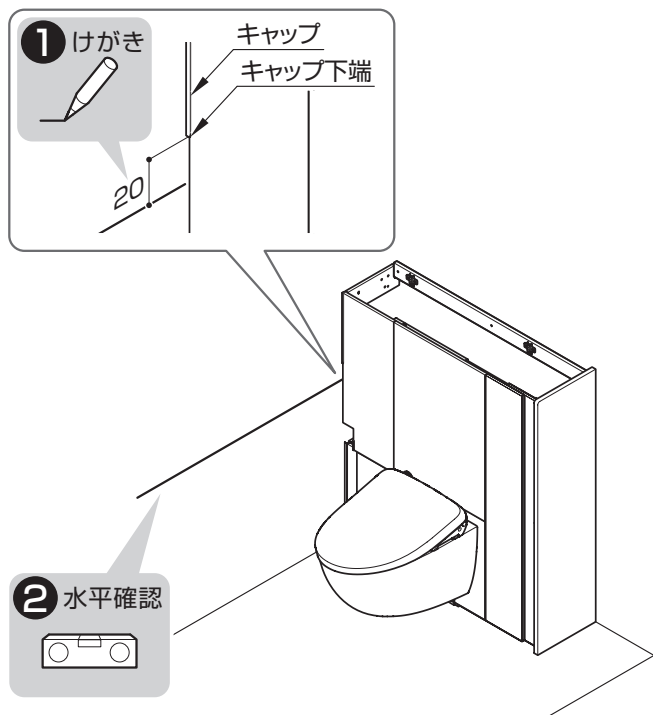
トラスタッピンねじ  
4×10(2本)

## 手洗器キャビネット



(1台)

## 1 上段横さんのけがき



## 2 けがき

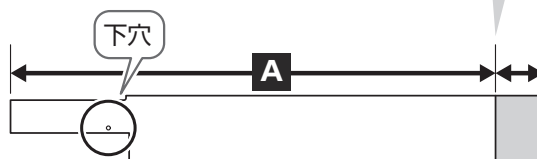


### まるごと収納タイプ

| 奥行寸法L | 規定寸法                   | けがき寸法A |
|-------|------------------------|--------|
|       | ベッセルタイプ<br>(丸形/角形) 296 |        |
|       | ハイバックタイプ 298           |        |

### スリム収納タイプ

| 奥行寸法L | 規定寸法                   | けがき寸法A |
|-------|------------------------|--------|
|       | ベッセルタイプ<br>(丸形/角形) 236 |        |
|       | ハイバックタイプ 238           |        |



## 3 カット

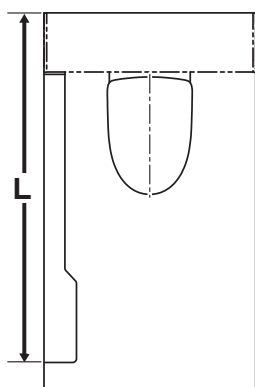


- ・意匠面(下穴があいている面)からカットすること
- ・上段横さんのカットは板に対して必ず垂直になるようにすること

割れ防止/すき間発生防止

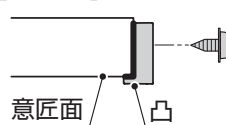
## 2 上段横さんのカット

### 1 L寸法をレイアウト図より確認する



### 4 意匠面にキャップ(上段横さん)の凸側を突き当てる

#### 【上面図】



### 6 手締めで



なべワッシャー  
タッピンねじ  
3×6(2本)

### 5 下端をあわせる

### 3 上段横さんの取り付け

#### 壁裏補強なしの場合

##### 1-1 貫通穴



間柱にあわせて意匠面から貫通穴をあける  
※右勝手の場合、左右反転した寸法となります。

##### 施工不良防止

【左勝手】



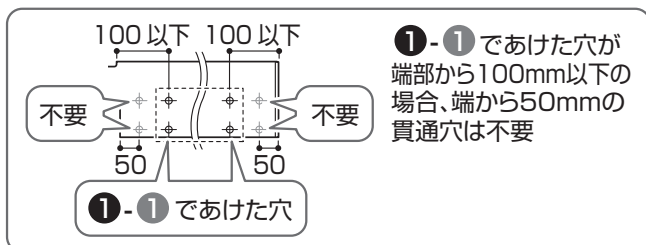
この箇所は間柱がある場合でも下穴はあけない

##### 1-2 貫通穴



追加で意匠面から貫通穴をあける

##### 施工不良防止



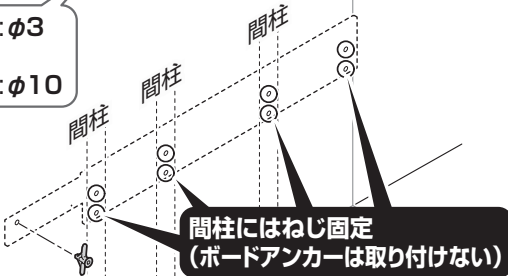
【左勝手】



#### 2 けがき → 下穴 → ボードアンカー (オプション)



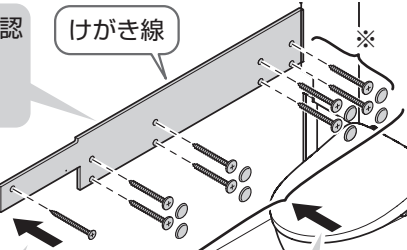
ねじ取付用:  $\phi 3$   
両端ボード  
アンカー用:  $\phi 10$



#### 3 水平確認



けがき線



#### 5 手締めで



皿タッピンねじ  
4×40 (1本)

#### 4 低頭タッピンねじ

4.5×50キャップ付

※カウンターの長さ、間柱数によって、  
使用するねじの数が異なります。  
※ボードアンカー取付部は手締め

#### 壁裏補強ありの場合

##### 1 貫通穴



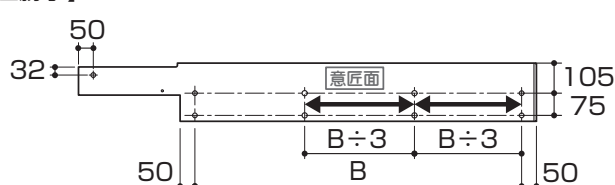
意匠面からあける

$\phi 5$

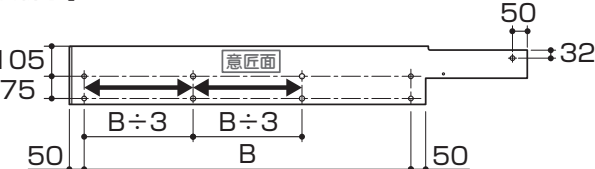
(9カ所)

##### 施工不良防止

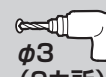
【左勝手】



【右勝手】

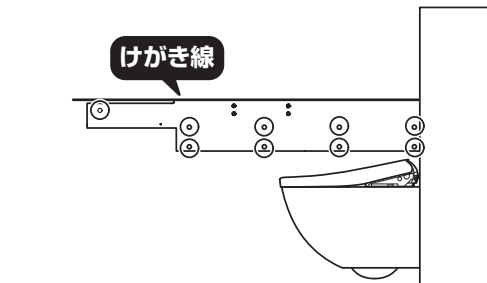


##### 2 けがき → 下穴



$\phi 3$

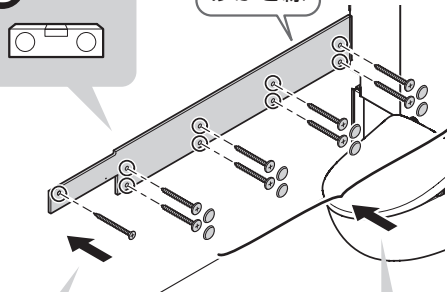
(9カ所)



#### 3 水平確認



けがき線



5 皿タッピンねじ  
4×40 (1本)

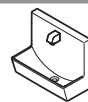
4 低頭タッピンねじ  
4.5×50キャップ付 (8本)

手洗器タイプにより取付手順が異なります、各手順へ進んでください

## ベッセルタイプ



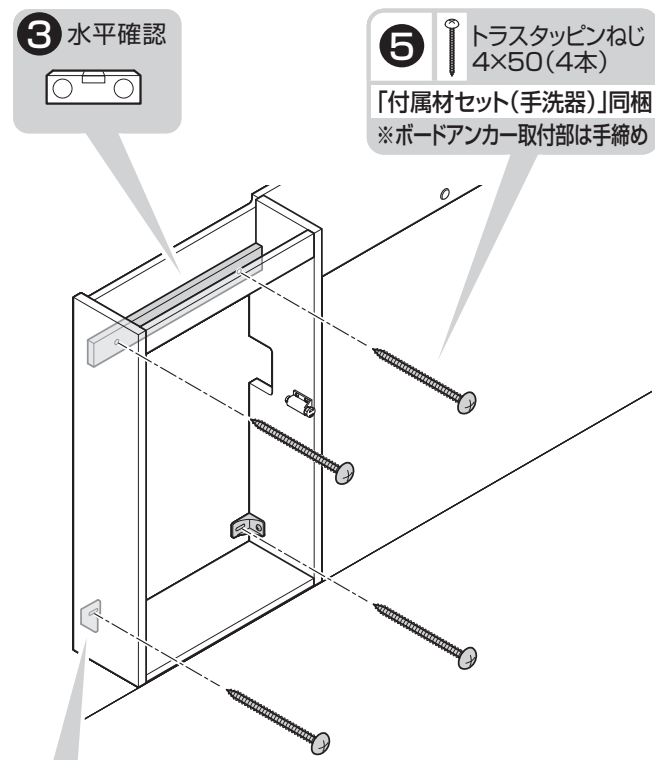
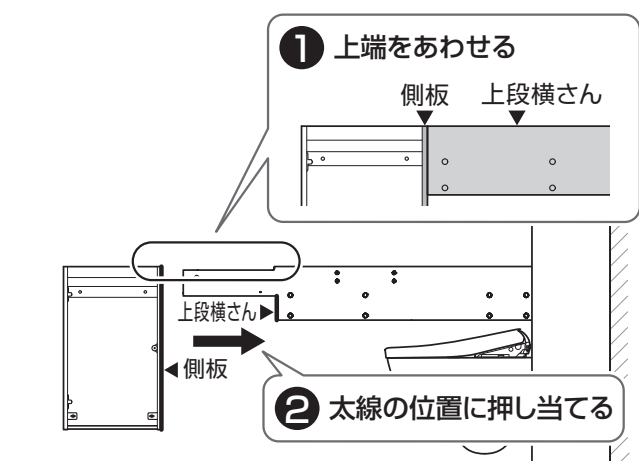
## ハイバックタイプ



4 手洗器キャビネットの取り付け

P.89へ

## 4 手洗器キャビネットの取り付け



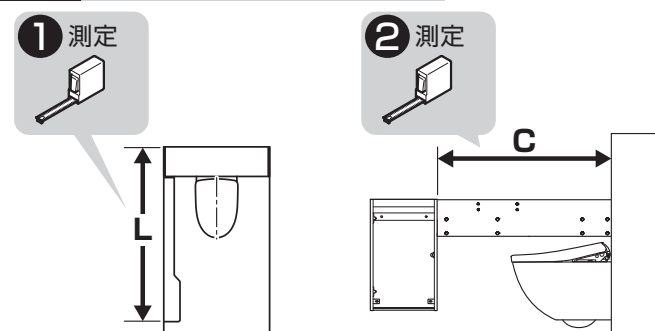
4 ※【壁裏補強なしの場合(下2カ所)】

設置壁に→ 下穴※ けがき

設置壁に→ 下穴 → ボードアンカー (オプション)

φ3 φ10

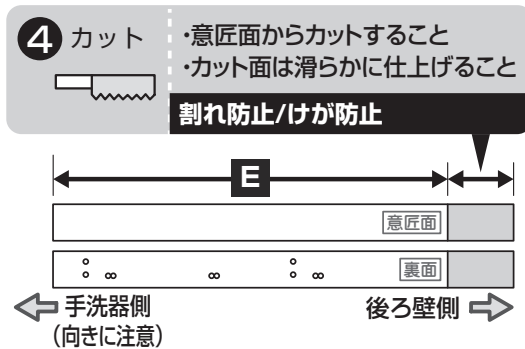
## 5 カウンター類のカット



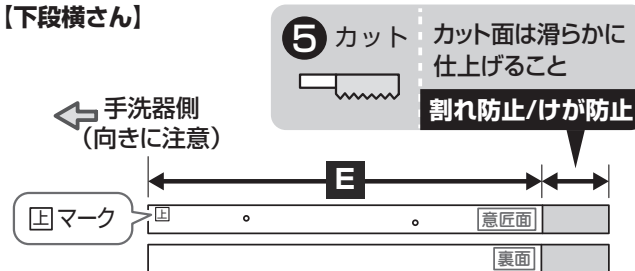
③ けがき

|       |   |      |   |        |
|-------|---|------|---|--------|
| 奥行寸法C | - | 規定寸法 | = | けがき寸法E |
|       |   | 4    |   |        |

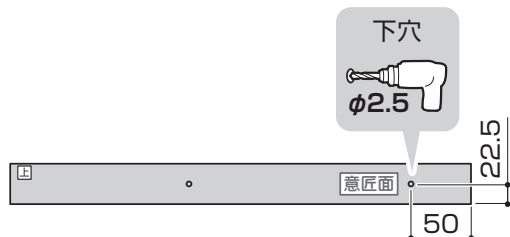
【下段カウンター】



【下段横さん】



## E寸法が～720mmの場合



### 【幕板】

#### 6 カット

- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



#### 7 けがき

##### まるごと収納タイプ

| 奥行寸法L | - | 規定寸法 | = | けがき寸法D |
|-------|---|------|---|--------|
|       |   | 274  |   |        |

##### スリム収納タイプ

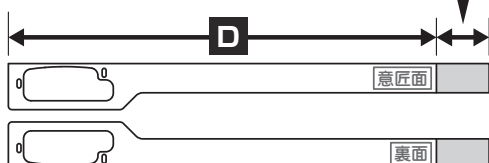
| 奥行寸法L | - | 規定寸法 | = | けがき寸法D |
|-------|---|------|---|--------|
|       |   | 214  |   |        |

### 【上段カウンター】

#### 8 カット

- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

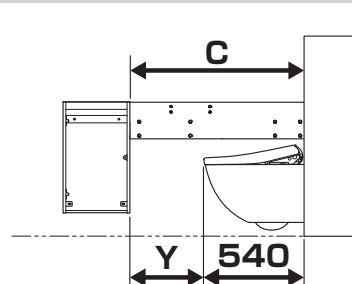
割れ防止/けが防止



手洗器側  
(向きに注意)

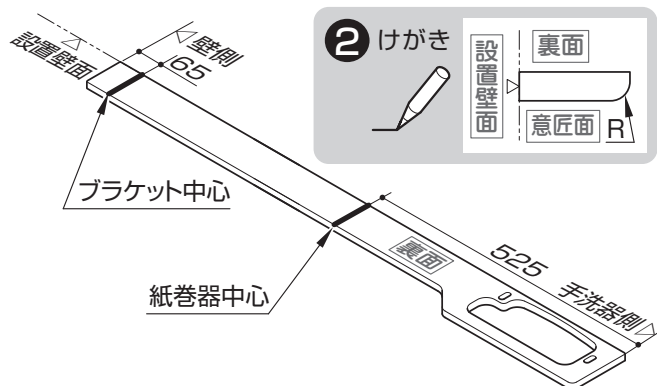
## 6 上段カウンター部材のけがき

### 1 測定



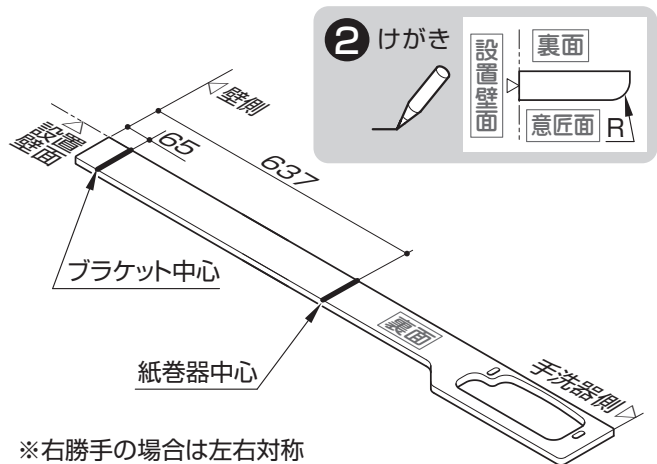
| C寸法 | - | 規定寸法 | = | Y寸法 |
|-----|---|------|---|-----|
|     |   | 540  |   |     |

### Y寸法が～290mmの場合



※右勝手の場合は左右対称

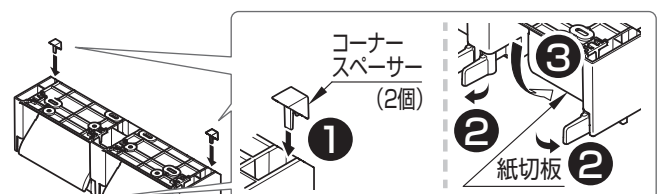
### Y寸法が291mm～の場合

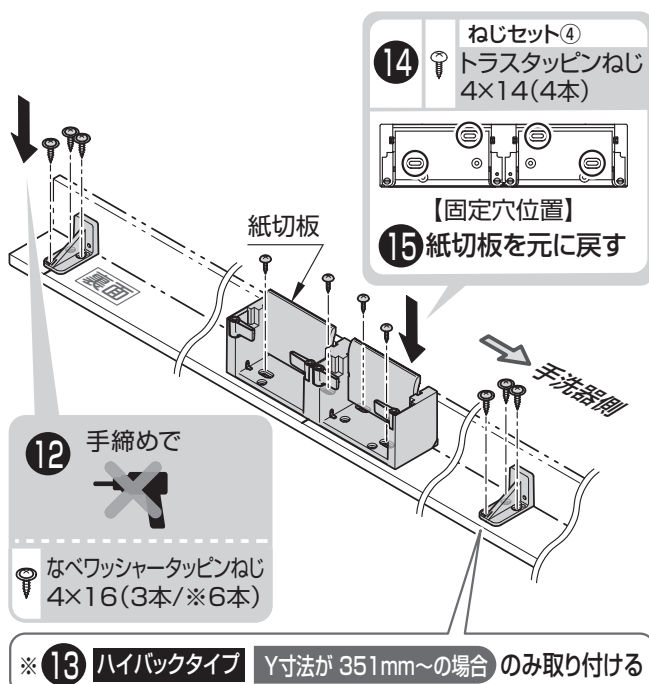
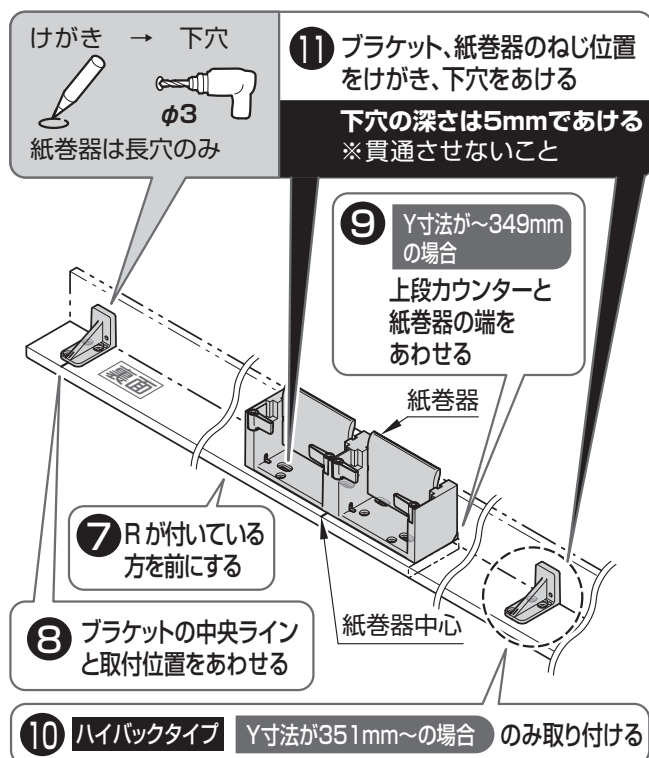
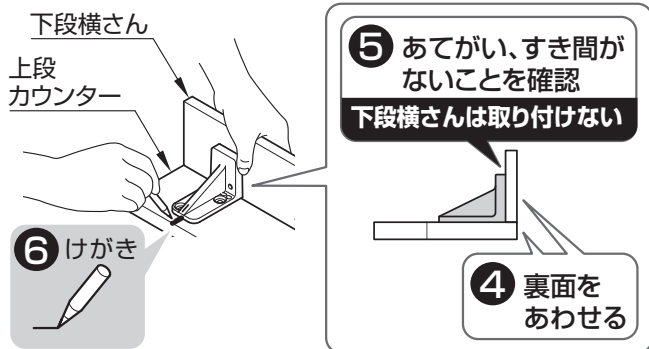


※右勝手の場合は左右対称

## 7 紙巻器・ブラケットの取り付け

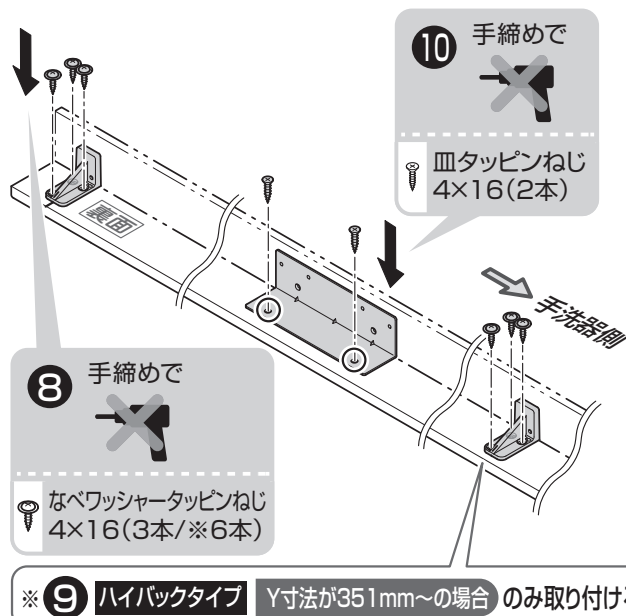
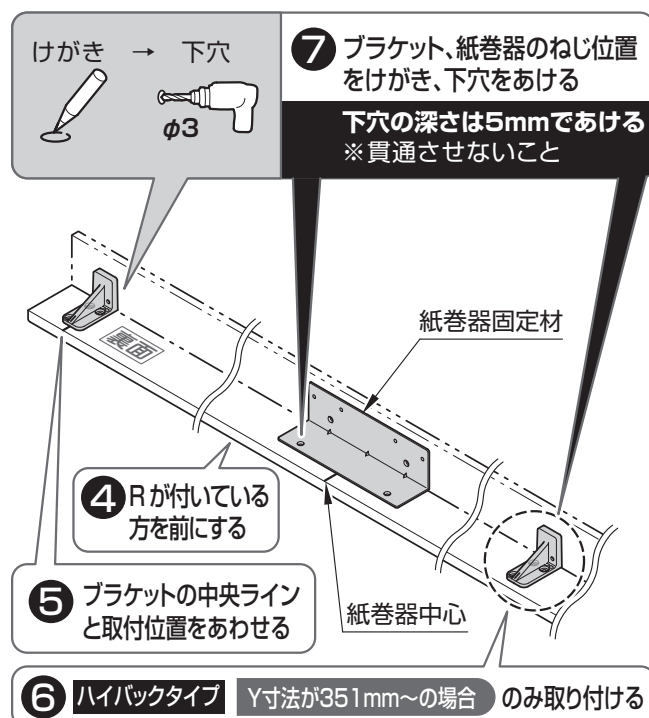
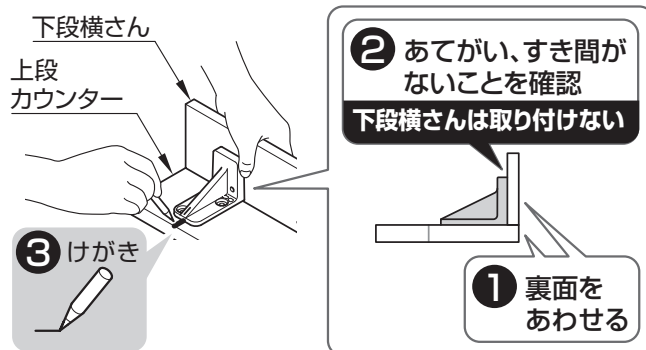
### 樹脂製紙巻器の場合





## メタル製紙巻器の場合

※紙巻器の取り付けは、「22. 仕上げ」にて行います。  
(▶P.126)



## 8 上段カウンター取り付け

① 上部に切り欠きがないもの  
を取り付ける

切り欠きなし

切り欠きあり



カット面

ピッタリ

けが防止

② 手締めで



仮固定

トラスタッピンねじ  
4×10(1本)

キャップ(上段カウンター)

④ 手締めで



「付属材セット(手洗器)」同梱

トラスタッピンねじ  
4×12(各1本)

アングル

側板

③ アングルの長辺の丸穴を  
側板の下穴にあわせる

⑤ 上段横さんに載せる

上段カウンター

5

⑥ ねじ穴のけがき → 下穴



φ3

平座金

⑦

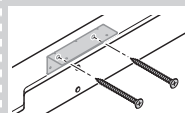
トラスタッピンねじ  
4×30(2本)

【樹脂製紙巻器の場合】 【メタル製紙巻器の場合】  
「ねじセット①」同梱

⑧

なべタッピンねじ  
4.5×40(4本)

皿タッピンねじ  
4×40(2本)



⑨ 手締めで



トラスタッピンねじ  
4×12(2本)

「付属材セット(手洗器)」同梱

⑩ 固定扉に当てる

キャップ(上段カウンター)

⑪ 手締めで



本固定

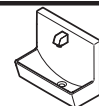
固定扉側

手洗器タイプにより取付手順が異なります、各手順へ進んでください

ベッセルタイプ



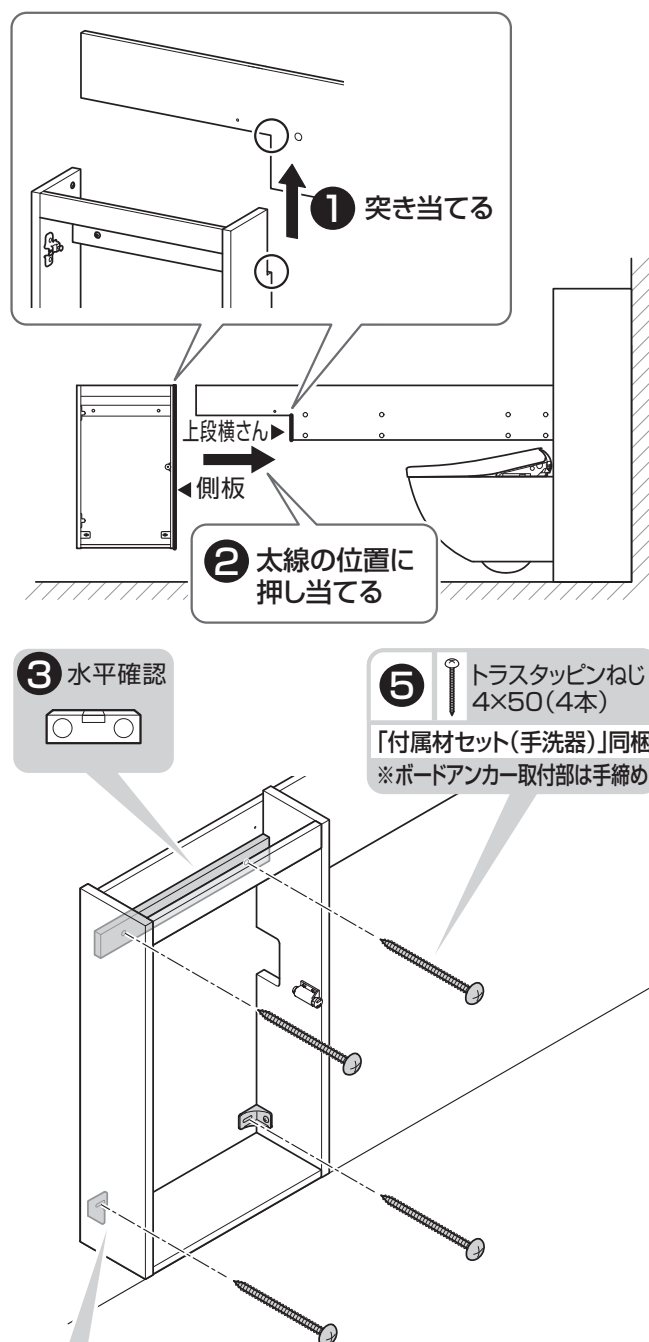
ハイバックタイプ



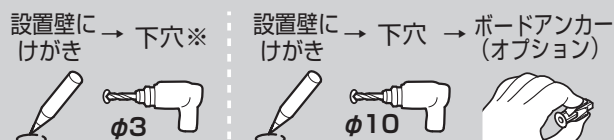
P.93へ

4 手洗器キャビネットの取り付け へ

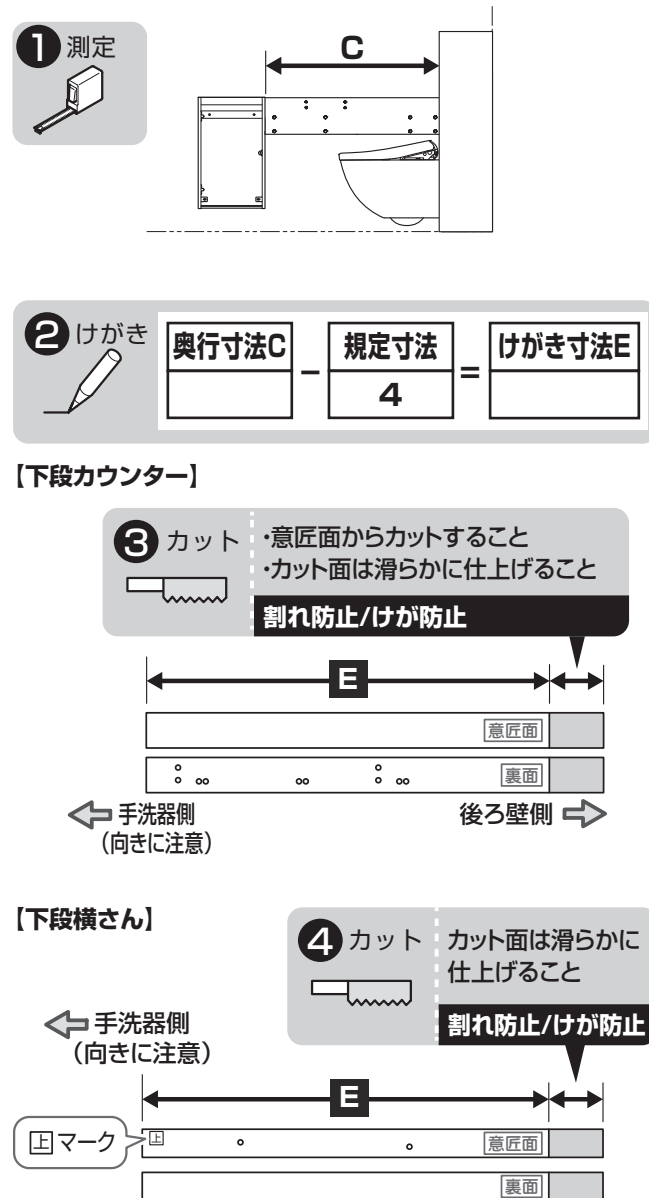
## 4 手洗器キャビネットの取り付け



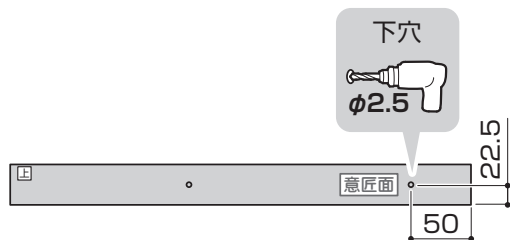
4 ※【壁裏補強なしの場合(下2カ所)】



## 5 カウンター類のカット



## E寸法が～720mmの場合

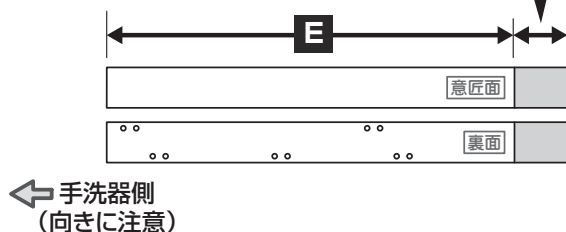


### 【幕板】

#### ⑤ カット

- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止

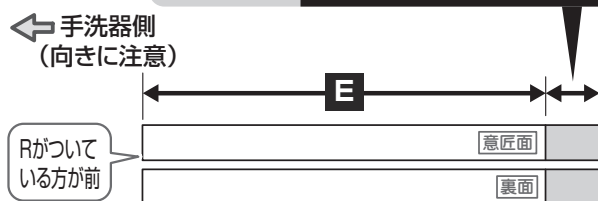


### 【上段カウンター】

#### ⑥ カット

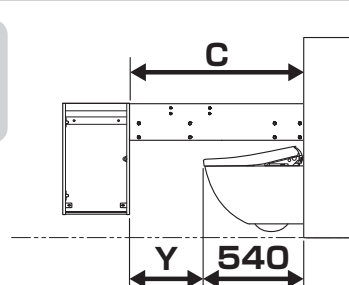
- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



## 6 上段カウンター部材のけがき

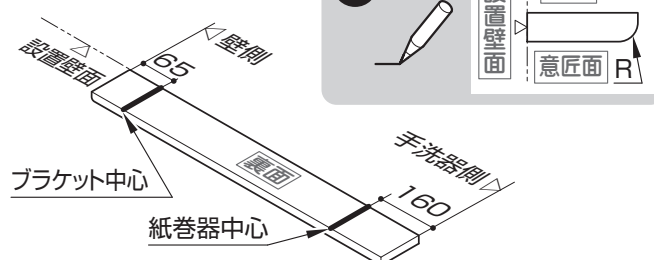
### ① 測定



| C寸法 | 規定寸法 | Y寸法 |
|-----|------|-----|
|     | 540  |     |

### Y寸法が～350mmの場合

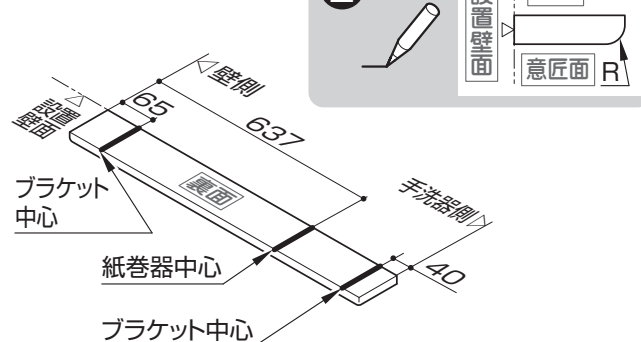
#### ② けがき



※右勝手の場合は左右対称

### Y寸法が351mm～の場合

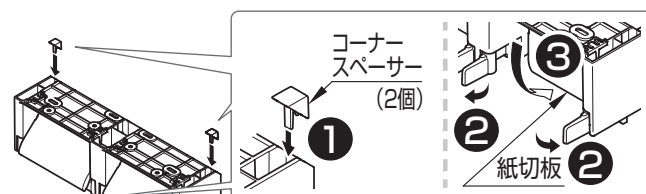
#### ② けがき



※右勝手の場合は左右対称

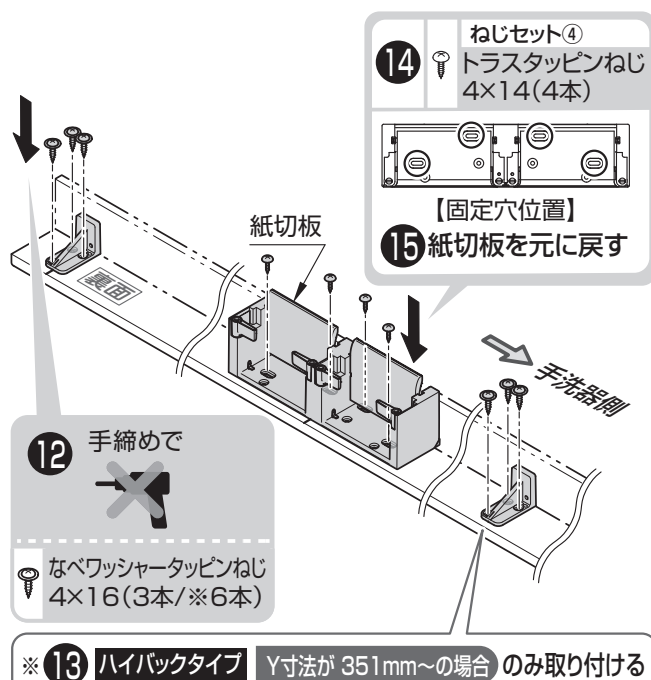
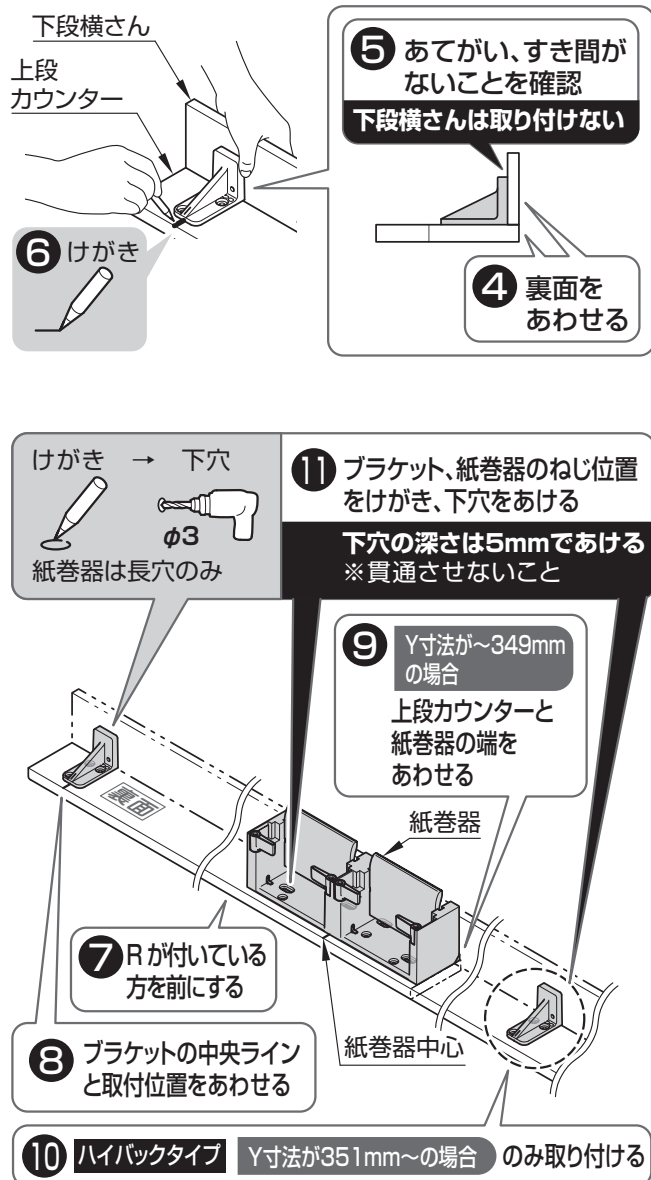
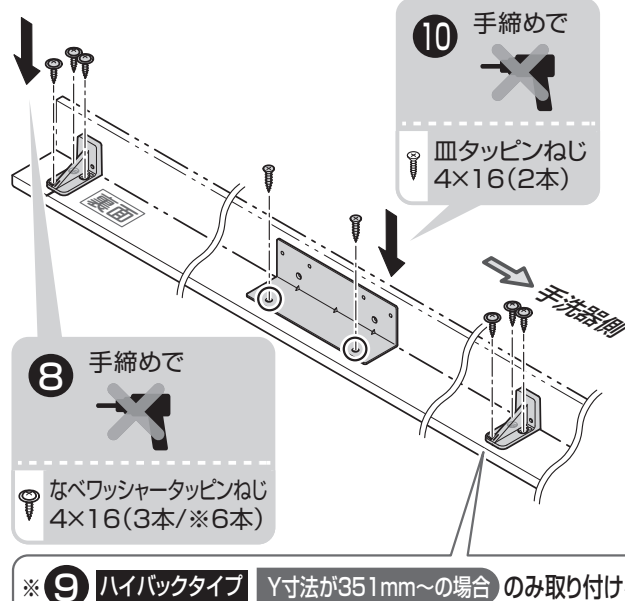
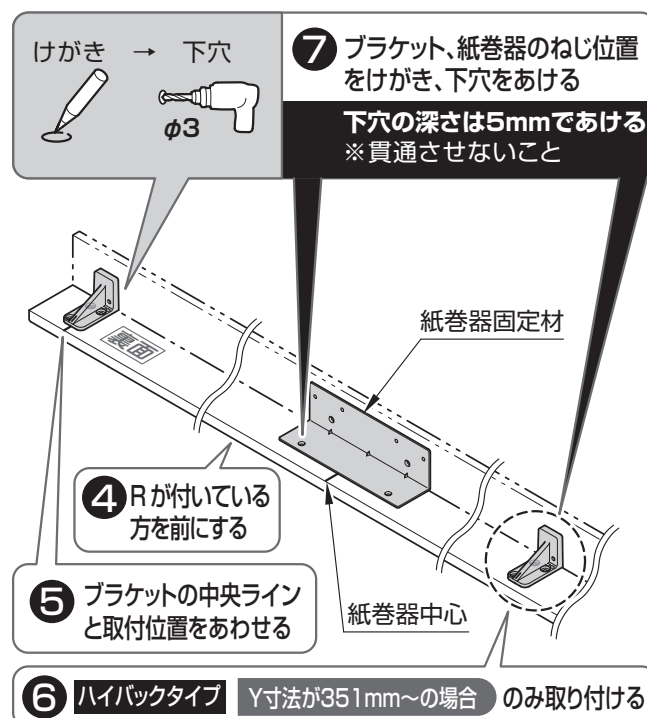
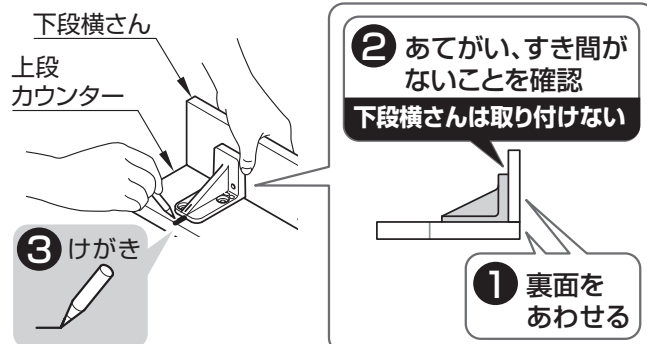
## 7 紙巻器・ブラケットの取り付け

### 樹脂製紙巻器の場合

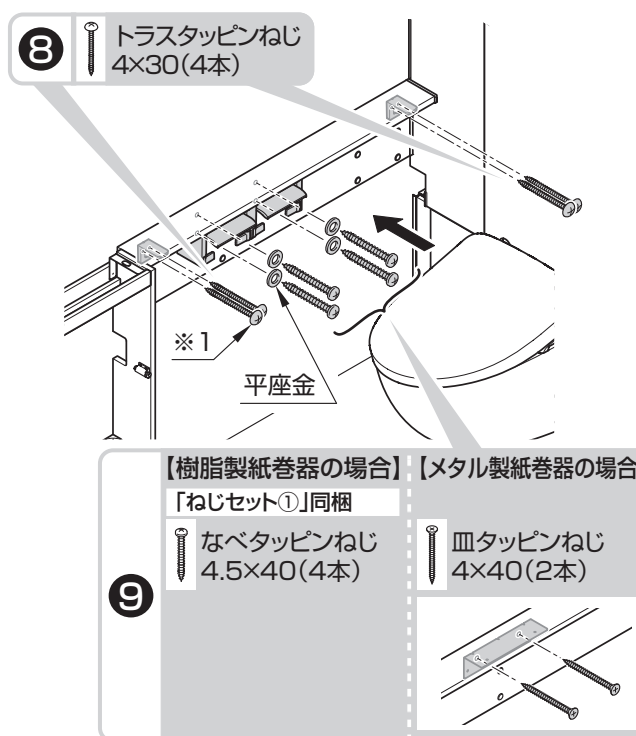
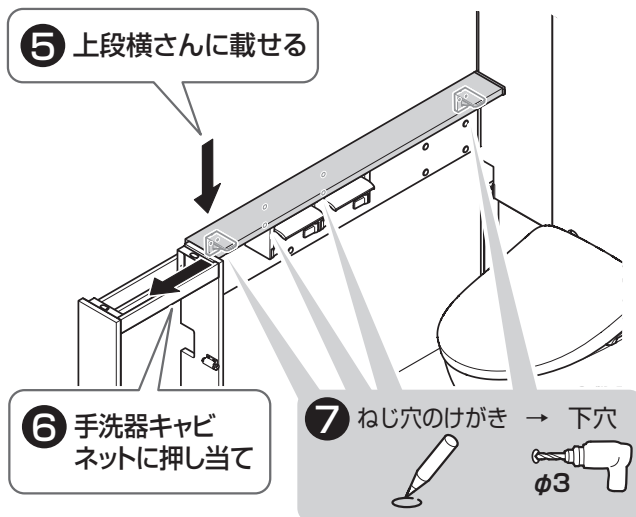
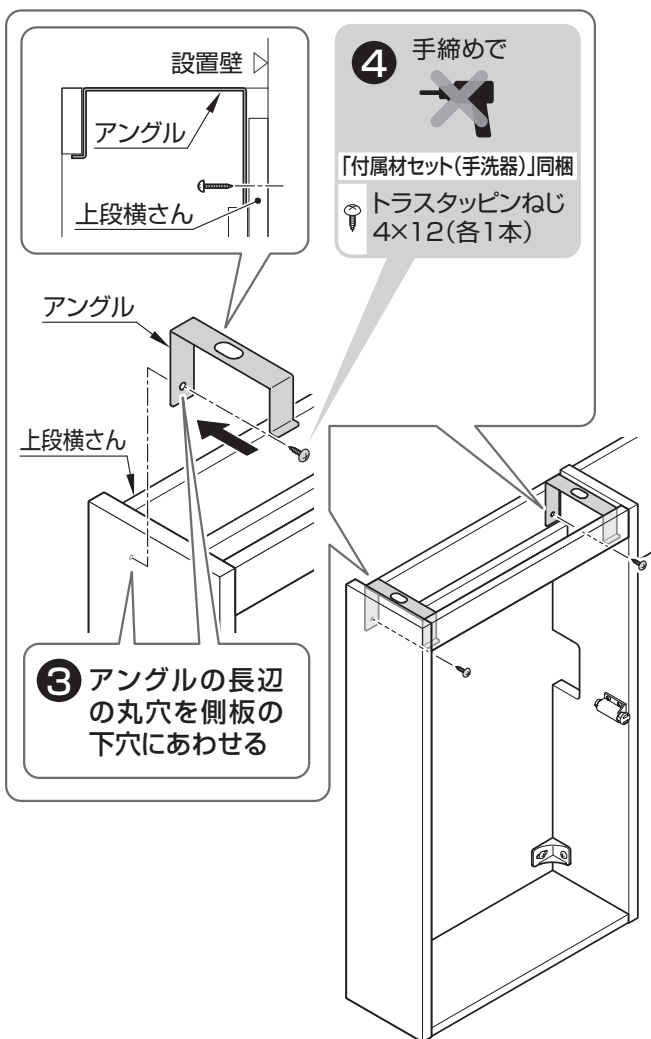
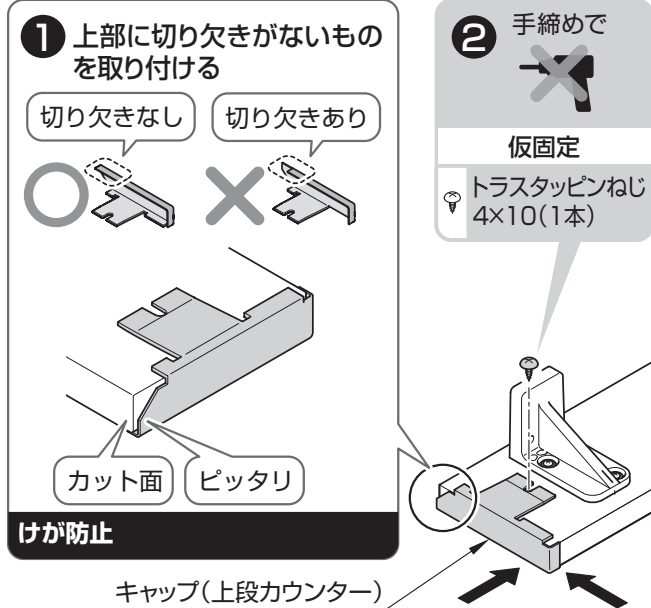


## メタル製紙巻器の場合

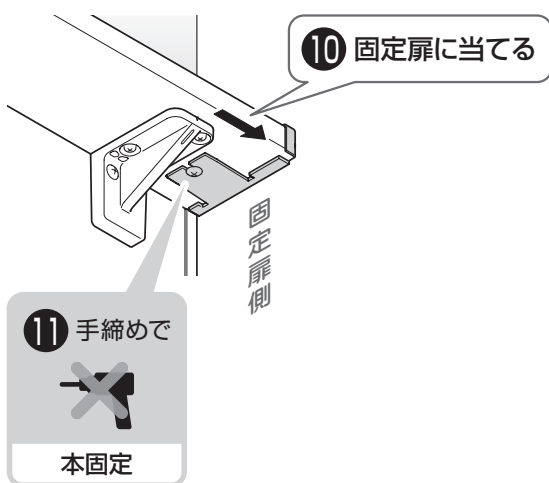
※紙巻器の取り付けは、「22. 仕上げ」にて行います。  
(▶P.126)



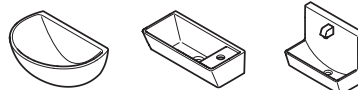
## 8 上段カウンター取り付け



※1 Y寸法が〜350mmの場合は手洗器側のブラケットなし

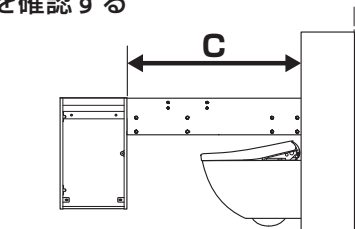


これより先は各手洗器タイプ共通手順となります

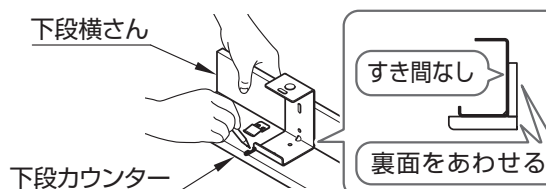


## 9 下段カウンター部材の取り付け

### ① C寸法を確認する



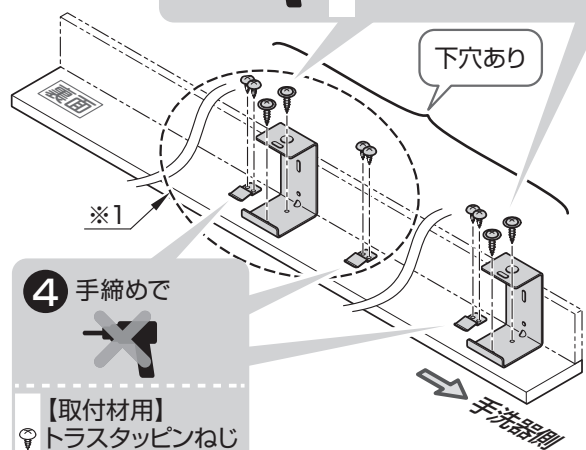
### ② ブラケットの裏面に下段横さんをあてがう



### ③ 手締めで



【ブラケット用】  
なべワッシャータッピンねじ  
4×16(4本)



### ④ 手締めで

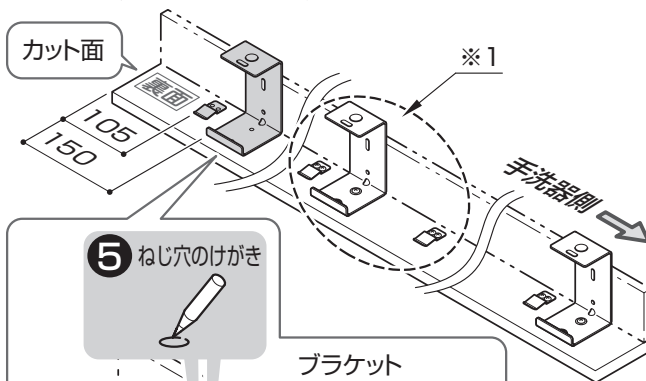


【取付材用】  
トラスタッピンねじ  
4×10(6本)

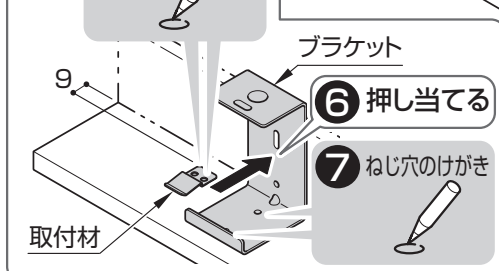
※1 C寸法が765mm～の場合のみ

C寸法が～764mmまたは921mm～の場合

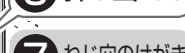
※1 C寸法が765mm～の場合のみ



### ⑤ ねじ穴のけがき



### ⑥ 押し当てる



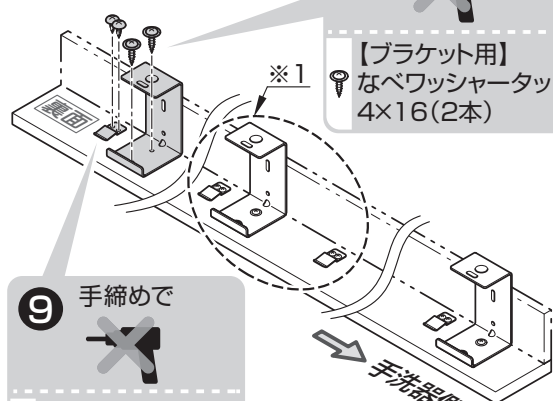
### ⑦ ねじ穴のけがき



### ⑧ 手締めで



【ブラケット用】  
なべワッシャータッピンねじ  
4×16(2本)

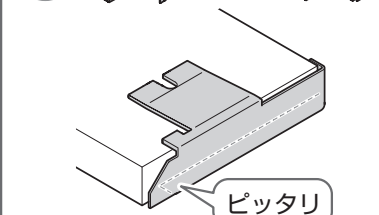
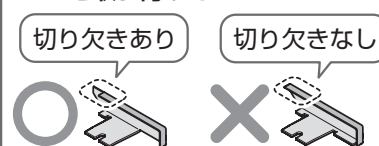


### ⑨ 手締めで



【取付材用】  
トラスタッピンねじ  
4×10(2本)

### ⑩ 上部に切り欠きがあるものを取り付ける



けが防止

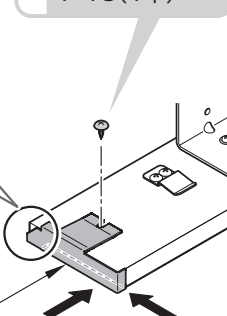
キャップ(下段カウンター)

### ⑪ 手締めで



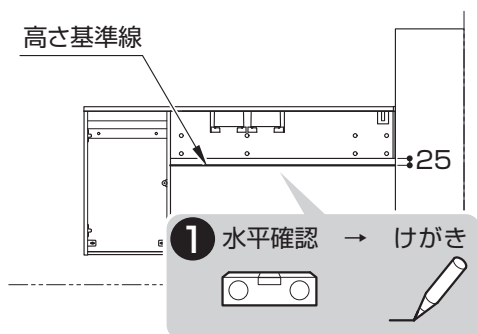
仮固定

トラスタッピンねじ  
4×10(1本)



## 10 下段横さんの取り付け

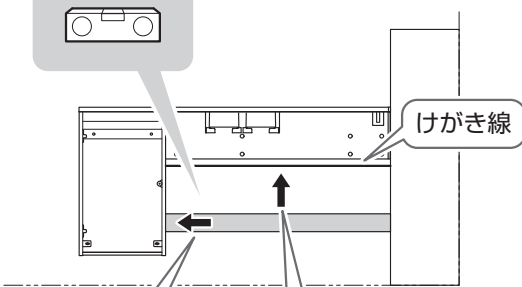
※図はベッセルタイプ(丸形/角形)の場合



向きに注意すること

国マークを手洗器側に

4 水平確認



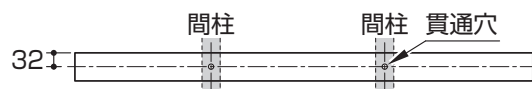
**3** キャビネット側板に当てる  
※ハイバックタイプの場合、キャビネット外側の側面と下段横さんの端面をあわせる

**2** 下段横さんの上端を **けがき線** にあわせる

壁裏補強なしの場合

**5-1**

貫通穴 (壁にあげない) 間柱にあわせる



**5-2**

貫通穴 (壁にあげない) 追加で貫通穴をあける



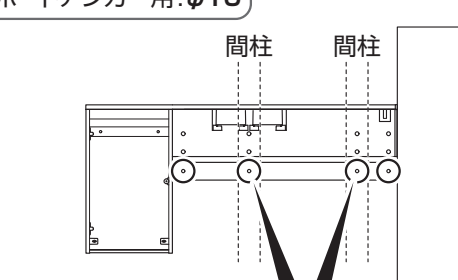
100 以下 100 以下  
不要 不要  
50 50  
5-1 であけた穴  
5-1 であけた穴が端部から100mm以下の場合、端から50mmの貫通穴は不要



**6** けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)



ねじ取付用:  $\phi 3$   
両端ボードアンカー用:  $\phi 10$

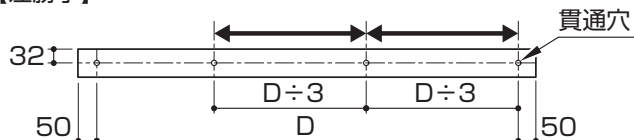


間柱にはねじ固定 (ボードアンカーは取り付けない)

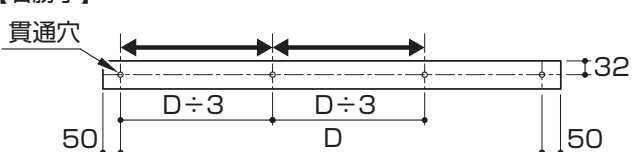
## 壁裏補強ありの場合

**5** 貫通穴  
(壁にあげない)  
φ5  
(4カ所)

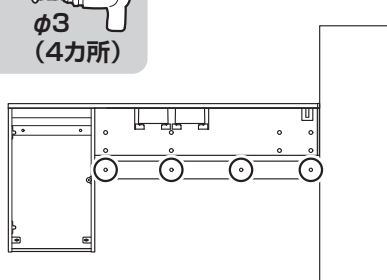
【左勝手】



【右勝手】

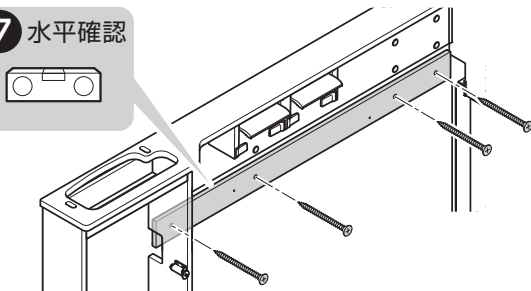


**6** けがき → 下穴  
φ3  
(4カ所)



## 壁裏補強なし/壁裏補強あり 共通

**7** 水平確認



**8** 皿タッピン  
ねじ  
4×40

※ボードアンカー取付部  
は手締め

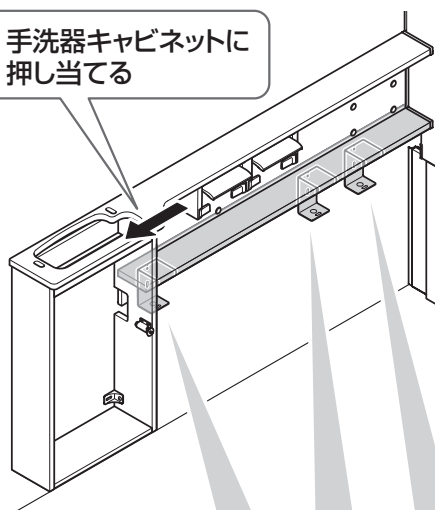
【壁裏補強ありの場合】  
4本

【壁裏補強なしの場合】  
カウンターの長さ、間柱数  
により使用本数が異なる

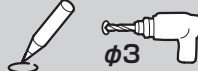
## 11 下段カウンター取り付け

※図はベッセルタイプ(角形)の場合

**1** 手洗器キャビネットに  
押し当てる

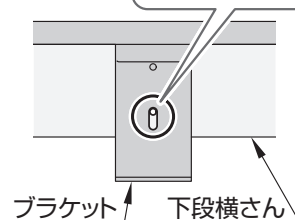


**2** けがき → 下穴



下段横さんに載せて  
下側の長穴にけがき、  
下穴をあける

長穴の上側を  
ねらってあける

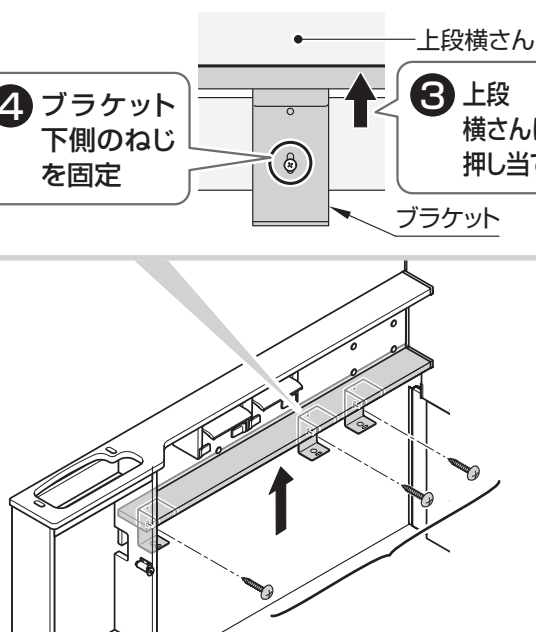


ブラケット 下段横さん

**5** トラストッピンねじ  
4×20(3本)

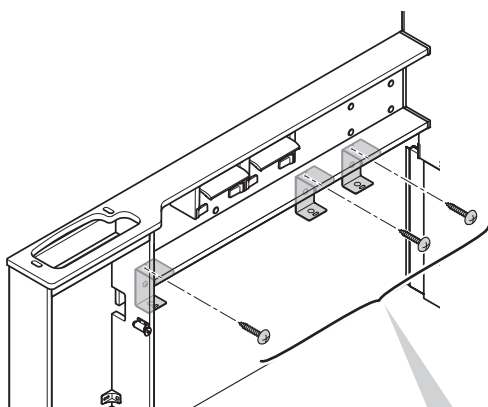
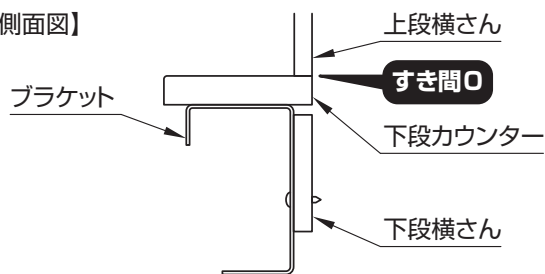
**4** ブラケット  
下側のねじ  
を固定

**3** 上段  
横さんに  
押し当てる



取付イメージ

【側面図】



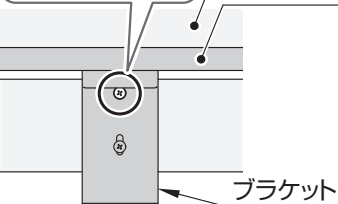
**6** けがき → 下穴



ブラケット上側の  
ねじを固定

上段横さん  
下段カウンター

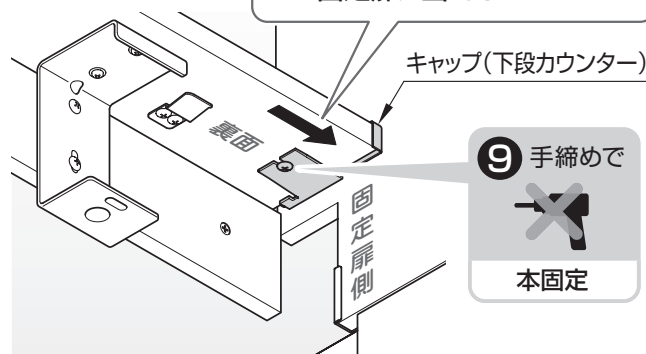
**7** トラストッピン  
ねじ  
4×20(3本)



必ず実施してください

上段横さんと下段カウンターにすき間がある場合は **3** に  
戻って長穴で調整する

**8** キャップ(下段カウンター)を  
固定扉に当てる



**9** 手締めで



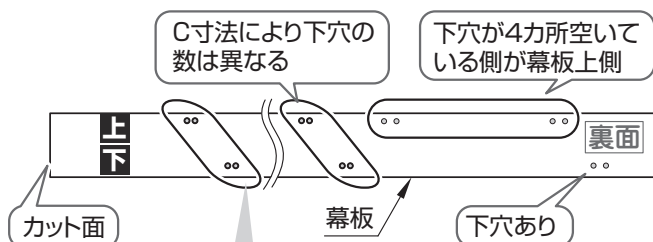
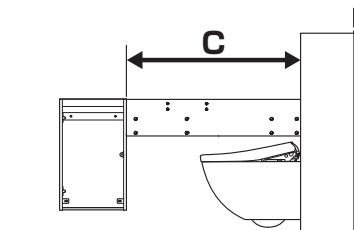
本固定

MEMO

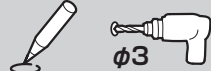
## 12 幕板部材の取り付け

### ① C寸法を確認する

※C寸法が765mm～959mmの場合は③へ  
※右勝手の場合、左右反転した形状となります。

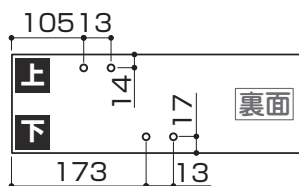


### ② けがき → 下穴



アングルの取付位置をけがき、  
下穴を深さ5mmであける

※貫通させないこと



### ③ 手締めで



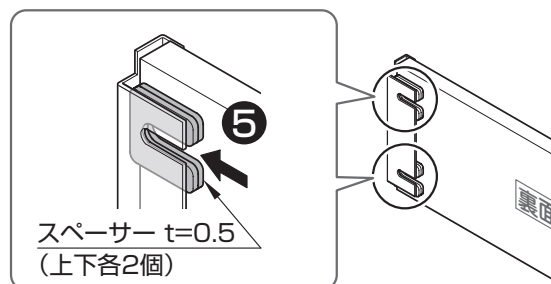
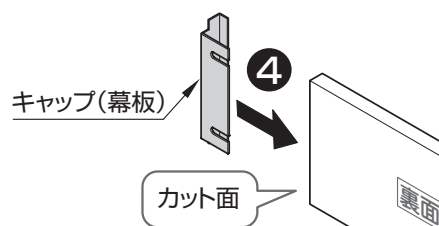
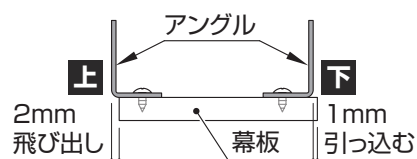
トラスタッピンねじ  
4×10(14本)

C寸法が765mm～  
959mmの場合は不要



※1 C寸法が765mm～の場合のみ

### 完成図



スペーサー t=0.5  
(上下各2個)



### ⑥ 測定

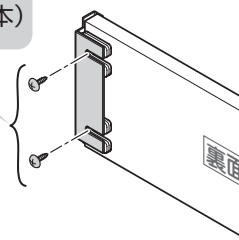


キャップの位置を調整する

### ⑦ 手締めで

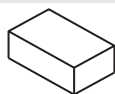


トラス  
タッピンねじ  
4×10(2本)



# 18. 手洗器・水栓金具

## 使用部材



詰め合わせ箱

## 施工説明書



型紙

※ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合は使用しません。



詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

## 付属材セット (手洗器)

### 【ベッセルタイプ(丸形/角形)】

#### 付属材セット(手洗器)

クリップナット (2個)    ばね座金 M6(2個)

#### 付属材セット

寸切ボルト M6×65 (2本)    ローレット ナットM6 (2個)    平座金 M6(4個)



クッション材 (1個)

### 【ハイバックタイプ】

#### 付属材セット(手洗器)

クリップナット (2個)    ばね座金 M6(2個)

#### 付属材セット

寸切ボルト M6×40 (2本)    ローレット ナットM6 (2個)    平座金 M6(4個)

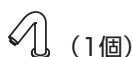


クッション材 (1個)



取付材 (2個)

## 自動水栓



(1個)

※図はベッセルタイプ(角形)

## ハンドル式水栓



(1個)

※図はベッセルタイプ(角形)



その他包装

## カウンター

### 取付材セット(排水ソケット)

【ベッセルタイプ(丸形)】  
【ベッセルタイプ(角形)】  
【ハイバックタイプ】

※図はベッセルタイプ(角形)



取付材 (1個)

座金組込  
なべ小ねじ  
4×12(4本)

### 排水ソケットセット



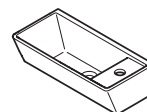
排水ソケット (1個)



パッキン(排水口) (1個)

## 手洗器

【ベッセルタイプ(丸形)】  
【ベッセルタイプ(角形)】  
【ハイバックタイプ】



(1台)

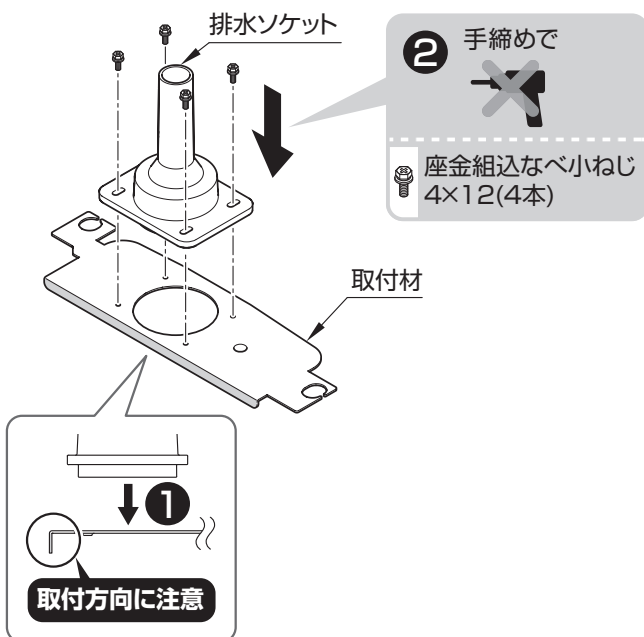
※図はベッセルタイプ(角形)

## 1 排水ソケットの組み付け

### ⚠ 注意



取付後、排水ソケットと取付材の間にすき間がないことを確認する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。



## 2 クッション材のはり付け

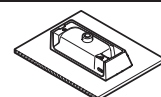
- 1 はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る
- 2 クッション材のセパレータをはがしながら、下記の位置にクッション材をはり付ける

### ⚠ 警告



クッション材のはり付けは確実に行う  
水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

- ・手洗器上面を下側にする際は、ダンボールなどを敷く  
手洗器に傷が付かないようにしてください。
- ・手洗器の内側コーナー部にあわせてはり付ける  
設置後にクッション材がはみ出すことがあります。

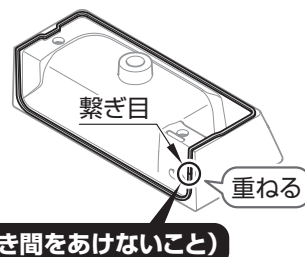


内側コーナー部にあわせる  
クッション材

### ベッセルタイプ(丸形)



### ベッセルタイプ(角形)



### ハイバックタイプ

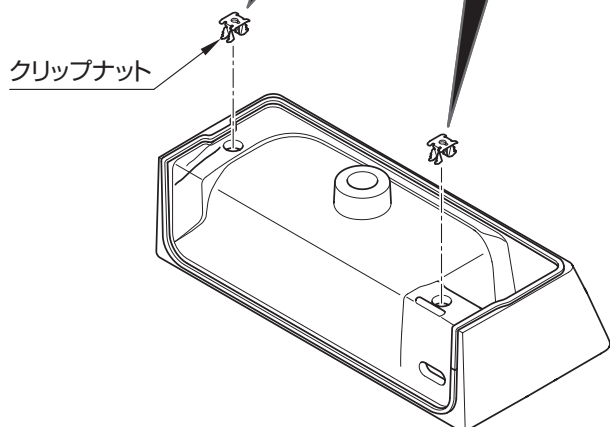
- 6 手洗器の取り付けで実施(▶P.103)

### 3 手洗器の組み立て

- ① 平らな面に手洗器とのすき間がなくなるまで、  
しっかり押し込む



施工不良防止



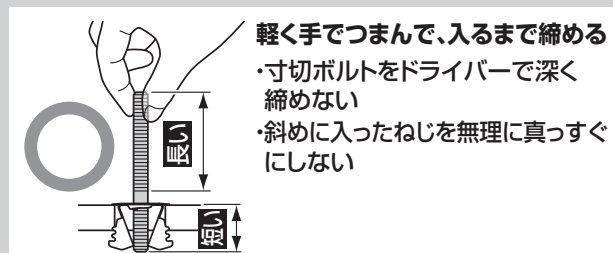
- ② 手締めで 【ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合】



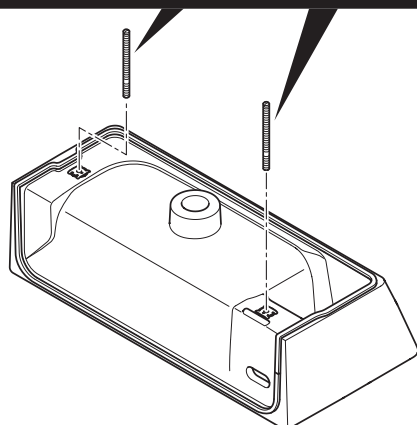
寸切ボルト  
M6×65(2本)

【ハイバックタイプの場合】

寸切ボルト  
M6×40(2本)



施工不良防止



### 4 パッキン(排水口)の取り付け

#### ⚠ 注意



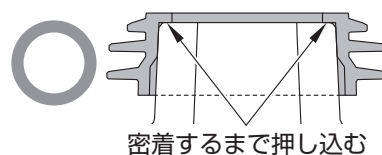
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない  
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害  
発生の原因となります。

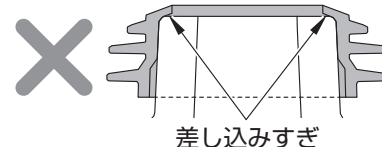


必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に  
密着するまで押し込む  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生  
の原因となります。



密着するまで押し込む



差し込みすぎ

- ① 手洗器排水口外周の  
汚れを取り除き、  
取り付ける

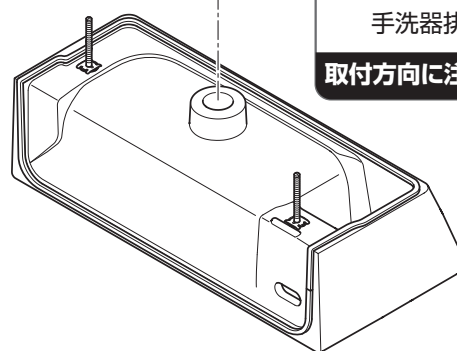
排水ソケット側



手洗器排水口装着側

取付方向に注意

パッキン(排水口)



|                |        |
|----------------|--------|
| ベッセルタイプ(丸形)の場合 | ▶P.101 |
| ベッセルタイプ(角形)の場合 | ▶P.102 |
| ハイバックタイプの場合    | ▶P.103 |

## ベッセルタイプ(丸形)

### 5 手洗器の取り付け

① バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定前に行う

参照 バックパネルの施工説明書

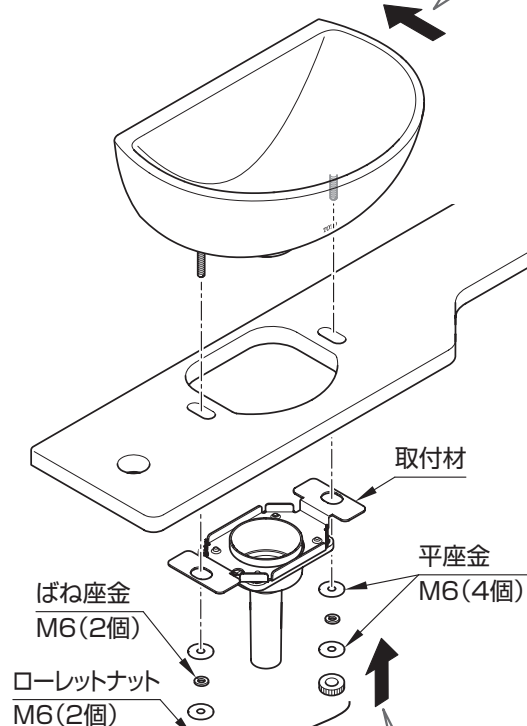
### 注意



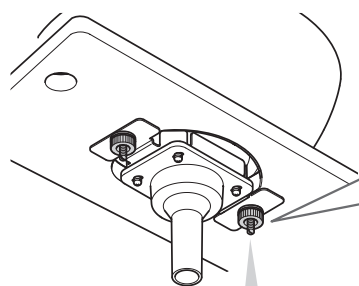
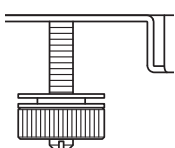
必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する  
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

② 壁側に押し当てながら取り付ける



③ 寸切ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる



⑤ ローレットナットを  
しっかり締め付ける

手洗器にがたつきがない  
ことを確認

④ 手締めで しっかり寸切ボルトを締め込む  
※締め時、手洗器との摩擦音  
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む  
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが  
できれば問題ありません。

### 6 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書

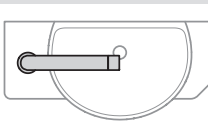
吐水口の向き



ハンドル式水栓の場合

② 動かないことを確認

吐水口の向き



水栓本体

パッキン

忘れないこと

菊座金

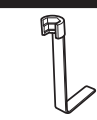
ナット

パッキン

忘れないこと

フレキホース

ナット締め付具を  
使用すると作業が  
しやすくなります



(別売品)

① 部材を組み立てる

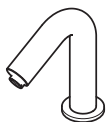
☞ P.105 19.給排水部材(手洗器)へ

## ベッセルタイプ(角形)

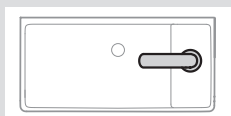
### 5 水栓金具の取り付け

#### 自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書



#### 吐水口の向き



#### ハンドル式水栓の場合

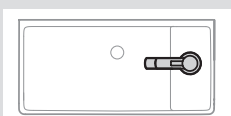
#### ② 動かないことを確認

水栓本体

パッキン

忘れないこと

#### 吐水口の向き



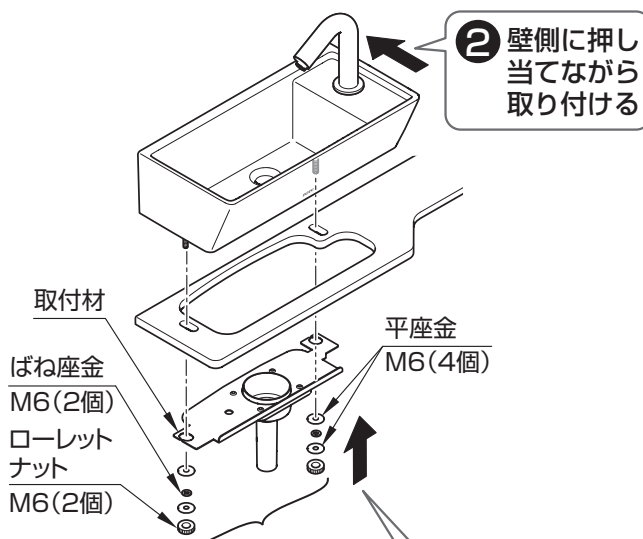
#### ① 部材を組み立てる

ナット締付工具を使用すると作業が  
しやすくなります



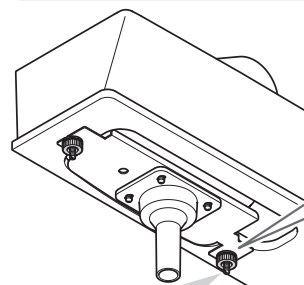
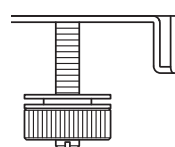
(別売品)

菊座金  
ナット



#### ② 壁側に押し 当てながら 取り付ける

#### ③ 寸切ボルトの先端が見えるまで ローレットナットを入れる



#### ⑤ ローレットナットを しっかり締め付ける

手洗器にがたつきがない  
ことを確認

#### ④ 手締めで



しっかり寸切ボルトを締め込む  
※締め時、手洗器との摩擦音が  
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む  
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが  
できれば問題ありません。

#### ハンドル式水栓の場合

### 6 手洗器の取り付け

#### バックパネル (オプション) ありの場合

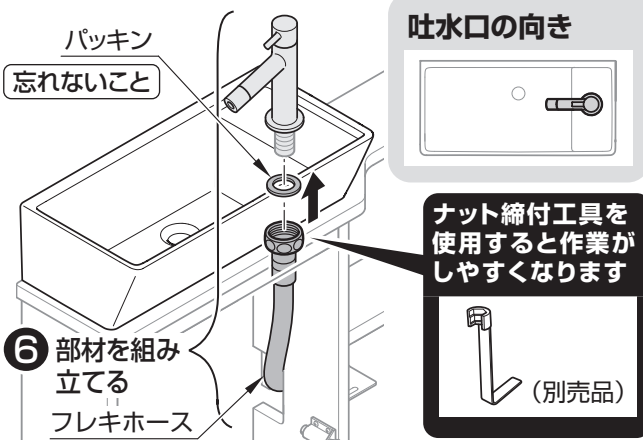
#### ① 手洗器を仮置きし、取付材組品(バックパネル)を取り付ける

参照 バックパネルの施工説明書

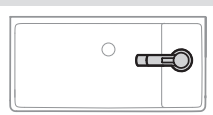
#### 各タイプ共通

### ⚠ 注意

|             |                                                                  |
|-------------|------------------------------------------------------------------|
| <p>禁止</p>   | 水栓部分を持たない<br>給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生<br>の原因となります。                   |
| <p>必ず守る</p> | パッキン(排水口)がセットされていることを確認する<br>水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害<br>発生の原因となります。 |



#### 吐水口の向き



#### ⑥ 部材を組み 立てる フレキシホース

ナット締付工具を  
使用すると作業が  
しやすくなります



(別売品)

#### バックパネル (オプション) ありの場合

#### ⑦ バックパネルを取り付ける

参照 バックパネルの施工説明書

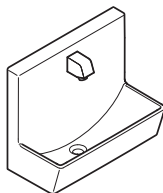
🔧 P.105 19.給排水部材(手洗器)へ

## ハイバックタイプ

### 5 水栓金具の取り付け

#### 自動水栓の場合

あらかじめ手洗器にセットされています。



#### ハンドル式水栓の場合

参照 ハンドル式水栓の施工説明書

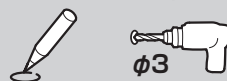


### 6 手洗器の取り付け

#### ⚠ 注意

|             |                                                                           |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------|
| <p>禁止</p>   | <p>水栓部分を持たない<br/>給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生<br/>の原因となります。</p>                   |
| <p>必ず守る</p> | <p>パッキン(排水口)がセットされていることを確認する<br/>水漏れして建物や設備などをめらす財産損害<br/>発生の原因となります。</p> |

#### 2 けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



取付穴位置

型紙

#### 3 型紙を外す

#### 4 トラスタッピンねじ 4×50(4本)

「付属材セット(手洗器)」同梱  
※ボードアンカー取付部は手締め

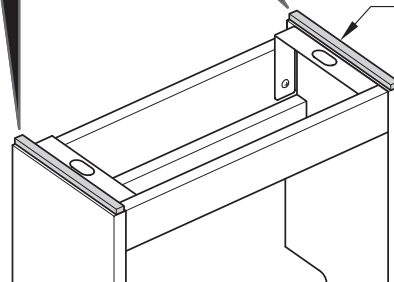
取付材

#### 1 ここにあわせる

#### 5 側板の奥行きにあわせてカットし、 側板上部にはり付ける

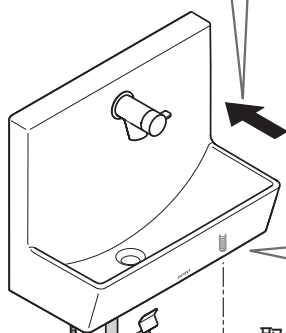
側板からクッション材がはみ出さないようにする

クッション材



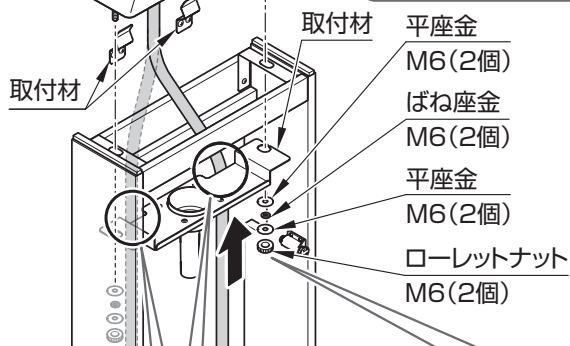
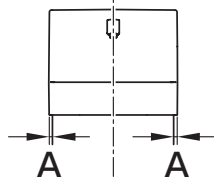
# MEMO

## ⑥ 壁に押し当てる



## ⑦ 手洗器を取付材に差し込む

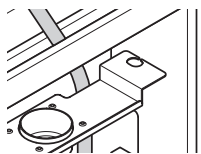
## ⑧ 左右の位置を調整し段差「A」が均等になるようにする



## ⑨ 取付材にフレキホースを通す

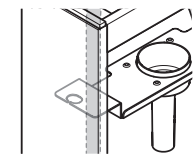
### 【左勝手】

右側の切り欠きに通す  
(図の実線)



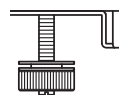
### 【右勝手】

左側の切り欠きに通す  
(図の破線)



## ⑩

寸切ボルトの  
先端が見える  
までローレット  
ナットを入れる



## ⑫ ローレットナットを しっかり締め付ける

手洗器にがたつきがない  
ことを確認

## ⑪ 手締めで



しっかり寸切ボルトを締め込む

※締め付時、手洗器との摩擦音が  
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む

※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが  
できれば問題ありません。

# 19. 給排水部材 (手洗器)

## 使用部材



### 詰め合わせ箱

#### 付属材セット (キャビネット)

##### ホースクランプセット



ホースクランプ  
(1個)



トラスタッピンねじ  
4×30(1本)

##### 排水管固定材セット

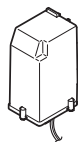


皿タッピンねじ  
4×16(1本)

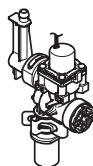


### 詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

#### 自動水栓コントローラー部



コントローラー  
(1個)



自動水栓機能部  
(1個)



ファスナーガイド  
(1個)



つば付ナット  
(1個)



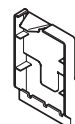
取付金具  
(1個)



座付タッピンねじ  
4.5×38(2本)



ホースクランプ  
(1個)

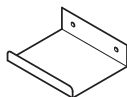


コントローラー  
固定材(1個)



トラス  
タッピンねじ  
4×30(3本)

#### コンセントプレートカバー ※電気温水器付の場合



コンセントプレートカバー  
(1個)



トラスタッピンねじ  
4×30(2本)



### その他包装

#### カウンター

##### 排水ソケットセット

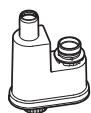


袋ナット  
(1個)



パッキン(排水口)  
(1個)

##### ドラムトラップ組品



ドラム  
トラップ  
(1個)



クイックファスナー  
(1個)

##### 排水管組品

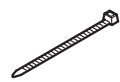


(1本)

##### 付属材セット



トラス  
タッピンねじ  
4×12(2本)

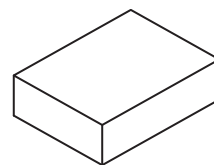


結束バンド  
(2個)



ホースクランプ(大)  
(2個)

#### 電気温水器 ※電気温水器付の場合



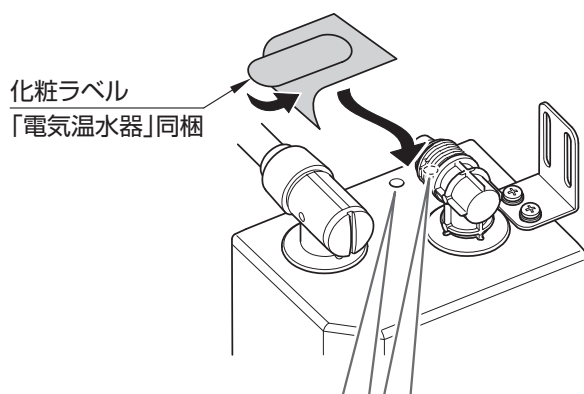
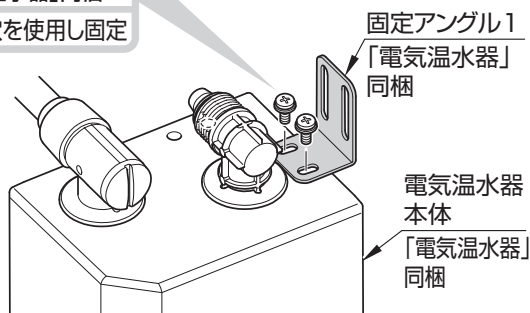
(1箱)

# 1 電気温水器の取り付け 電気温水器なしの場合は 2 へ

## 1 手締めで

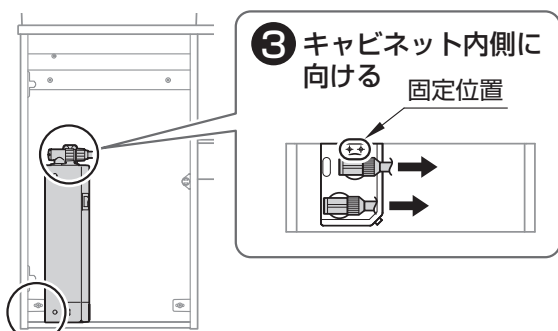


座金組込なべ小ねじ  
 M4×10(2本)  
 「電気温水器」同梱  
 短辺側の穴を使用し固定

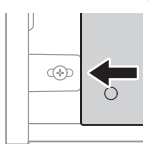


## 2 長辺側の穴に化粧ラベルをはりふさぐ

【左勝手】

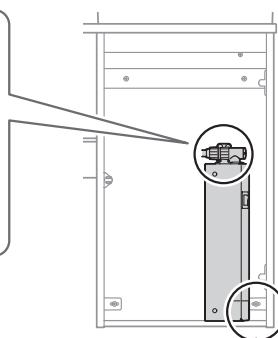
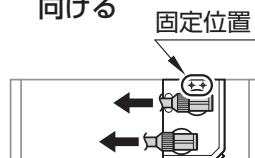


## 4 手洗器キャビネット内のアングルに電気温水器を突き当てる

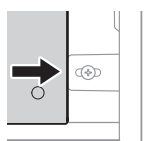


【右勝手】

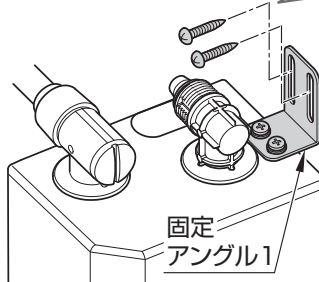
## 3 キャビネット内側に向ける



## 4 手洗器キャビネット内のアングルに電気温水器を突き当てる



## 5 壁に固定する※



なべタッピンねじ  
 4×30(2本)  
 「電気温水器」同梱

※【壁裏補強なしの場合】  
 下穴 → ボードアンカー (オプション)



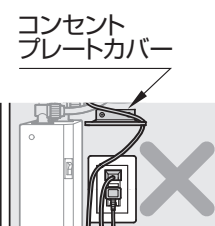
ボードアンカー取付部は手締め

## 警告

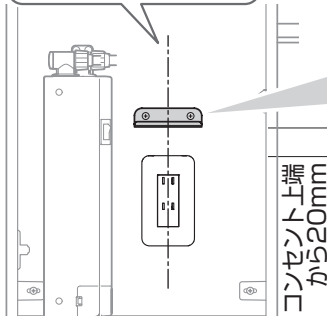
電源コード・アース線は、キャビネットと電気温水器との間や、扉に挟まない  
 コードが傷つき、火災や感電の原因となります。



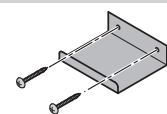
電源コードはコンセントプレートカバーの上を通さない  
 結露がコードを伝わりコンセントにかかり、火災や感電のおそれがあります。



## 6 コンセントと中心をあわせる



## 7 トラスタッピンねじ 4×30(2本)



※【壁裏補強なしの場合】  
 下穴 → ボードアンカー (オプション)



ボードアンカー取付部は手締め

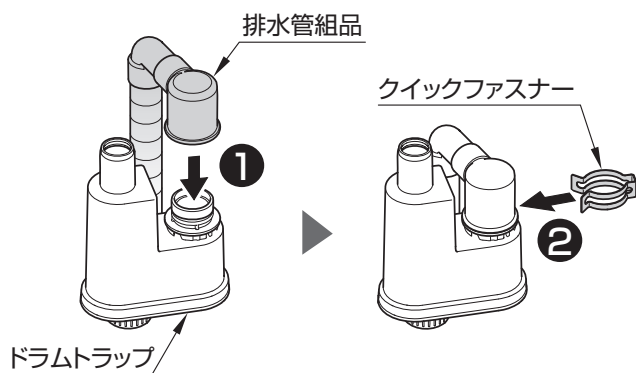
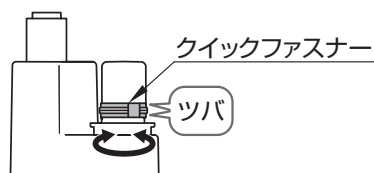
## 2 ドラムトラップの取り付け

### ⚠ 注意



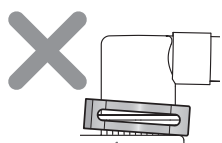
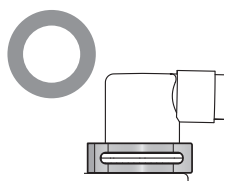
必ず守る

- ・クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する
- ・全周にツバがかかっていることを確認する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生  
の原因となります。

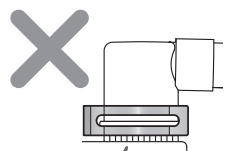


### クイックファスナーの取り付けかた

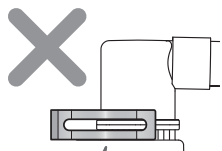
- ③ クイックファスナーが正しくセットされているか確認する



クイックファスナーが斜めにセットされている



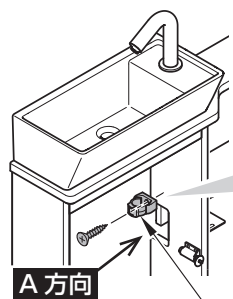
クイックファスナーが片側だけにセットされている



クイックファスナーが途中でセットされている

- ④ 排水管組品を強く引っ張って抜けないことを確認する

クイックファスナーを正しくセットする  
排水管組品が抜けて水漏れのおそれがあります。

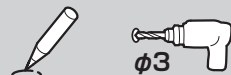


A方向

取付材

「付属材セット(キャビネット)  
排水管固定材セット」同梱

- ⑤ けがき → 下穴

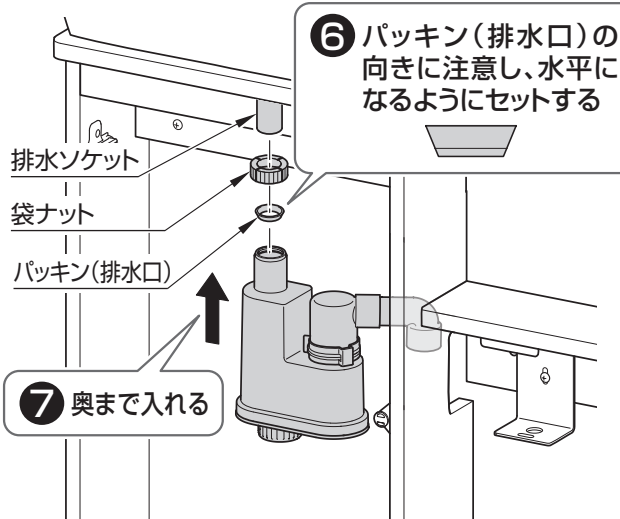
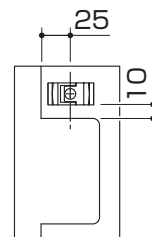


手締めで



皿タッピンねじ  
4×16(1本)

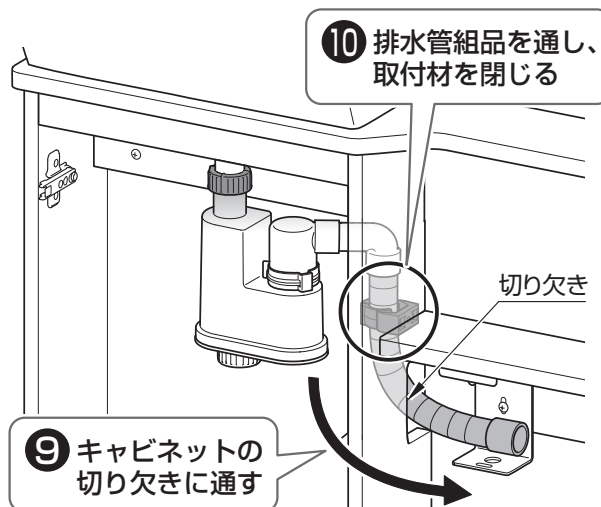
【A方向から見た図】



- ⑥ パッキン(排水口)の向きに注意し、水平になるようにセットする

- ⑦ 奥まで入れる

- ⑧ 各部の袋ナットを手で確実に締める  
※手で軽く抵抗があるところまで回し、さらに90度以上締め付けるのが目安です。

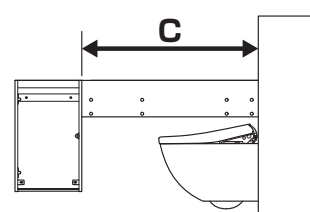


- ⑩ 排水管組品を通し、取付材を閉じる

- ⑨ キャビネットの切り欠きに通す

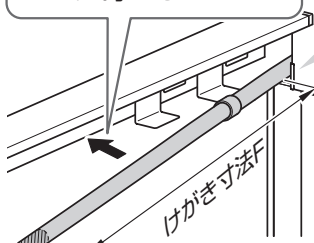
### 3 手洗器用排水ホースの取り付け

#### ① C寸法を確認する



② 奥行寸法C - 規定寸法 180 = けがき寸法F

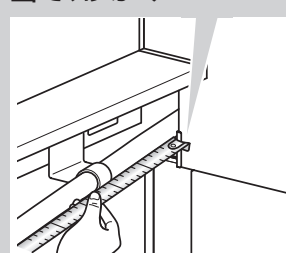
#### ④ 上段カウンター側に寄せる



#### ③ けがき



大便器キャビネットに当て、けがく



### ! 注意



必ず守る

手洗器用排水ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない  
手洗器用排水ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

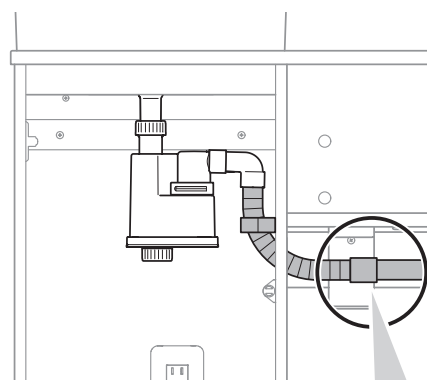
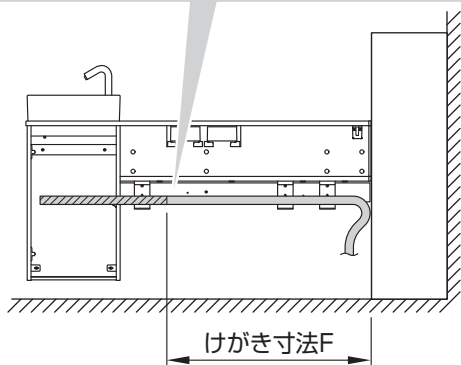
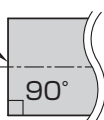


#### ⑤ カット



手洗器用排水ホースは垂直にカットする

カット面



#### ⑥ 両面塗布

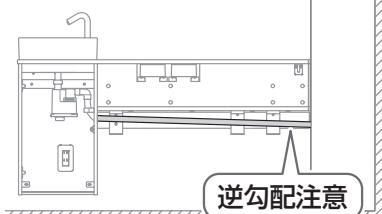


排水管組品

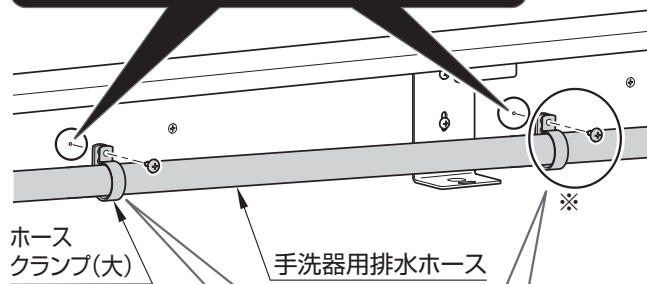
手洗器用排水ホース

#### ⑦

#### ⑧ 逆勾配にならないように、必ず下段横さんの下穴に固定する



排水不良防止



#### ⑨ 固定する

手締めで



トラスタッピンねじ 4×12(2本)

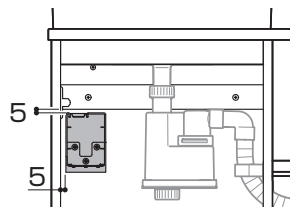
※C寸法が705mm~の場合のみ取り付け

## 4 コントローラー・機能部の取り付け

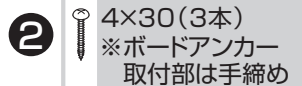
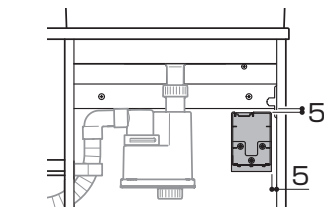
ハンドル式水栓の場合は **5** へ



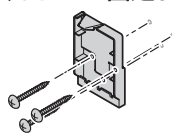
【左勝手】



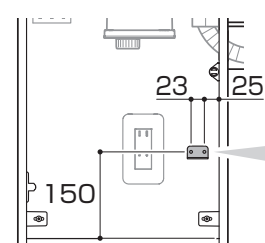
【右勝手】



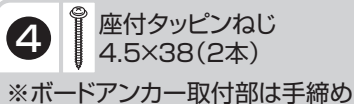
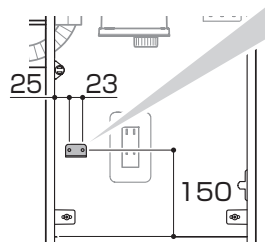
下穴あわせで固定する



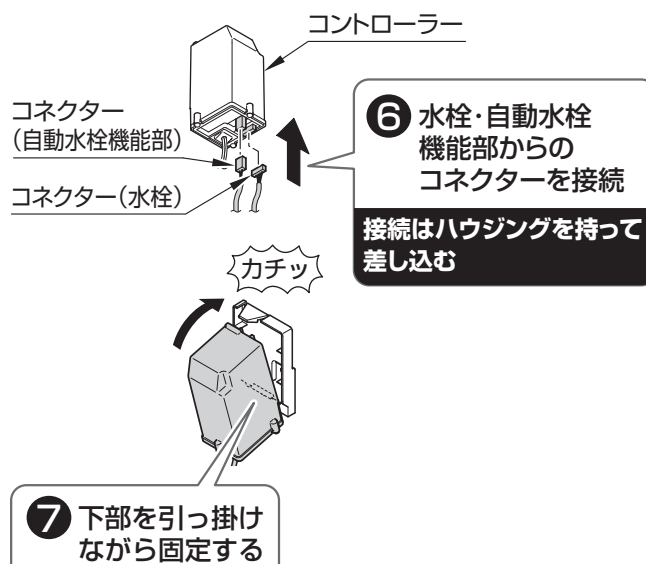
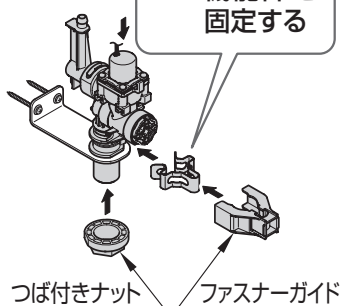
【左勝手】



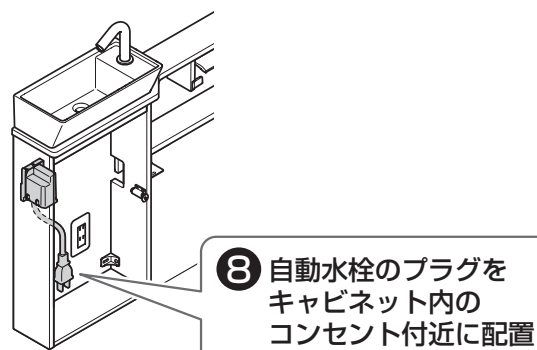
【右勝手】



**5** 自動水栓  
機能部を  
固定する



電気温水器ありの場合



電気温水器なしの場合



## 5 ホースの取り付け

### ⚠ 注意

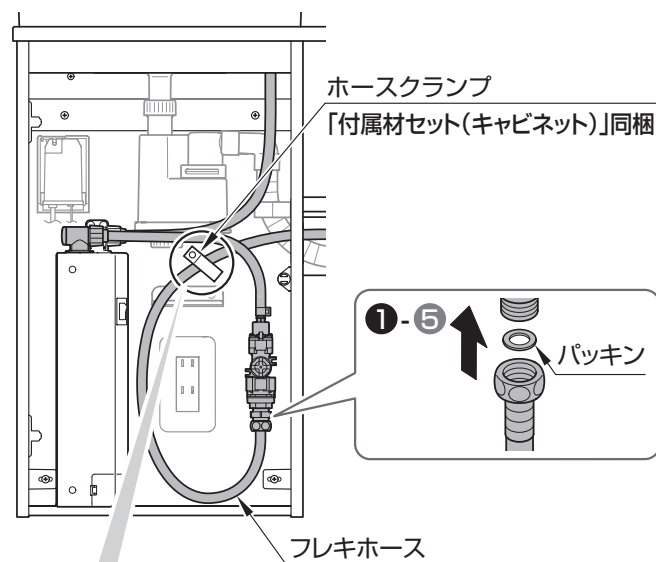
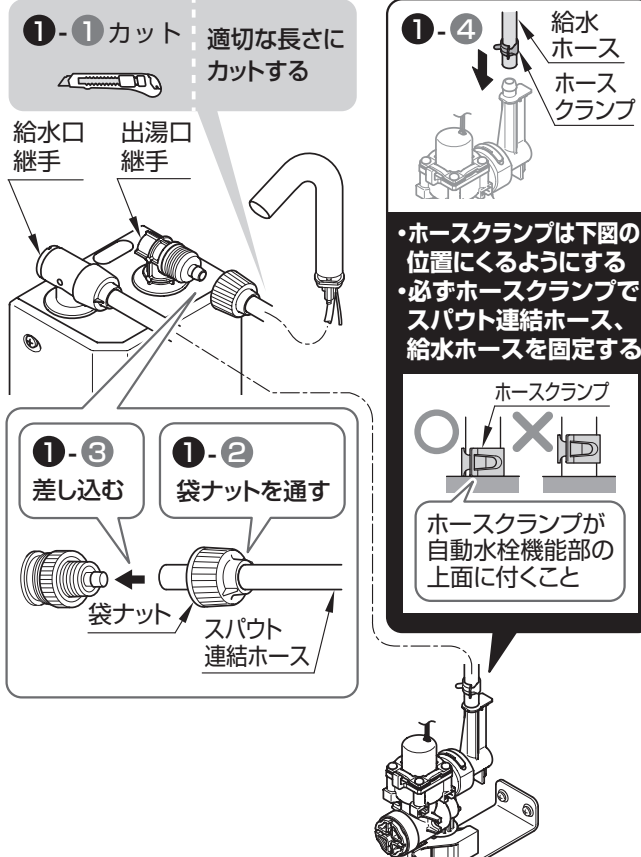


必ず守る

- ・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
- ・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
- ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

90°

### 自動水栓 (電気温水器あり)



### 1-6

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】



けがき → 下穴 → ボードアンカー (オプション)



ボードアンカー取付部は手締め

### 1-7

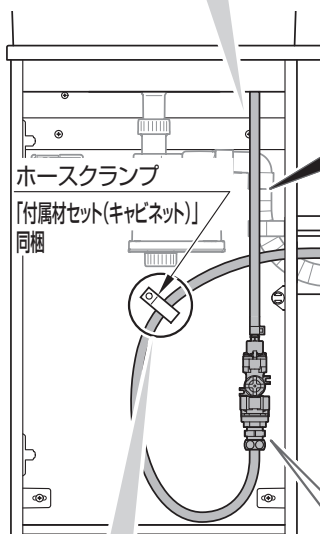
トラスタッピンねじ  
4×30(1本)

➡ P.111 ②へ

## 自動水栓(電気温水器なし)

### ①-① カット

適切な長さに  
カットする

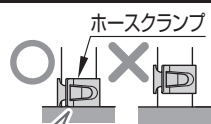


ホースクランプ  
「付属材セット(キャビネット)」  
同梱

### ①-②

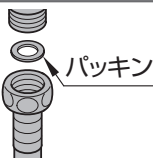


・ホースクランプは下図の  
位置にくるようにする  
・必ずホースクランプで  
給水ホースを固定する



ホースクランプが  
自動水栓機能部の  
上面に付くこと

### ①-③



### ①-④

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】



けがき → 下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

ボードアンカー取付部は手締め

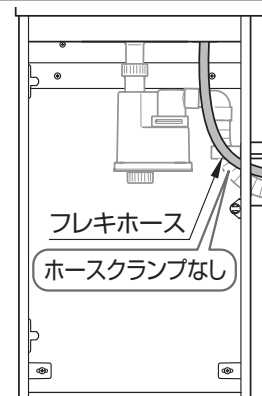
### ①-⑤

トラスタッピンねじ  
4×30(1本)

同ページ ②へ

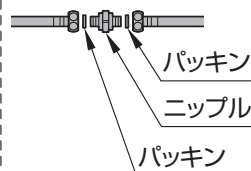
## ハンドル式水栓

### ベッセルタイプ(丸形)/ハイバックタイプの場合



フレキホース  
ホースクランプなし

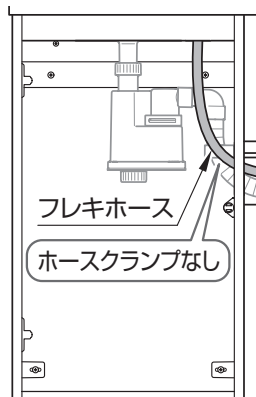
【ハイバックタイプの場合のみ】



パッキン  
ニップル  
パッキン

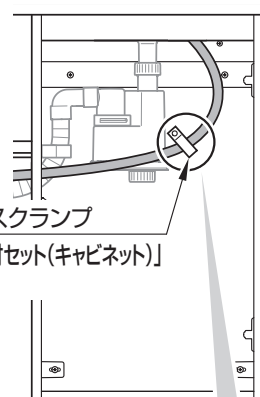
### ベッセルタイプ(角形)の場合

#### 【左勝手】



フレキホース  
ホースクランプなし

#### 【右勝手】

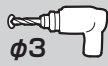


ホースクランプ  
「付属材セット(キャビネット)」  
同梱

### ①-①

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】



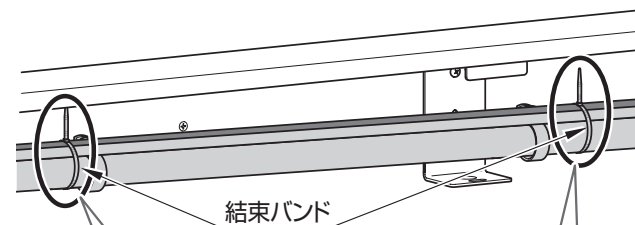
けがき → 下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

ボードアンカー取付部は手締め

### ①-②

トラスタッピンねじ  
4×30(1本)

## 自動水栓/ハンドル式水栓 共通



結束バンド

② フレキホースを手洗器用  
排水ホースの上に載せる

③ 固定する

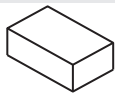
※自動水栓の電源コードがある  
場合は手洗器用排水ホースの  
上に載せる



電源コード  
フレキホース

## 20. 試運転・確認

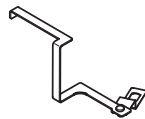
### 使用部材



コアキャビネット

### セットタンク

【流動方式の場合】



流動レバー  
(1個)

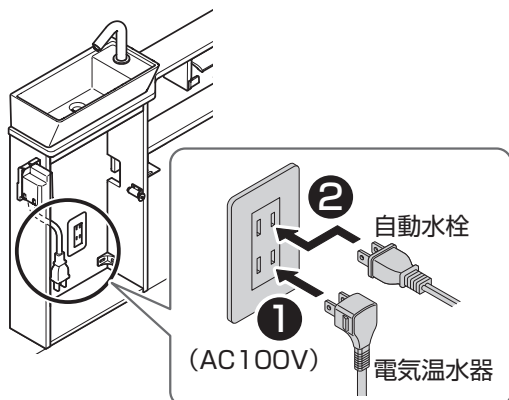


レバー止め  
(1個)

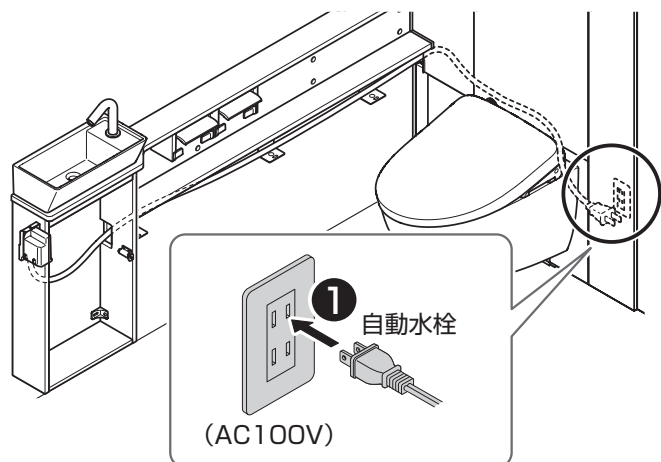
# MEMO

## 1 電源プラグの接続 自動水栓以外の場合は2へ

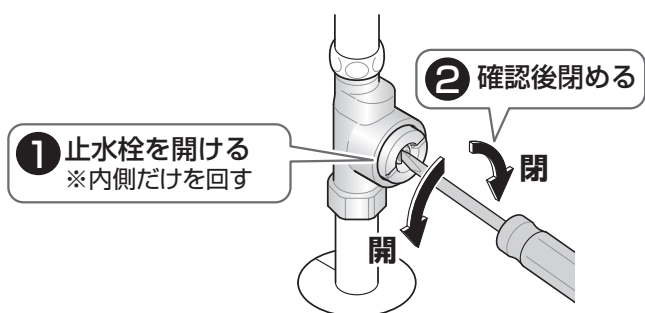
### 電気温水器ありの場合



### 電気温水器なしの場合



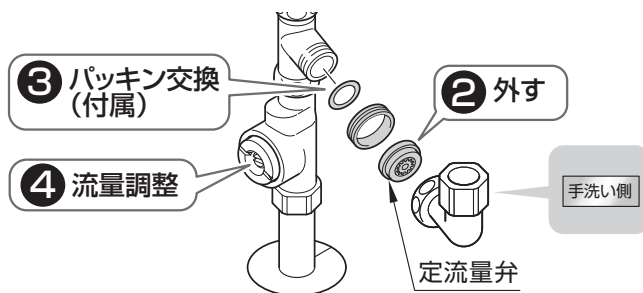
## 2 試運転の前準備



## 3 水栓の吐水量確認

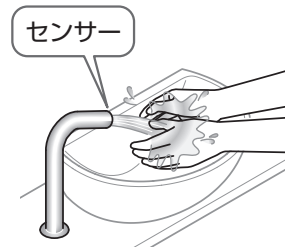
### 1 水栓の吐水確認をする

【吐水量が少ない場合】

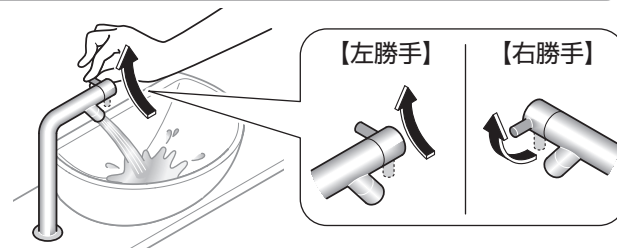


### ベッセルタイプ(丸形)

#### 自動水栓

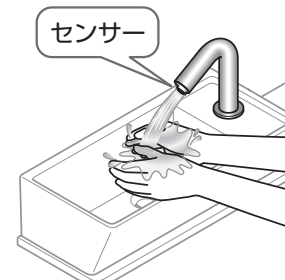


#### ハンドル式水栓

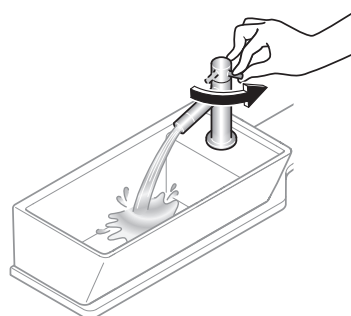


### ベッセルタイプ(角形)

#### 自動水栓

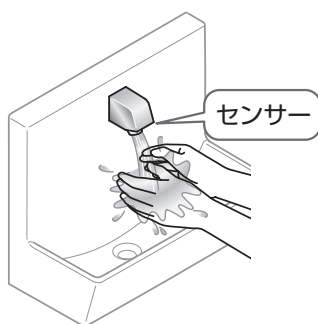


#### ハンドル式水栓

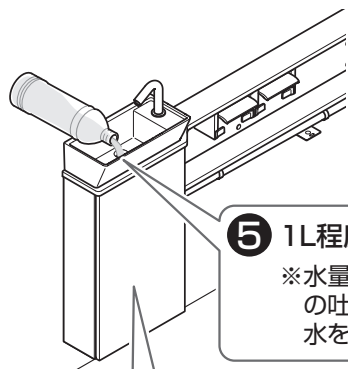
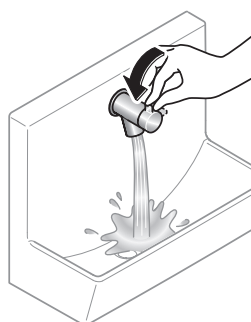


## ハイバックタイプ

### 自動水栓

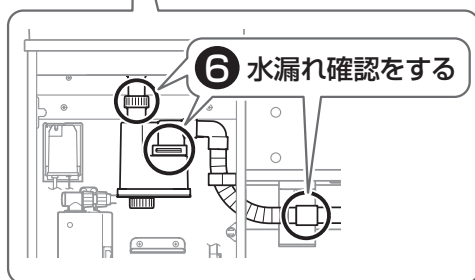


### ハンドル式水栓

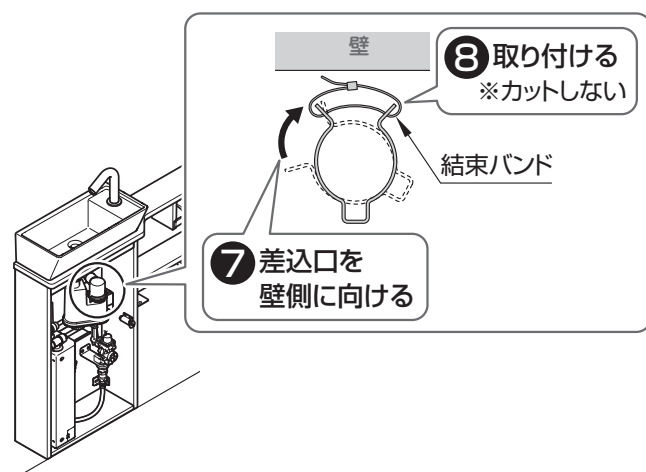


#### ⑤ 1L程度水を流す

※水量が必要なため直前に手洗器の吐水確認をしても追加で水を流すこと



#### ⑥ 水漏れ確認をする



#### ⑧ 取り付ける ※カットしない

結束バンド

#### ⑦ 差込口を 壁側に向ける

## 4 電気温水器の吐水確認

### ① 電気温水器を試運転し、吐水確認を行う

参照 電気温水器の施工説明書

## 5 ウォシュレットの吐水確認

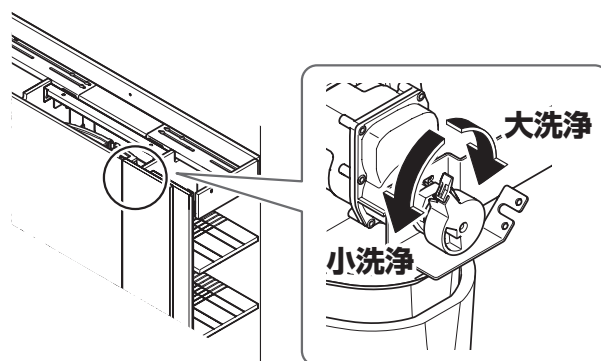
### ① ウォシュレットを試運転し、吐水確認を行う

参照 ウォシュレットの施工説明書

※試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

## 6 便器洗浄の確認

### 洗浄レバー



### ① 作動確認

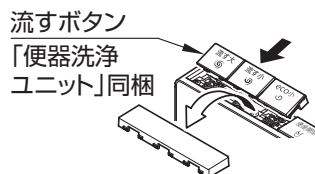
コアキャビネット内の洗浄レバーを操作する

- ☐ 大・小洗浄とも正常に行われるか
- ☐ スムーズに回転するか

## リモコン

### ① 流すボタンが取り付けられているか確認する

参照 流すボタン取付説明書

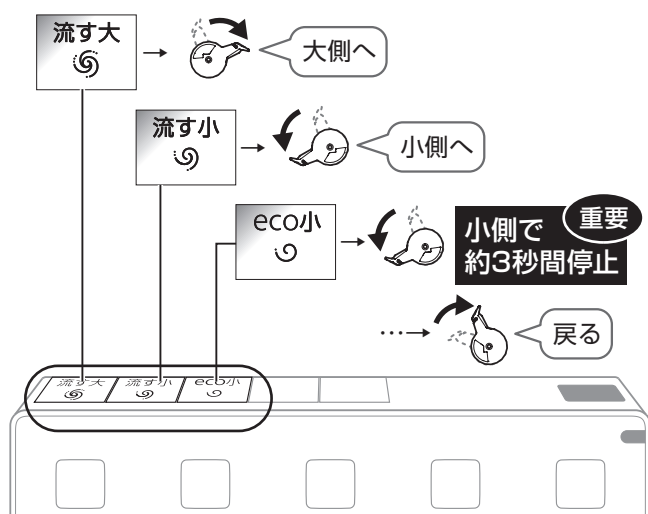


### ② 作動確認

□「大」・「小」・「eco小」のボタンを押して、それぞれの洗浄が正常に行われるか

※連続して押すと作動しません。

約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※機種によってデザインなどが異なります。

### ③ 試運転完了後、「運転入/切」が、「入」になっていることを確認する(「運転ランプ」点灯)

「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んで  
もウォシュレットは作動しません。

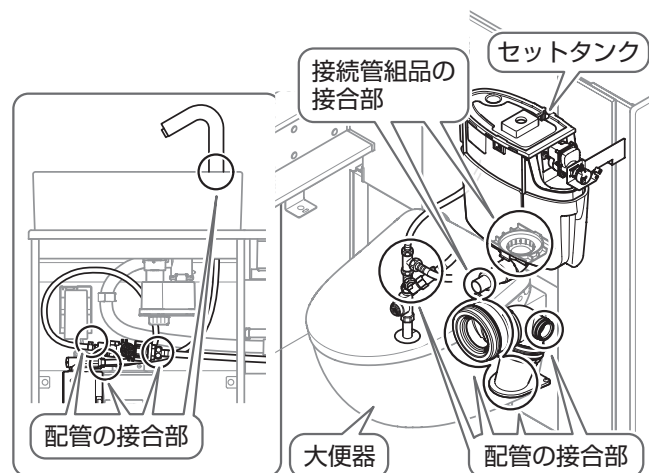
※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」  
を切らないでください。

## 7 大便器・配管類の水漏れ確認

### ① 作動確認

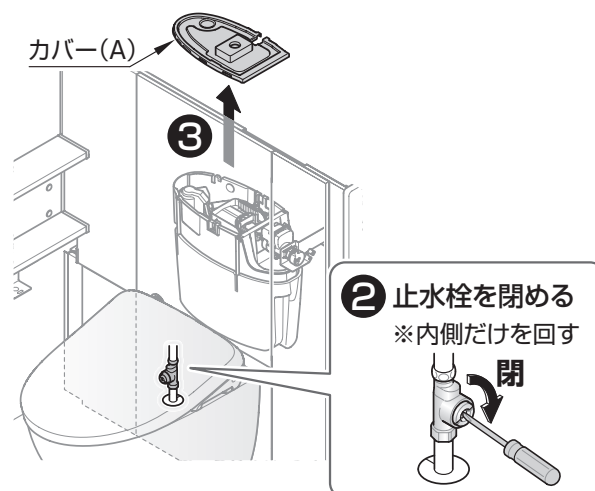
2~3度洗浄させて、水漏れなどがいないことを確認する

- 給水ホースの接続箇所は正しいか
- 配管接合部からの水漏れがないか
- 大便器・セットタンクからの水漏れがないか



### 大便器に水が流れ続ける場合の対応方法

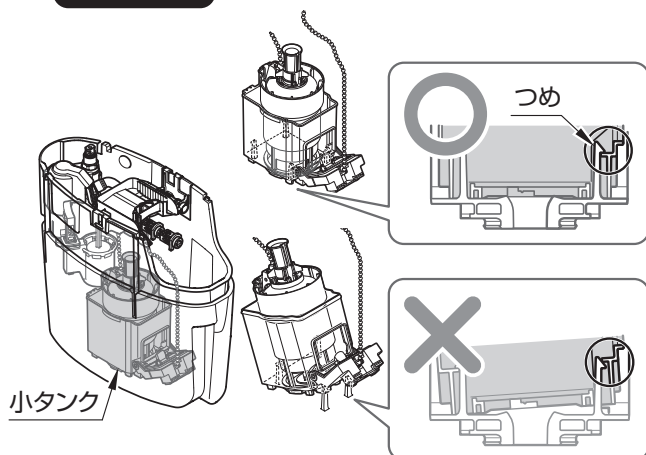
※セットタンクに強い力や衝撃を与えると、つめが小タンクから外れて水が流れ続ける場合があります。



#### 4 小タンクを上から押さえはめ直す

※四隅をつめ 4カ所に「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む

**止水不良防止**



## 8 水位の確認

**必ず実施してください**

### 正常な状態

設定変更不要です。



設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。

### 水たまり面が低い

設定変更してください。

▶P.117  
「水たまり面が低い場合の対応方法」



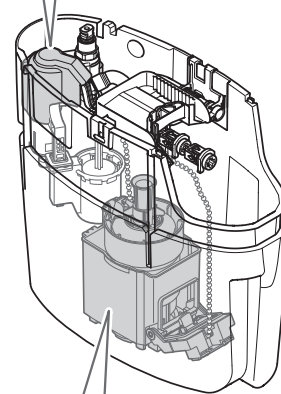
汚物付着の原因になります。  
〈水たまり面 低下の理由〉  
・排水管に曲がりが多い  
・通気が不十分

※水たまり面の判断に迷ったとき

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

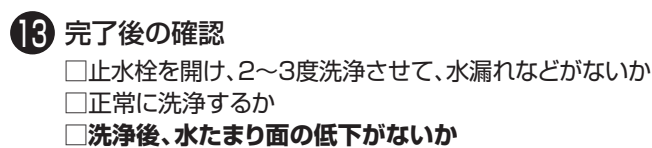
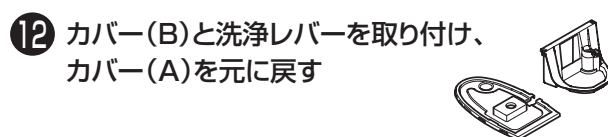
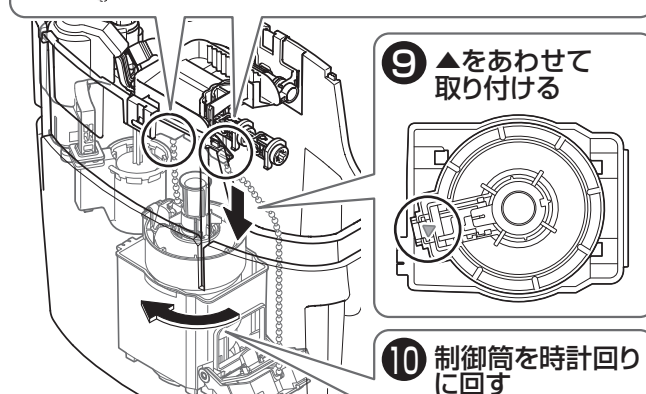
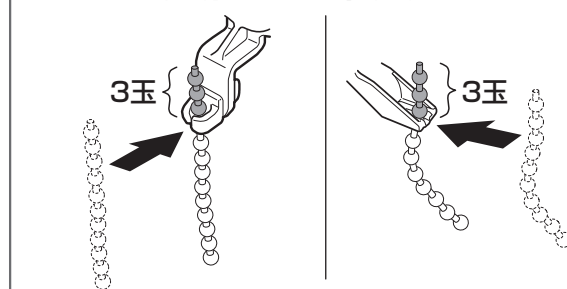
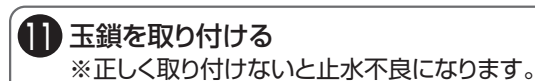
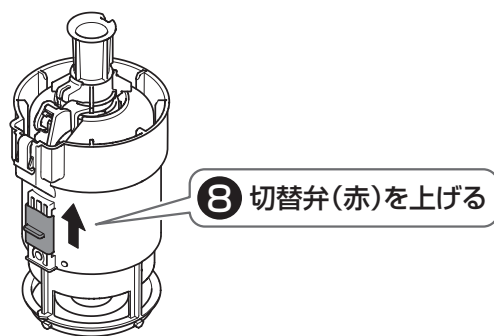
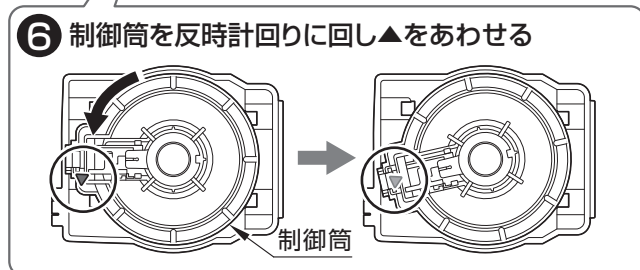
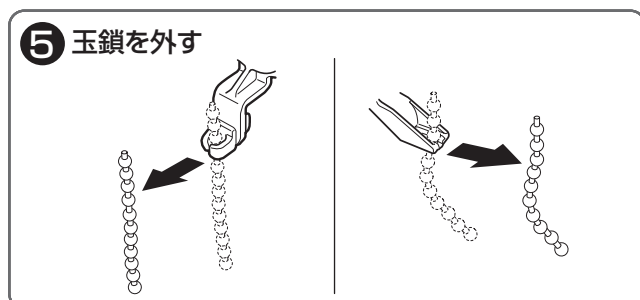
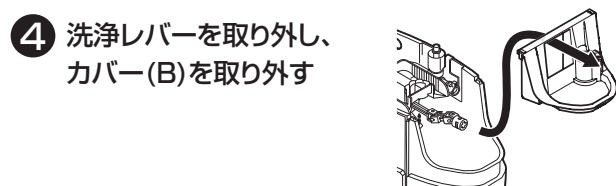
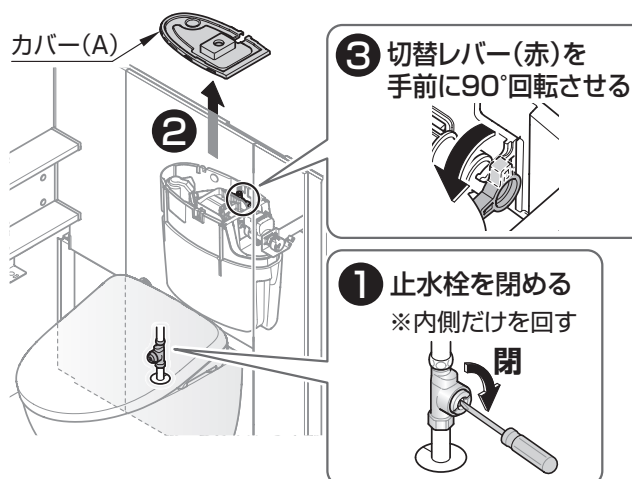
### タンク内を調整する際のご注意

漏水防止カバーを外さない



小タンクに力を加えない  
排水弁が浮いて、水が流れっぱなしになるおそれがあります。

## 水たまり面が低い場合の対応方法



## 自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【変更前】

|        |      |
|--------|------|
| 大洗浄    | 4.8L |
| 小洗浄    | 3.6L |
| eco小洗浄 | 3.4L |

|        |      |
|--------|------|
| 大洗浄    | 6L   |
| 小洗浄    | 4.8L |
| eco小洗浄 | 4.6L |

|        |      |
|--------|------|
| 大洗浄    | 8L   |
| 小洗浄    | 7.5L |
| eco小洗浄 | 7L   |

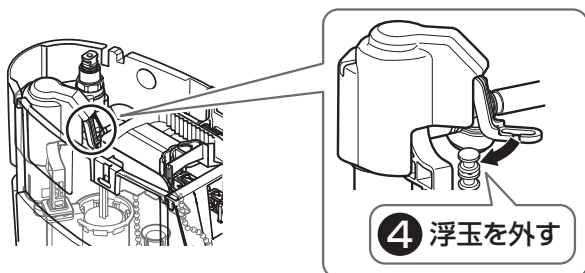
変更  
できます。

## 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

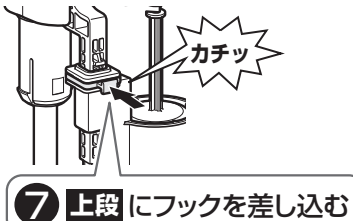
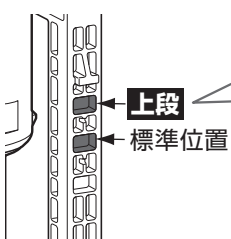
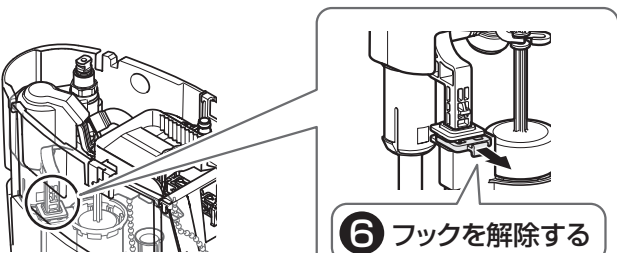
①～③

▶P.117 水たまり面が低い場合の対応方法 の

①～③を実施



⑤ 下段の凹部を取り付ける  
※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。



※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。

⑧ カバー(A)を元に戻す

⑨ 完了後の確認

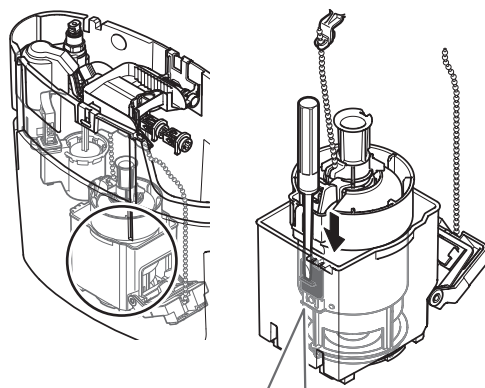
- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

## 大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法

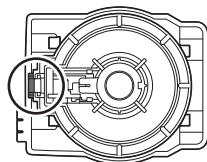
①～⑦

▶同ページ 左 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法 の

①～⑦を実施



⑧ 先の長いマイナスドライバーを差し込み、切替弁を下げる



切替弁を下げられなかった場合

▶P.117 水たまり面が低い場合の対応方法 の

①～③を実施

⑨ カバー(B)と洗浄レバーを取り付け、カバー(A)を元に戻す



⑩ 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

## 9 やわらかライトの設定

※ウォシュレット アプリコットのやわらかライトは入/切を選択できます。

**1** 止 と 水勢 +

リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)

確認

**2** おしり/ソフト

押す

**3** ビデ/ワイド

押す

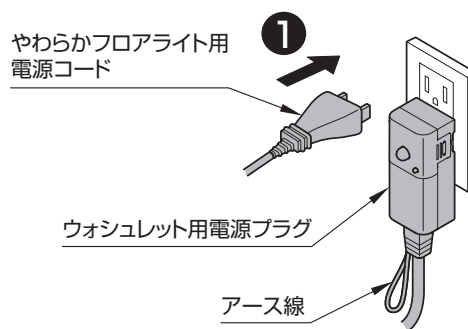
**4** 設定したい項目を選んでボタンを押す

| 【「使う」とき】 | 【「使わない」とき】 |
|----------|------------|
| 水勢 +     | 水勢 -       |
| ピッ       | ピーッ        |

※ボタンのデザインは仕様により異なります。

## 10 やわらかフロアライトの作動確認

やわらかフロアライトなしの場合 11へ



### 2 作動確認

大便器に近づいて行くことで、照明が点灯することを確認してください。(確認は、トイレの外に出てトイレのドアを閉め、100秒以上経過したあとに実施)

#### 【点灯しないとき】

コンセントを抜いて部材の接続を再度確認してください。

・照明(LED)の取り付け▶P.60

・センサーの取り付け▶P.74

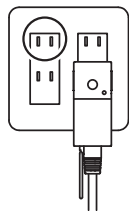
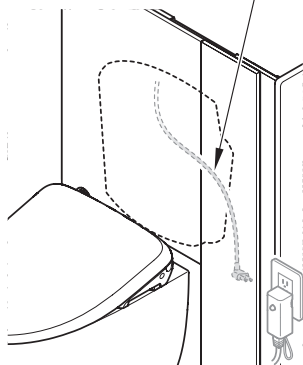
## 11 電源プラグの差し込み

一般地の場合は **13** へ  
 寒冷地流動方式の場合は **12** へ

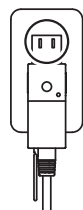
### ① コンセントを差し込む

やわらかフロアライトありの場合

ヒーター付  
タンク用電源コード



やわらかフロアライトなしの場合



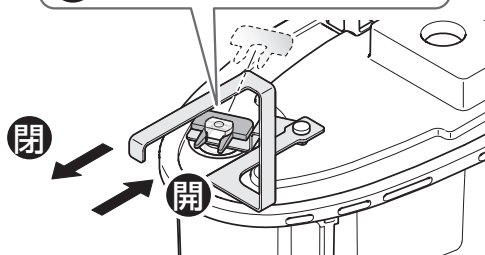
## 12 流動レバーの作動確認

一般地/寒冷地水抜方式の場合は **13** へ



### ① 上からピンに差し込む

### ② レバー止めでピンを挟み込む



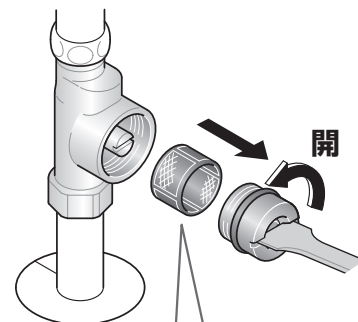
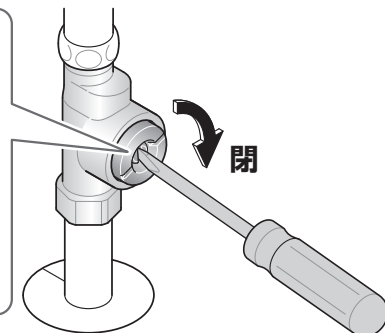
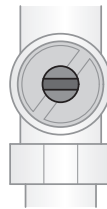
### ③ 作動確認

- ☐ 流動レバーを手前に回し、水が流れることを確認する。
- ☐ 作動確認後、流動レバーを奥壁側に回し、閉まることを確認する。
- ☐ 確認後、止水栓を閉める。

## 13 給水フィルター清掃

必ず実施してください

### ① 止水栓を閉める ※内側だけを回す



### ② ふたを開け、 給水フィルターを取り外す ※外側だけを回す

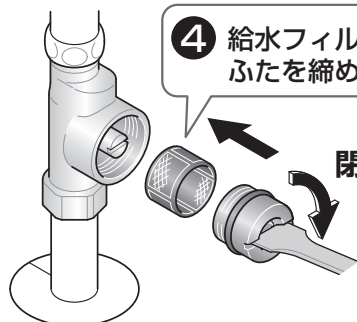


※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

### ③ 給水フィルターの清掃

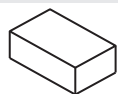


### ④ 給水フィルターを取り付け、 ふたを締め付ける



# 21. 天板

## 使用部材



### 詰め合わせ箱

#### 天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合

##### スライド丁番セット

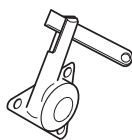


スライド丁番  
(2個)



皿タッピンねじ  
3.5×14(4本)

##### ダンパーセット



ダンパー 本体  
(1個)



ダンパー 座金  
(1個)



トラス小ねじ  
M4×8(5本)



トラス小ねじ  
M4×5(1本)

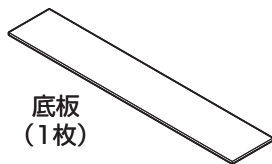


### コアキャビネット

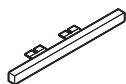
#### コアキャビネット

##### 【まるごと収納タイプの場合】

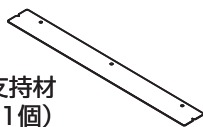
##### 底板セット



底板  
(1枚)



キャップ  
(1個)



支持材  
(1個)

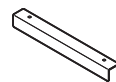


トラスタッピンねじ  
4×10(5本)

#### 天板セット

##### 支持材セット

##### 【スリム収納タイプの場合】



支持材  
(1個)



トラスタッピンねじ  
4×8(2本)

##### キャップセットL



キャップ(L)  
(1個)



トラスタッピンねじ  
4×8(2本)

##### キャップセットR



キャップ(R)  
(1個)



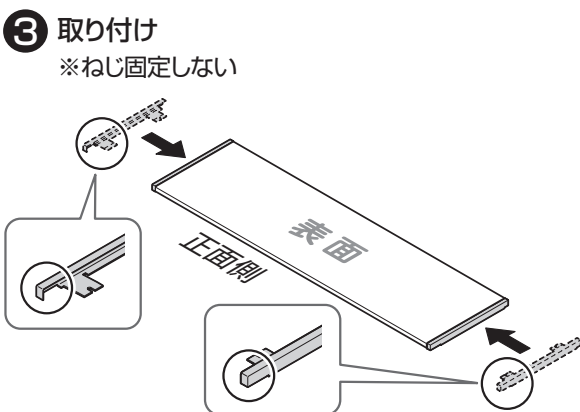
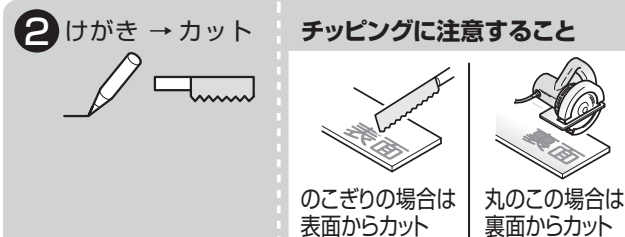
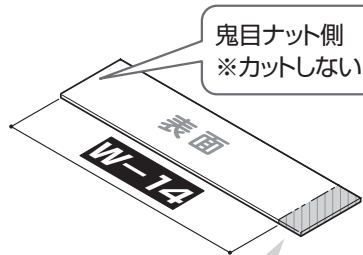
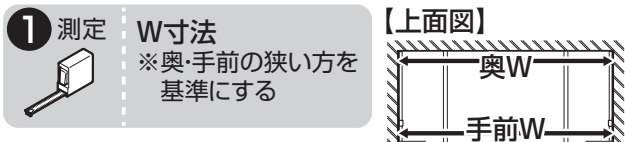
トラスタッピンねじ  
4×8(2本)

MEMO

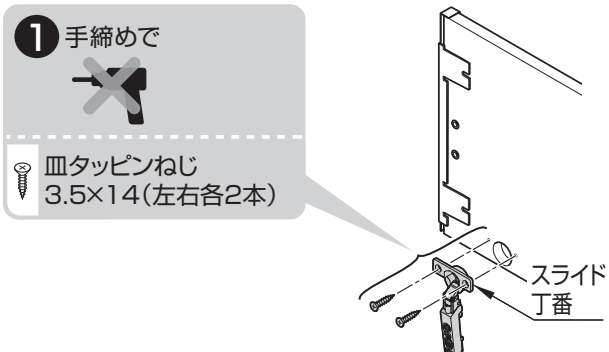
|              |        |
|--------------|--------|
| まるごと収納タイプの場合 | ▶P.122 |
| スリム収納タイプの場合  | ▶P.124 |

## まるごと収納タイプ

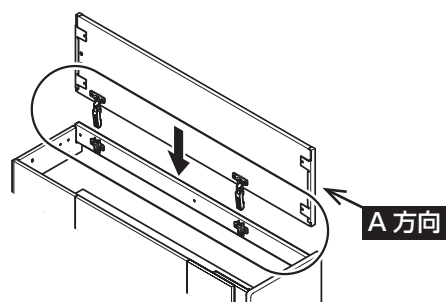
### 1 天板の加工



### 2 スライド丁番の取り付け

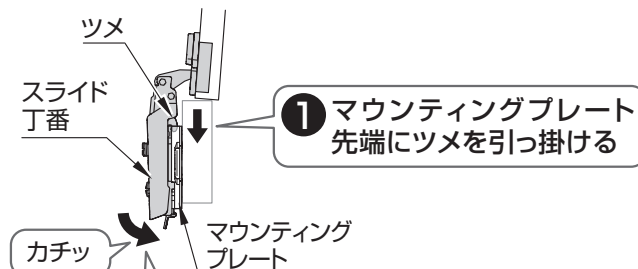


### 3 天板の取り付け



#### 取り付けかた

##### 【A方向から見た図】

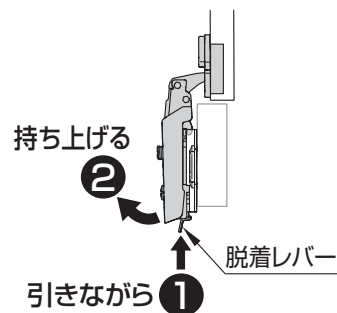


##### 2 押し下げる

スライド丁番本体がきちんとマウンティングプレートに装着 されているか確認する

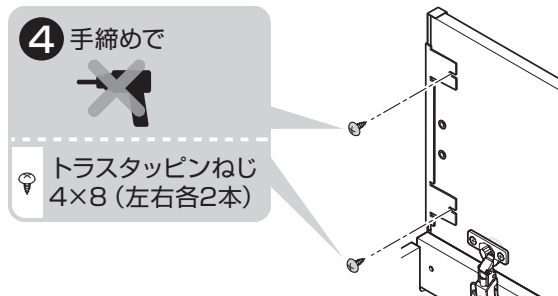
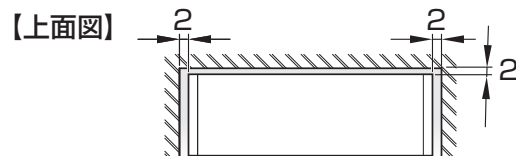
#### 取り外しかた

##### 【A方向から見た図】



##### 3 すき間を調整する

天板の両端が壁をこすらないこと



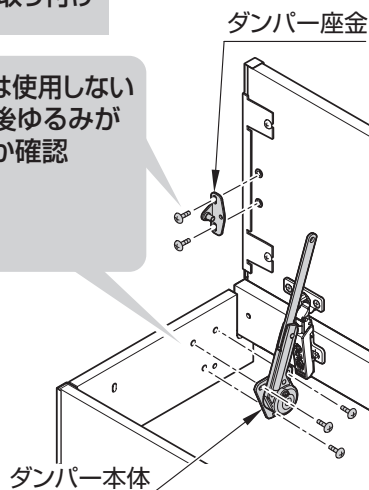
## 4 ダンパーの取り付け

### 1 手締めで



・丸穴は使用しない  
・固定後ゆるみがないか確認

トラス小ねじ  
M4×8 (5本)



### 2 手締めで



軸に穴をはめ込み固定  
【軸に穴があわない場合】  
②のねじをゆるめて  
位置を調整する

トラス小ねじ  
M4×5 (1本)

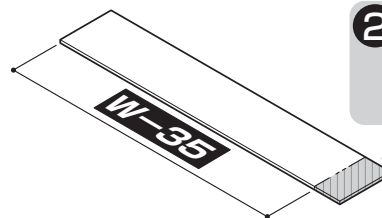


## 5 底板の加工

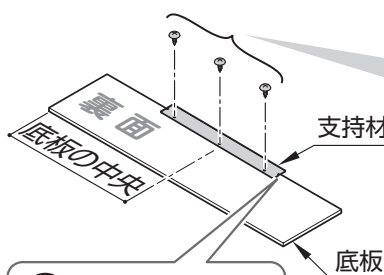
### 1 測定

W寸法  
※奥・手前の狭い方を  
基準にする

【上面図】



### 2 けがき → カット

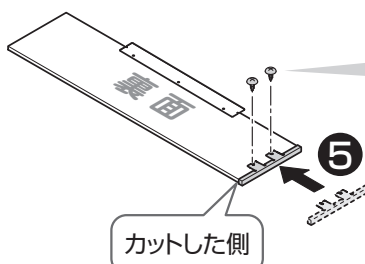
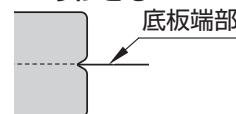


### 4 手締めで



トラスタッピンねじ  
4×10 (3本)

### 3 底板前端にあわせる

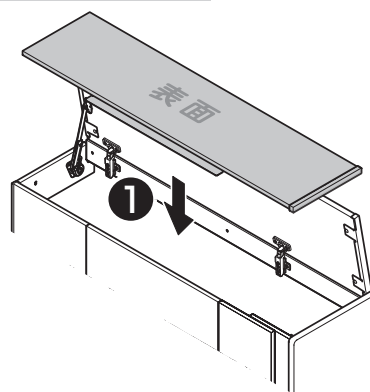


### 6 手締めで



トラスタッピンねじ  
4×10 (2本)

## 6 底板の取り付け



🔑 P.125 22.仕上げへ

## スリム収納タイプ

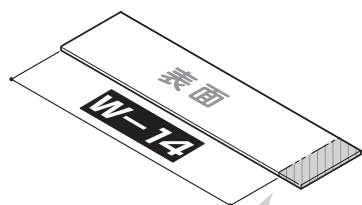
### 1 天板の加工

#### 1 測定

W寸法

※奥・手前の狭い方を基準にする

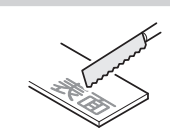
【上面図】



#### 2 けがき → カット



チッピングに注意すること



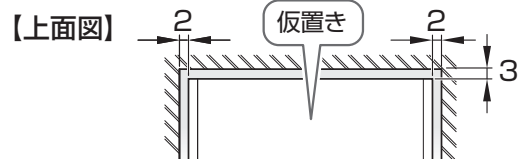
のこぎりの場合は表面からカット



丸のこの場合は裏面からカット

### 4 すき間を調整する

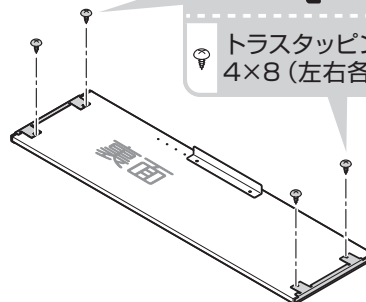
天板の両端が壁をこすらないこと



#### 5 手締めで



トラスタッピンねじ 4×8 (左右各2本)

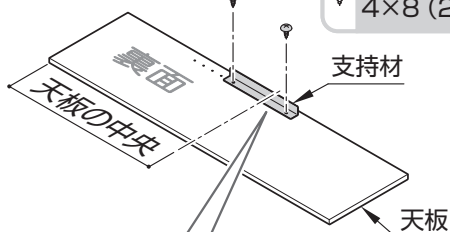


### 2 天板の組み立て

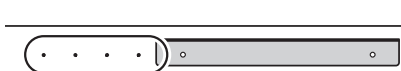
#### 2 手締めで



トラスタッピンねじ 4×8 (2本)

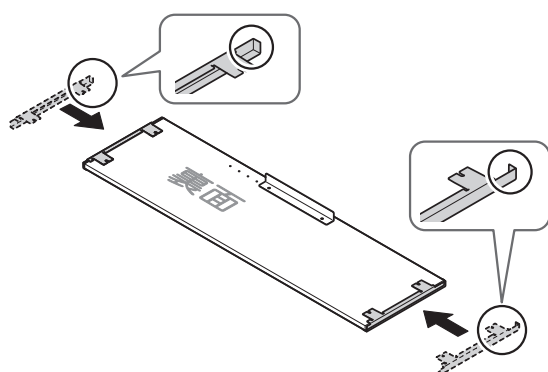


#### 1 中心をあわせ近い位置の下穴にあわせる

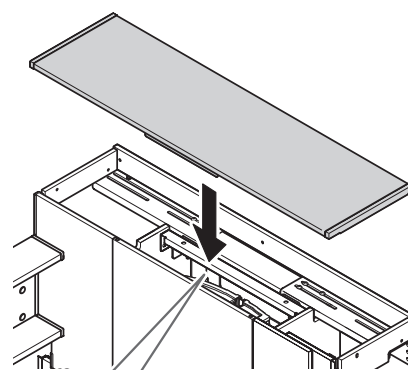


#### 3 取り付け

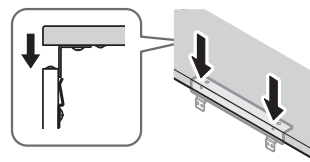
※ねじ固定しない



### 3 天板の取り付け

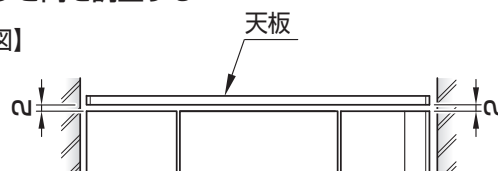


#### 1 前板組品に支持材を差し込む



#### 2 すき間を調整する

【正面図】

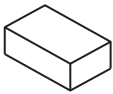


# 22. 仕上げ

扉の調整については下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。  
【URL】 [https://jp.toto.com/support/repair/toilet/cabinet/rt\\_door05\\_mov/](https://jp.toto.com/support/repair/toilet/cabinet/rt_door05_mov/)



## 使用部材



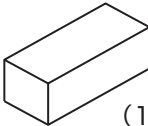
### 詰め合わせ箱

#### 施工説明書



クッション材  
(2個)

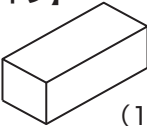
#### ハンドグリップ



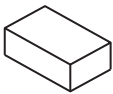
(1箱)

#### タオル掛け

【壁取付タイプ】



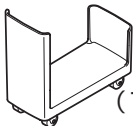
(1箱)



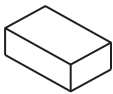
### コアキャビネット

#### コアキャビネット

引き出しラック



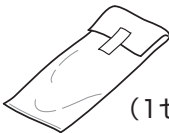
(1台)



### 詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

#### タオル掛け

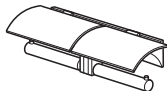
【手洗器下取付タイプ】



(1セット)

#### 紙巻器

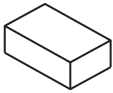
【メタル製】



紙巻器本体  
(1個)



なべタッピンねじ  
4×40(4本)



### その他包装

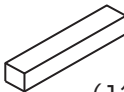
#### カウンター

付属材セット



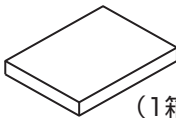
座金組込  
化粧ねじ  
4×12(3本)

#### 木製手すり



(1箱)

#### 化粧鏡



(1箱)

## MEMO

## 1 手洗器キャビネット扉の調整

【扉を開けたとき、壁などに当たる場合】

クッション材



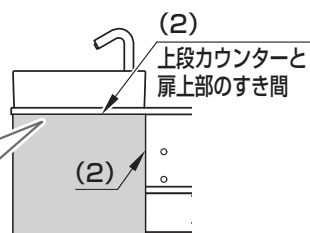
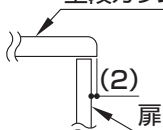
① クッション材をはり付ける  
「施工説明書」同梱

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後はり付けてください。  
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に  
お客様に渡してください。

### 2 扉を調整する

【側面図】

上段カウンター



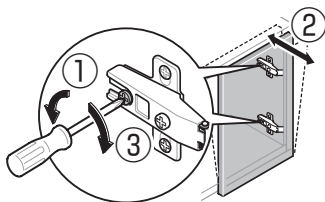
前後を調整 (右開き)

① ゆるめる (左回し)

② 扉を動かす

③ 締める (右回し)

※左開きも同様です。



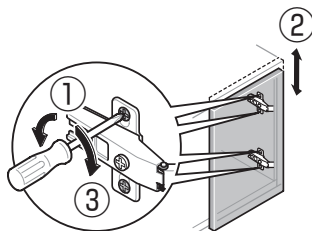
上下を調整 (右開き)

① ゆるめる (左回し)

② 扉を動かす

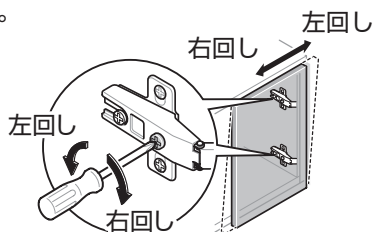
③ 締める (右回し)

※左開きも同様です。



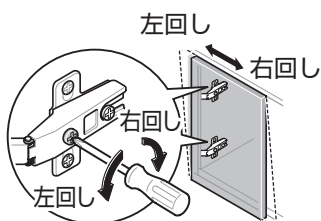
左右を調整 (右開き)

ねじを回すと、扉が動く。



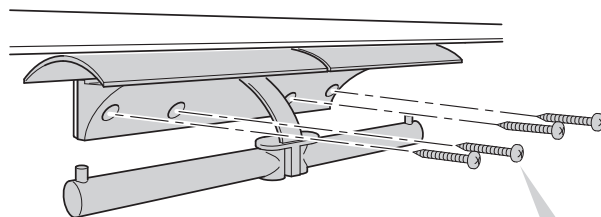
左右を調整 (左開き)

ねじを回すと、扉が動く。



## 2 メタル製紙巻器の取り付け

樹脂製紙巻器の場合は③へ

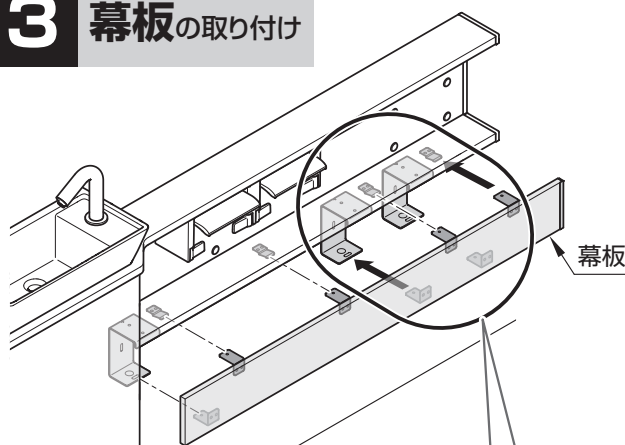


① けがき → 下穴



なベタッピンねじ  
4×40 (4本)

## 3 幕板の取り付け



取付材

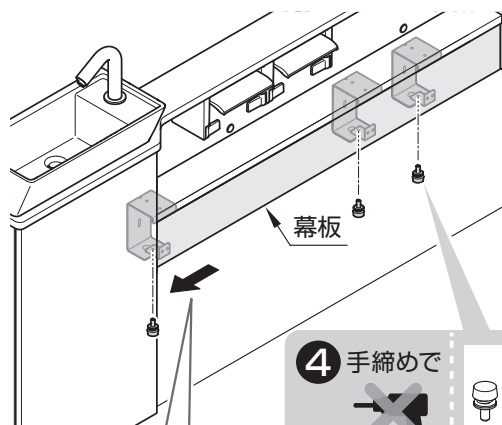
② 差し込む

アングル

① 上に載せる

アングル

ブラケット



④ 手締めで



座金組込  
化粧ねじ  
4×12 (3本)

③ 手洗器キャビネット  
に押し当て

## 4 リモコン

- ① リモコンの取り付け 参照 ウォシュレット施工説明書
- ② リモコンの設定・作動確認 ▶ P.72 6 へ

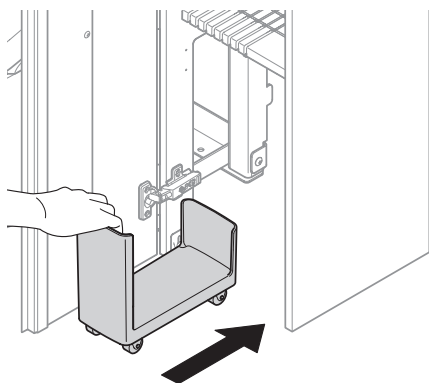
## 5 器具類の取り付け

【タオル掛け、化粧鏡、木製手すり、ハンドグリップを選択している場合】

参照 各商品に同封されている施工説明書

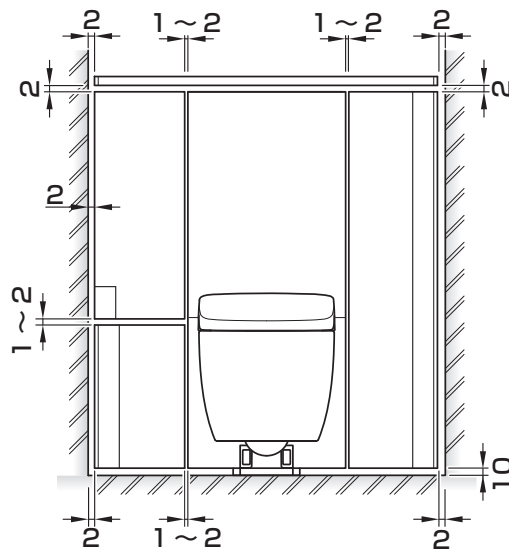
## 6 引き出しラック

大便器キャビネットの中に収納する

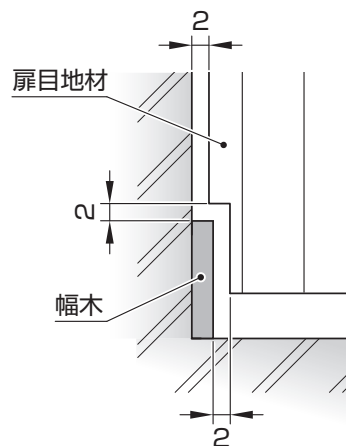


## 7 扉の本固定

仕上げ状態 (目安)

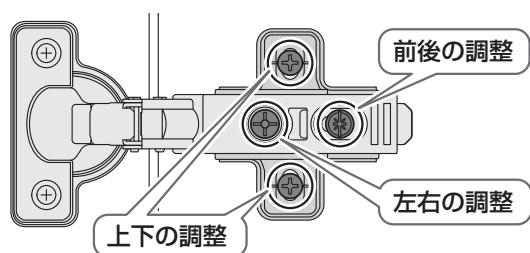


幅木がある場合

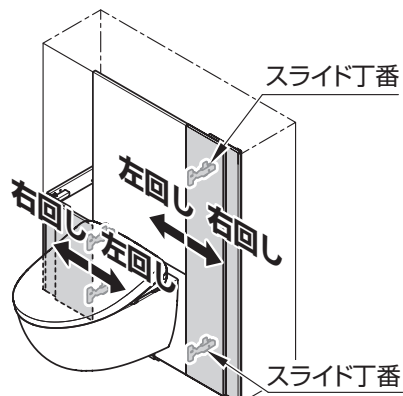


## 扉の調整

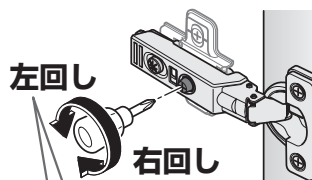
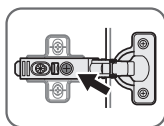
各ねじを調整することで扉を調整できます



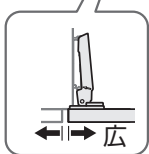
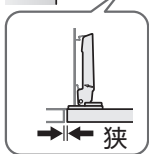
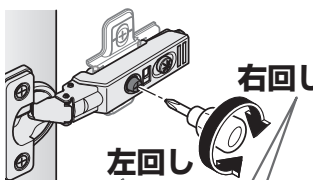
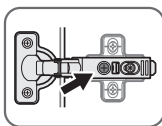
### 左右方向



#### 【左扉】



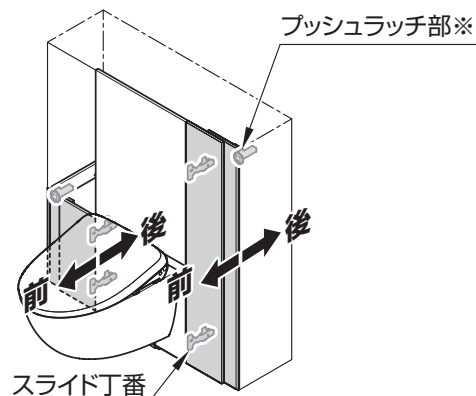
#### 【右扉】



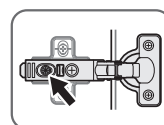
## 1 前後・上下方向の調整

ねじをゆるめ、扉を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

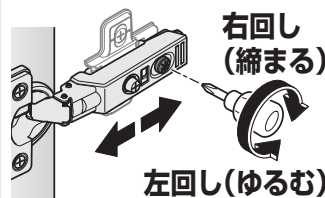
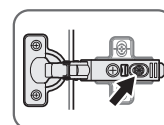
### 前後方向



#### 【左扉】



#### 【右扉】

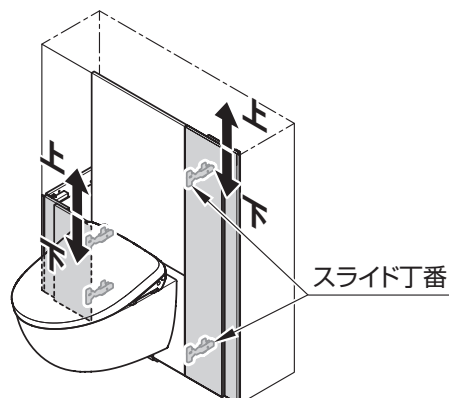


※プッシュラッチ部も前後調整できます。

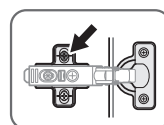


### 上下方向

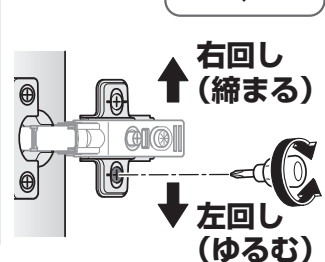
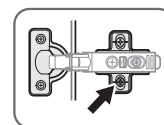
扉の上下調整は上下2つのスライド丁番の移動方向にあわせること



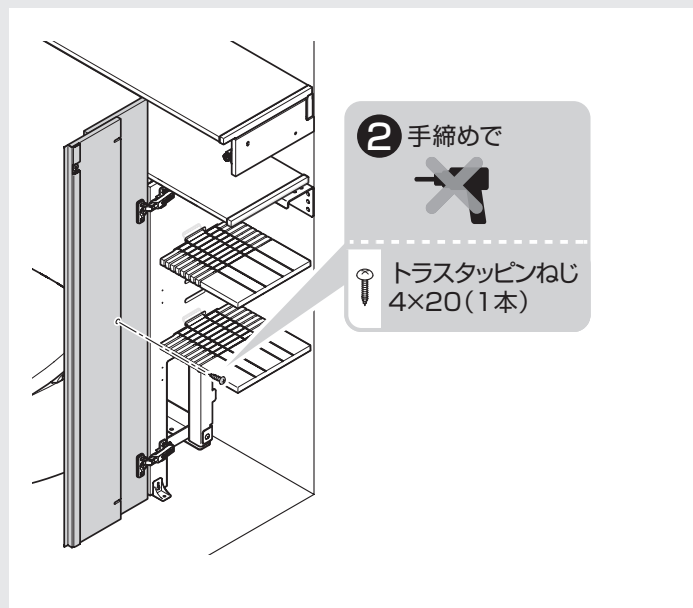
#### 【左扉】



#### 【右扉】



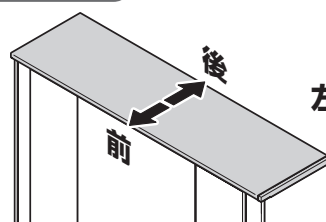
※扉の向きによって調整ねじ位置が変わります。



## 8 天板の調整

### 扉の調整

#### 前後方向



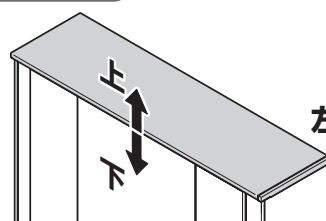
左回し(後)



右回し(前)

上下・左右はねじをゆるめ、天板を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

#### 上下方向

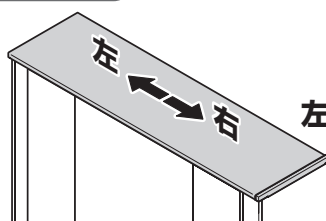


左回し(ゆるむ)



右回し(締まる)

#### 左右方向



左回し(ゆるむ)



右回し(締まる)

### 閉まり速度調整

## ⚠ 注意

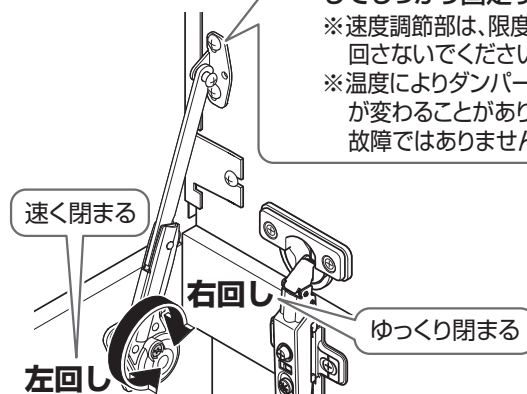


禁止

調整時に弱めすぎない  
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

分解、改造をしない  
器具が破損し、けがの原因となります。

- ① ゆるみがある場合、増し締めしてしっかり固定する  
※速度調節部は、限度以上に回さないでください。  
※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。



## 9 クッション材のはり付け

【天板・便ふたを開けたとき、壁などに当たる場合】

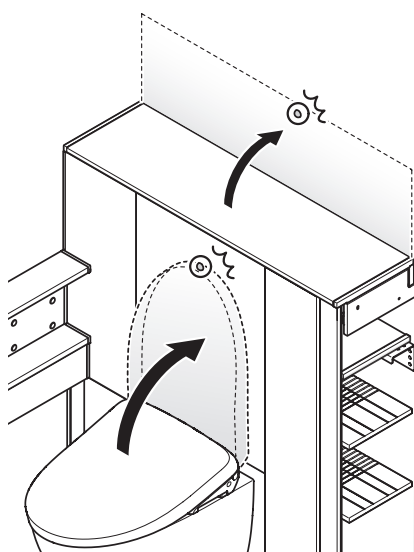
クッション材



**1** クッション材をはり付ける  
「施工説明書」  
「ウォシュレット」同梱

|           | 天板上面 | 便ふた |
|-----------|------|-----|
| まるごと収納タイプ | ○    | ○   |
| スリム収納タイプ  | —    | ○   |

※はり付け面を水ぶかし、乾燥後はり付けてください。  
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に  
お客様に渡してください。



## 10 シリコン系シール材の塗布

### 警告



必ず守る

シリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実に  
行う  
水などがキャビネット内に浸入してコンセント  
にかかり、火災や感電の原因となります。

※ジョイントコークなどの水溶性のコーキングは使用しないで  
ください。

※防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)

### ベッセルタイプ(丸形)

**1** シリコン系  
シール材



バックパネルありの場合



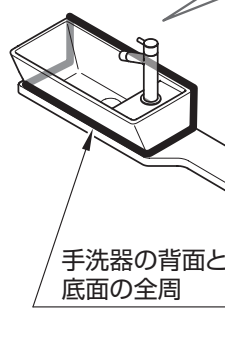
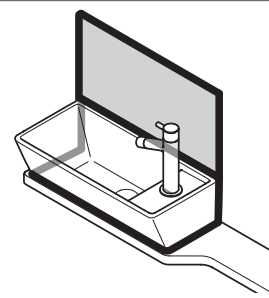
手洗器の背面と  
底面の全周

### ベッセルタイプ(角形)

**1** シリコン系  
シール材



バックパネルありの場合



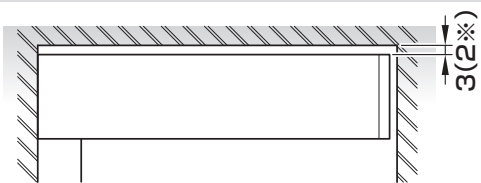
手洗器の背面と  
底面の全周

### ハイバックタイプ

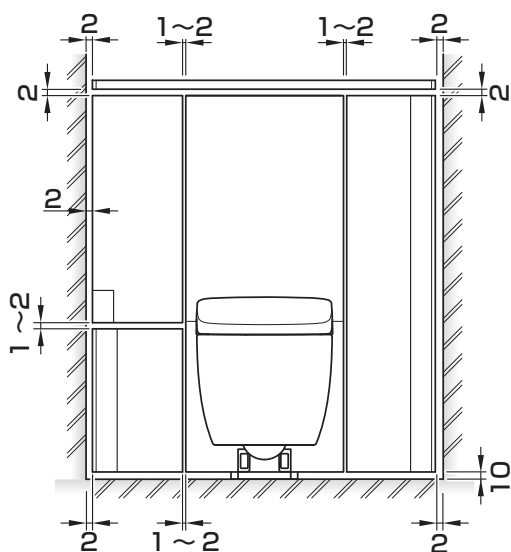
※手洗器・キャビネット周辺のシリコン系シール材は不要です。

# 11 仕上げ状態の確認

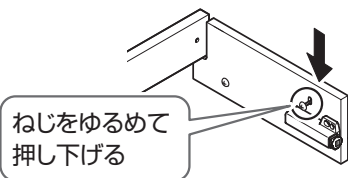
## 仕上げ状態(目安)



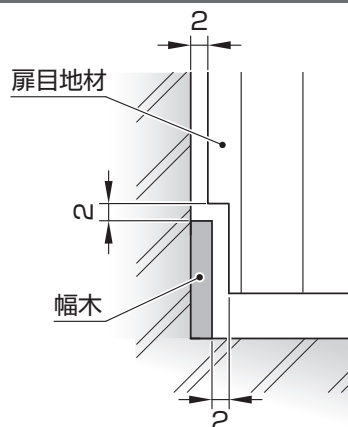
※まると収納タイプの場合



天板と側板組品が当たり2mmにならない場合



幅木がある場合



# MEMO

